

鳴門市
福祉に関するアンケート調査
集計結果報告書

平成29年3月

鳴門市

目 次

第1編 調査の概要.....	1
第2編 集計結果.....	2
第1章 障がい者用調査.....	2
第1節 属性.....	2
第2節 障がいの状況.....	9
第3節 住まいや暮らしの状況やニーズ.....	13
第4節 日中活動や仕事の状況やニーズ.....	16
第5節 災害時の課題.....	24
第6節 障害福祉サービス等の利用状況やニーズ.....	27
第7節 悩みの内容や相談に関するニーズ.....	32
第8節 権利擁護に関する状況.....	34
第9節 障がい者施策全般に関するニーズ.....	37
第10節 障がい児の支援に関する課題やニーズ.....	39
第2章 子ども用調査.....	44
第1節 属性.....	44
第2節 発育・発達についての意識.....	45
第3節 通所サービスの利用の現状やニーズ.....	48
第4節 医療的ケアの現状.....	49
第5節 支援施策に関するニーズ.....	50
第3章 市民用調査.....	53
第1節 属性.....	53
第2節 障がい者とのかかわりの現状や意識.....	54
第3節 障がい者の就業についての意識.....	58
第4節 福祉のまちづくりについての意識.....	60
第4章 個別の支援が求められる方の現状とニーズ.....	62
第1節 医療的ケアが必要な障がい児・者.....	62
第2節 入所・入院中の精神障がい者.....	66
第3節 難病（特定疾患）認定者.....	68
第3編 自由意見.....	71
第4編 調査票.....	73
第1章 障がい者用調査.....	73
第2章 子ども用調査.....	85
第3章 市民用調査.....	89

第1編 調査の概要

1 調査の概要

鳴門市では、平成 29 年度に、新しい障害者計画・障害福祉計画（障害児福祉計画を含む）を策定します。

福祉に関するアンケート調査は、市内の障がい者や発達・発育に不安のある子ども、一般市民を対象に、生活状況や施策ニーズをお聞きし、これらの計画の策定にあたっての基礎資料とするために実施しました。

2 調査期間

平成 28 年 12 月

3 調査方法と配布・回収数

調査は、以下の3種の調査票で郵送により実施しました。配布・回収数は表のとおりです。

調査票の種類	対象	配布数	回収数	回収率
福祉に関するアンケート調査 (障がい者用調査)	中学生以上 70 歳未満の障がい者 (身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者または精神通院自立支援医療の受給者)	2,062	975	47.3%
子どもの発育・発達に関するアンケート調査票 (子ども用調査)	小学生以下の障がい児または発達・発育に不安のある子ども (身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者または障害児通所支援を受給している子ども)	188	93	49.5%
障がい者福祉に関するアンケート調査 (市民用調査)	一般市民から 750 人を無作為抽出	750	260	34.7%

4 留意点

- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「合計」が全体より少なくなっています。
- 設問には1つのみ答えるものと複数回答のものがあり、複数回答の設問では、表記の割合の合計は 100%を超えます。
- 割合は選択肢ごとに小数第 1 位以下を四捨五入して整数表記しているため、その割合の合計は 100%にならないところがあります。

第2編 集計結果

第1章 障がい者用調査

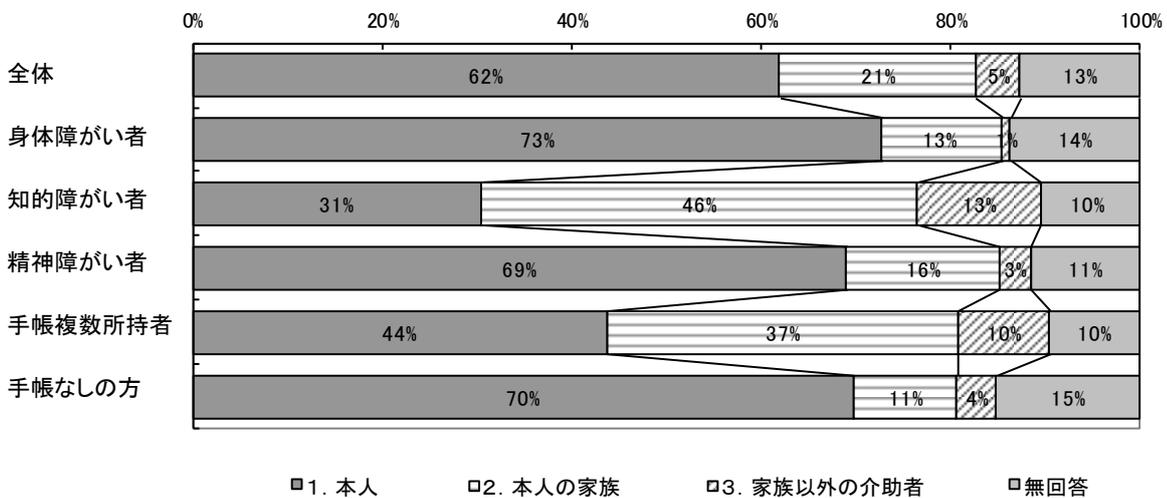
障がい者用調査の集計結果は、以下のとおりです。

後述の問9・11・12の障害者手帳の種類により、身体障がい者が421人、知的障がい者が154人、精神障がい者が149人、複数の手帳を所持する重複障がいの方が105人、いずれの手帳も持たない方(精神通院自立支援医療受給者)が146人で、それぞれ回答の傾向が異なるため、障がい種類別クロス表を掲載します。

第1節 属性

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 本人	605	62%	307	73%	47	31%	103	69%	46	44%	102	70%
2. 本人の家族	203	21%	53	13%	71	46%	24	16%	39	37%	16	11%
3. 家族以外の介助者	45	5%	4	1%	20	13%	5	3%	10	10%	6	4%
無回答	122	13%	57	14%	16	10%	17	11%	10	10%	22	15%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



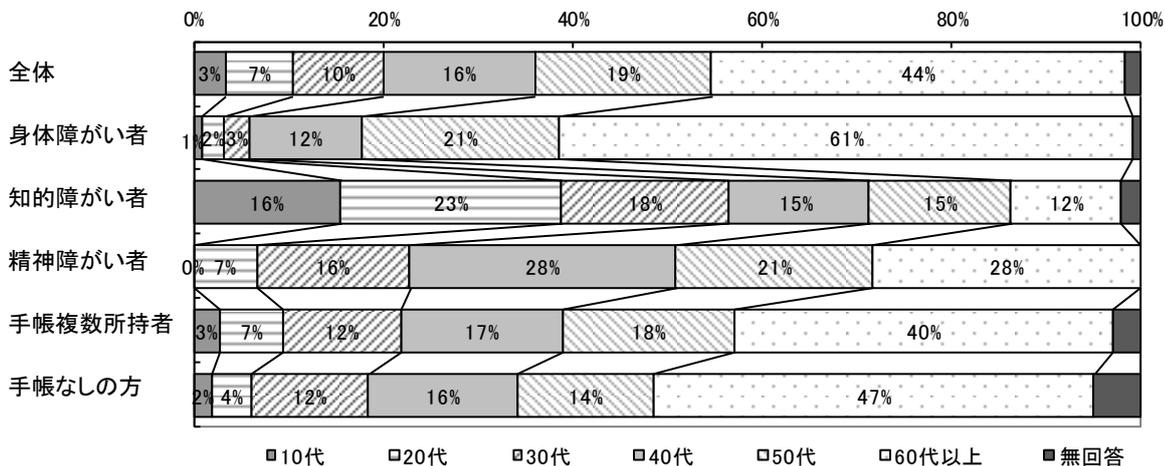
回答者は本人か家族等かについては、全体では6割が本人となっていますが、知的障がい者や重複障がいの方では家族等の回答が多くなっています。

問2 あなたの年齢をお答えください。(平成28年12月1日現在)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10代	34	3%	4	1%	24	16%	0	0%	3	3%	3	2%
20代	69	7%	10	2%	36	23%	10	7%	7	7%	6	4%
30代	93	10%	11	3%	27	18%	24	16%	13	12%	18	12%
40代	156	16%	50	12%	23	15%	42	28%	18	17%	23	16%
50代	182	19%	88	21%	23	15%	31	21%	19	18%	21	14%
60代以上	425	44%	255	61%	18	12%	42	28%	42	40%	68	47%
無回答	16	2%	3	1%	3	2%	0	0%	3	3%	7	5%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

〔再集計〕

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
18歳未満	23	2%	3	1%	15	10%	0	0%	3	3%	2	1%
18歳以上	936	96%	415	99%	136	88%	149	100%	99	94%	137	94%
無回答	16	2%	3	1%	3	2%	0	0%	3	3%	7	5%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



年齢は60代以上が多くなっていますが、知的障がい者では20代が、精神障がい者では40代と60代以上が最も多くなっています。

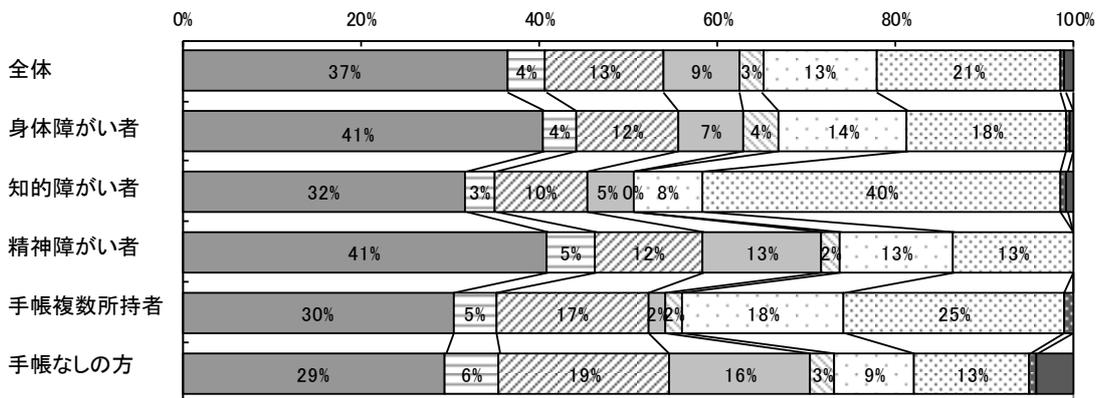
問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 男性	517	53%	227	54%	85	55%	77	52%	59	56%	69	47%
2. 女性	446	46%	190	45%	69	45%	71	48%	46	44%	70	48%
無回答	12	1%	4	1%	0	0%	1	1%	0	0%	7	5%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

性別は男性がやや多くなっています。

問4 あなたがお住まいの地区（町）はどこですか。（○は1つだけ）

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 撫養町	356	37%	171	41%	49	32%	61	41%	32	30%	43	29%
2. 里浦町	42	4%	15	4%	5	3%	8	5%	5	5%	9	6%
3. 鳴門町	129	13%	49	12%	16	10%	18	12%	18	17%	28	19%
4. 瀬戸町	83	9%	30	7%	8	5%	20	13%	2	2%	23	16%
5. 北灘町	26	3%	17	4%	0	0%	3	2%	2	2%	4	3%
6. 大津町	124	13%	61	14%	12	8%	19	13%	19	18%	13	9%
7. 大麻町	202	21%	75	18%	62	40%	20	13%	26	25%	19	13%
8. 市外	5	1%	2	0%	1	1%	0	0%	1	1%	1	1%
無回答	8	1%	1	0%	1	1%	0	0%	0	0%	6	4%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



□1. 撫養町 □2. 里浦町 □3. 鳴門町 □4. 瀬戸町 □5. 北灘町 □6. 大津町 □7. 大麻町 □8. 市外 ■ 無回答

居住地区はおおむね人口分布に近くなっていますが、知的障がい者では障害者支援施設があるため、大麻町が最も多くなっています。

問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

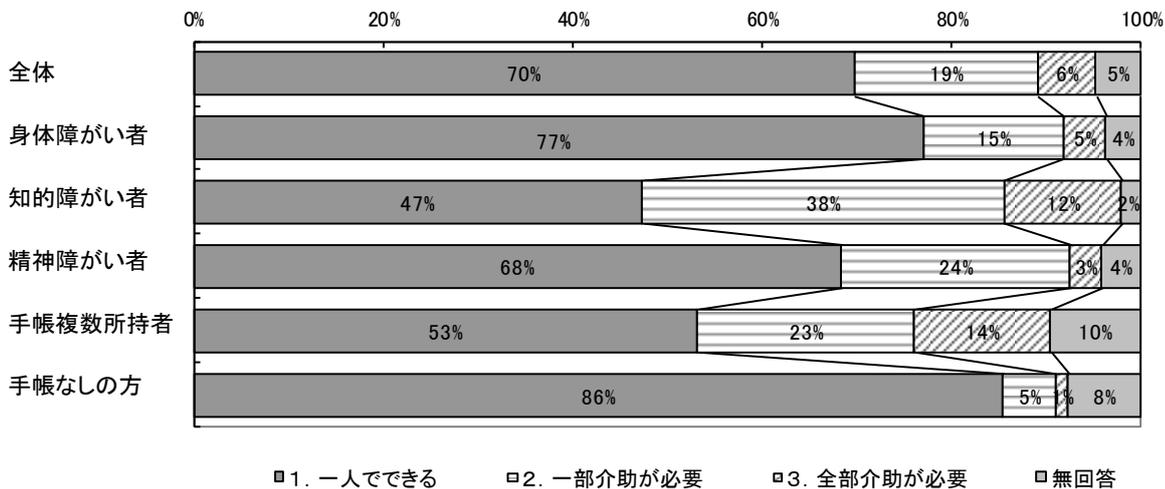
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 父母・祖父母・兄弟	345	35%	103	24%	92	60%	63	42%	46	44%	41	28%
2. 配偶者（夫または妻）	332	34%	244	58%	4	3%	30	20%	18	17%	36	25%
3. 子ども	195	20%	138	33%	4	3%	19	13%	10	10%	24	16%
4. その他	76	8%	19	5%	13	8%	12	8%	12	11%	20	14%
5. 一人で暮らしている	246	25%	73	17%	46	30%	48	32%	33	31%	46	32%
無回答	12	1%	4	1%	0	0%	1	1%	1	1%	6	4%
回答者数	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

一緒に暮らしている人は、「父母・祖父母・兄弟」が35%など表のとおりです。一人暮らしも、いずれの障がいでも2～3割にのぼります。

問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。

① 食事・トイレ・入浴などの生活動作

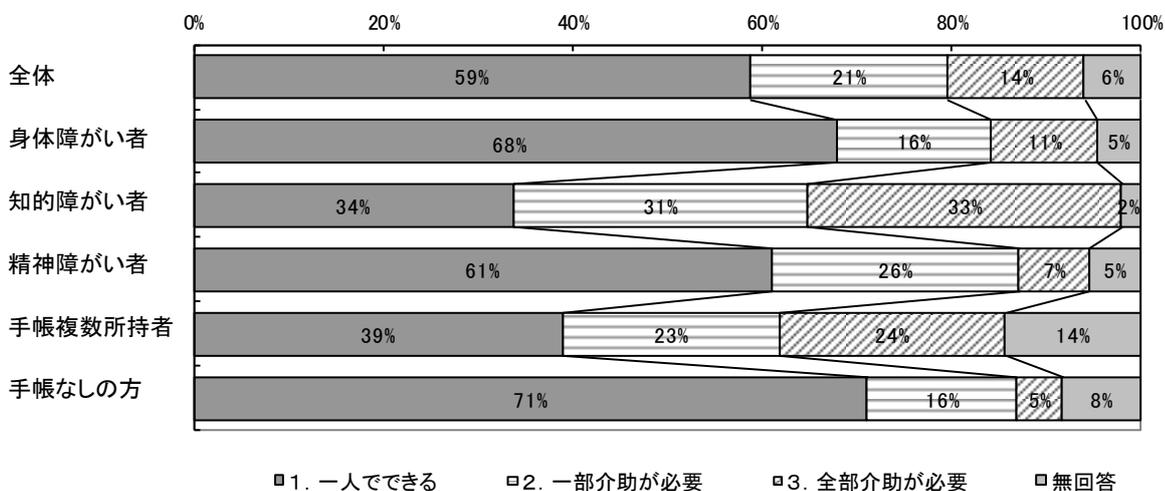
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人でできる	681	70%	325	77%	73	47%	102	68%	56	53%	125	86%
2. 一部介助が必要	189	19%	62	15%	59	38%	36	24%	24	23%	8	5%
3. 全部介助が必要	60	6%	19	5%	19	12%	5	3%	15	14%	2	1%
無回答	45	5%	15	4%	3	2%	6	4%	10	10%	11	8%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



食事・トイレ・入浴などの生活動作の要介助者は、全介助、一部介助あわせて2割強です。

② 外出

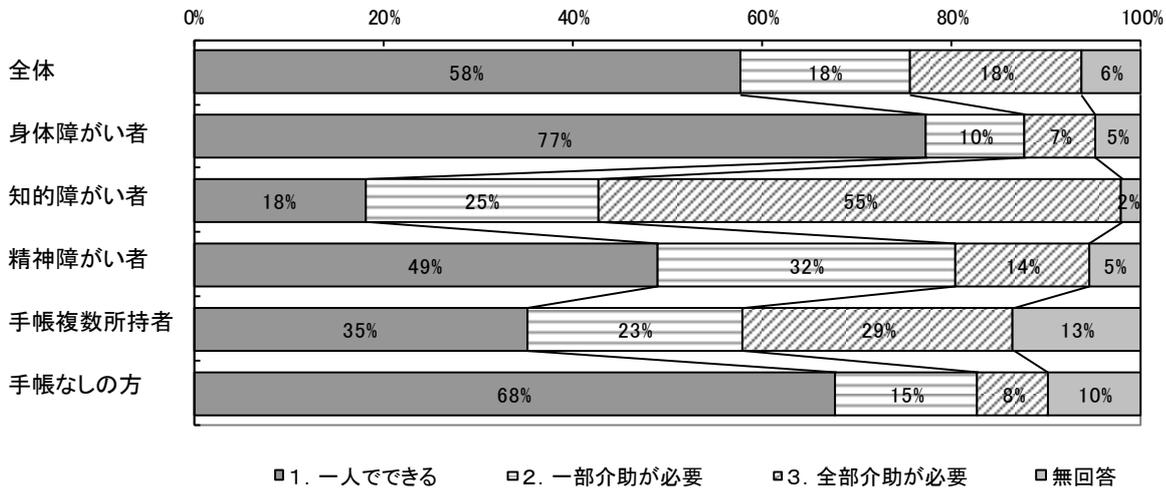
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人でできる	574	59%	286	68%	52	34%	91	61%	41	39%	104	71%
2. 一部介助が必要	203	21%	69	16%	48	31%	39	26%	24	23%	23	16%
3. 全部介助が必要	141	14%	47	11%	51	33%	11	7%	25	24%	7	5%
無回答	57	6%	19	5%	3	2%	8	5%	15	14%	12	8%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



外出の要介助者は、全介助、一部介助あわせて3割強です。

③ お金の管理

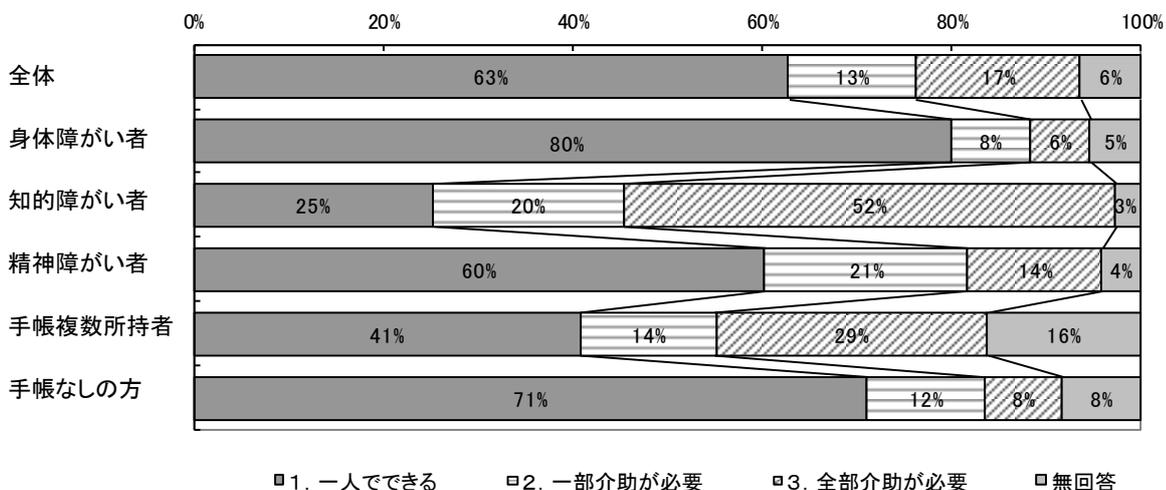
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人でできる	563	58%	326	77%	28	18%	73	49%	37	35%	99	68%
2. 一部介助が必要	175	18%	44	10%	38	25%	47	32%	24	23%	22	15%
3. 全部介助が必要	178	18%	31	7%	85	55%	21	14%	30	29%	11	8%
無回答	59	6%	20	5%	3	2%	8	5%	14	13%	14	10%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



お金の管理の要介助者は、全介助、一部介助あわせて3割強です。

④ 薬の管理

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人でできる	613	63%	337	80%	39	25%	90	60%	43	41%	104	71%
2. 一部介助が必要	131	13%	35	8%	31	20%	32	21%	15	14%	18	12%
3. 全部介助が必要	170	17%	27	6%	80	52%	21	14%	30	29%	12	8%
無回答	61	6%	22	5%	4	3%	6	4%	17	16%	12	8%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

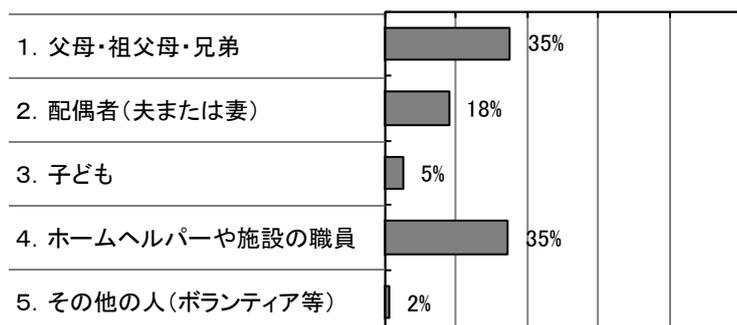


薬の管理の要介助者は、全介助、一部介助あわせて約3割です。

問7 あなたを介助してくれる方は主にどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 父母・祖父母・兄弟	176	35%	30	19%	75	56%	29	33%	25	39%	17	33%
2. 配偶者(夫または妻)	90	18%	59	37%	1	1%	16	18%	8	13%	6	12%
3. 子ども	27	5%	21	13%	0	0%	2	2%	3	5%	1	2%
4. ホームヘルパーや施設の職員	173	35%	42	26%	52	39%	30	34%	26	41%	23	45%
5. その他の人(ボランティア等)	8	2%	1	1%	0	0%	5	6%	0	0%	2	4%
無回答	24	5%	8	5%	7	5%	5	6%	2	3%	2	4%
回答者数	498	100%	161	100%	135	100%	87	100%	64	100%	51	100%

0% 20% 40% 60% 80% 100%



介助者は、「父母・祖父母・兄弟」と「ホームヘルパーや施設の職員」が35%ずつで多くなっています。

問8 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別などをお答えください。

①年齢

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
40歳未満	19	4%	10	8%	1	1%	5	6%	2	3%	1	2%
40代	44	10%	10	8%	17	14%	5	6%	8	14%	4	9%
50代	59	14%	12	9%	28	22%	8	10%	5	9%	6	13%
60代	105	24%	49	38%	22	18%	16	20%	9	16%	9	19%
70代以上	54	12%	18	14%	7	6%	13	16%	12	21%	4	9%
無回答	156	36%	29	23%	50	40%	32	41%	22	38%	23	49%
合計	437	100%	128	100%	125	100%	79	100%	58	100%	47	100%

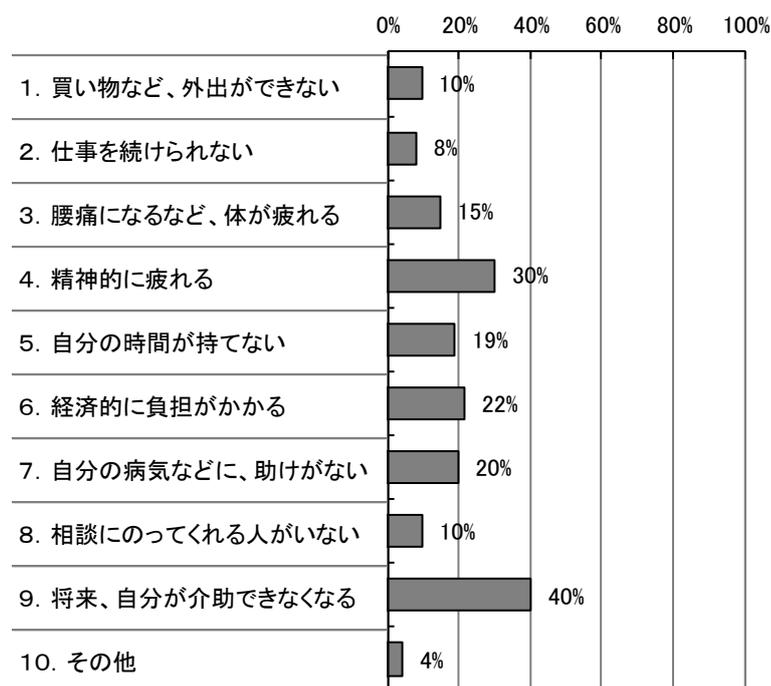
②性別

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 男性	92	21%	40	31%	12	10%	17	22%	14	24%	9	19%
2. 女性	196	45%	59	46%	66	53%	31	39%	25	43%	15	32%
無回答	149	34%	29	23%	47	38%	31	39%	19	33%	23	49%
合計	437	100%	128	100%	125	100%	79	100%	58	100%	47	100%

介助者の年齢は60代が多く、性別は女性がやや多くなっています。

③介助をしている方が、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 買い物など、外出ができない	42	10%	13	10%	13	10%	6	8%	9	16%	1	10%
2. 仕事を続けられない	36	8%	8	6%	12	10%	6	8%	7	12%	3	8%
3. 腰痛になるなど、体が疲れる	65	15%	27	21%	16	13%	9	11%	10	17%	3	15%
4. 精神的に疲れる	132	30%	35	27%	41	33%	29	37%	18	31%	9	30%
5. 自分の時間が持てない	83	19%	30	23%	29	23%	12	15%	8	14%	4	19%
6. 経済的に負担がかかる	95	22%	37	29%	18	14%	26	33%	10	17%	4	22%
7. 自分の病気などに、助けがない	87	20%	28	22%	26	21%	16	20%	14	24%	3	20%
8. 相談にのってくれる人がいない	43	10%	13	10%	7	6%	13	16%	7	12%	3	10%
9. 将来、自分が介助できなくなる	176	40%	54	42%	60	48%	27	34%	24	41%	11	40%
10. その他	19	4%	5	4%	6	5%	5	6%	2	3%	1	4%
無回答	182	42%	42	33%	53	42%	35	44%	25	43%	27	42%
回答者数	437	100%	128	100%	125	100%	79	100%	58	100%	47	100%



介助者の悩みは、「将来、自分が介助できなくなる」が4割で最も多く、次いで「精神的に疲れる」が3割となっています。

第2節 障がいの状況

問9 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 持っている	516	53%	421	100%	0	0%	0	0%	95	90%	0	0%
2. 持っていない	406	42%	0	0%	139	90%	126	85%	9	9%	132	90%
無回答	53	5%	0	0%	15	10%	23	15%	1	1%	14	10%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

問10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主な障がいをお答えください。(○は1つだけ)

	総計		身体障がい者		手帳複数所持者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 視覚障がい	37	7%	29	7%	8	8%
2. 聴覚・平衡機能障がい	43	8%	38	9%	5	5%
3. 音声・言語・そしやく機能障がい	13	3%	12	3%	1	1%
4. 肢体不自由	221	43%	202	48%	19	20%
5. 内部障がい(1.~4.以外)	167	32%	133	32%	34	36%
無回答	35	7%	7	2%	28	29%
合計	516	100%	421	100%	95	100%

問9によると、身体障害者手帳所持者のうち、他の手帳(療育手帳・精神障害者保健福祉手帳)も所持している方は5分の1程度です。

また、問10によると、身体障がいの主な部位は、「肢体不自由」が約4割で最も多く、次いで「内部障がい」が約3割です。

問11 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 持っている	212	22%	0	0%	154	100%	0	0%	58	55%	0	0%
2. 持っていない	680	70%	394	94%	0	0%	117	79%	39	37%	130	89%
無回答	83	9%	27	6%	0	0%	32	21%	8	8%	16	11%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

問11によると、療育手帳所持者のうち、他の手帳(身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳)も所持している方は4分の1程度です。

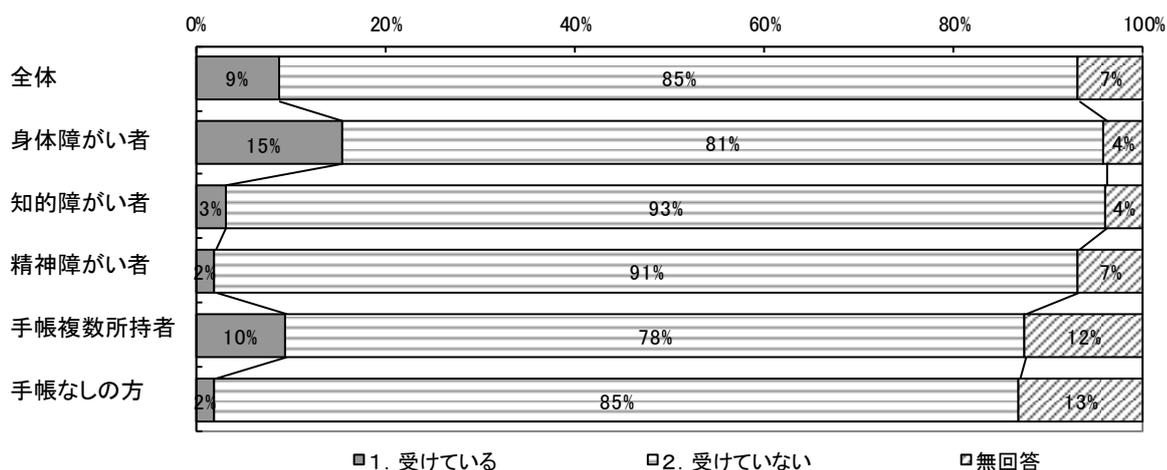
問 12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 持っている	212	22%	0	0%	0	0%	149	100%	63	60%	0	0%
2. 持っていない	685	70%	395	94%	134	87%	0	0%	33	31%	123	84%
無回答	78	8%	26	6%	20	13%	0	0%	9	9%	23	16%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

問 12 によると、精神障害者保健福祉手帳所持者のうち、他の手帳（身体障害者手帳・療育手帳）も所持している方は3分の1近くにのぼります。

問 13 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

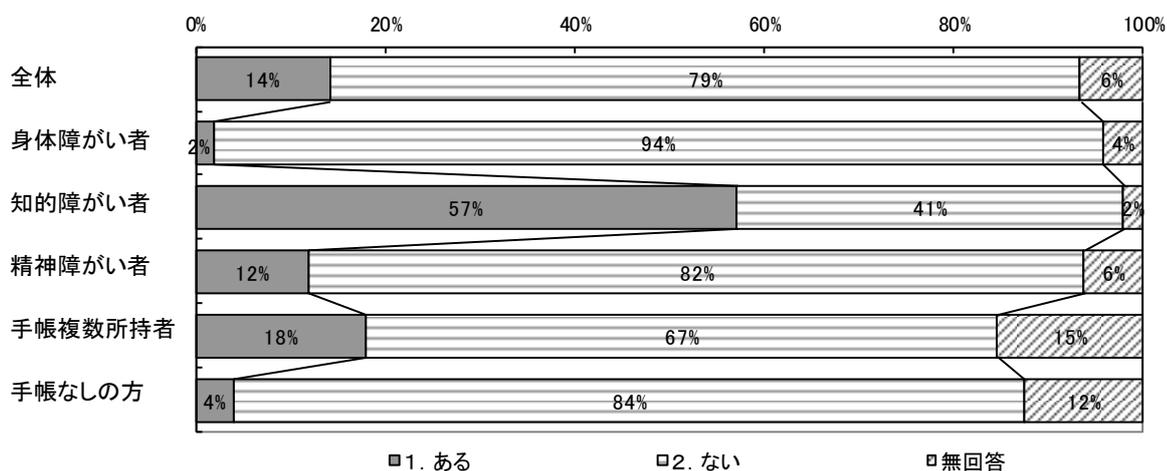
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 受けている	86	9%	65	15%	5	3%	3	2%	10	10%	3	2%
2. 受けていない	824	85%	339	81%	143	93%	136	91%	82	78%	124	85%
無回答	65	7%	17	4%	6	4%	10	7%	13	12%	19	13%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



問 13 によると、難病（特定疾患）の認定者は1割弱となっています。

問 14 あなたは、専門相談機関や医療機関で発達障がいと指摘や診断をされたことがありますか。(○は1つだけ)

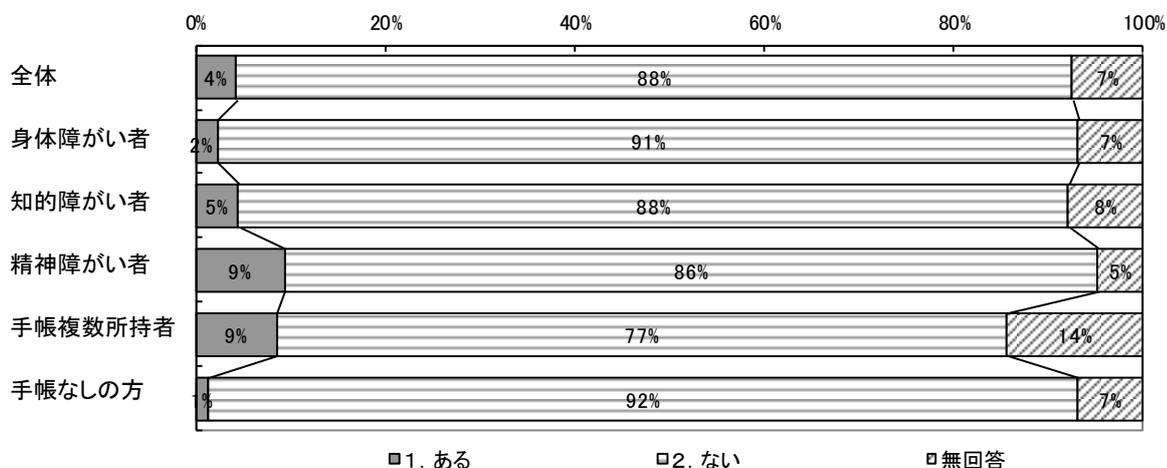
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ある	139	14%	8	2%	88	57%	18	12%	19	18%	6	4%
2. ない	773	79%	396	94%	63	41%	122	82%	70	67%	122	84%
無回答	63	6%	17	4%	3	2%	9	6%	16	15%	18	12%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



問 14 によると、発達障がいと指摘や診断をされた方は 14%で、知的障がい者では半数以上にのびります。

問 15 あなたは医療機関で高次脳機能障がいと診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

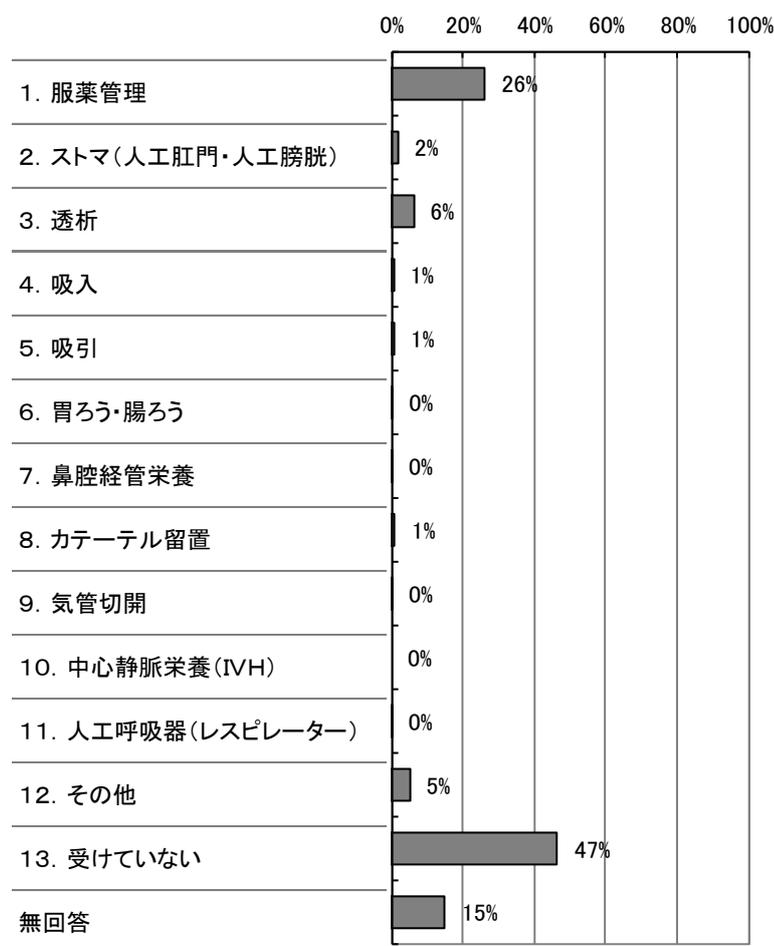
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ある	42	4%	10	2%	7	5%	14	9%	9	9%	2	1%
2. ない	861	88%	383	91%	135	88%	128	86%	81	77%	134	92%
無回答	72	7%	28	7%	12	8%	7	5%	15	14%	10	7%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



問 15 によると、高次脳機能障がいと診断された方は4%となっています。

問 16 以下のうち、あなたが現在受けているケアをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 服薬管理	256	26%	78	19%	45	29%	57	38%	36	34%	40	27%
2. ストマ(人工肛門・人工膀胱)	18	2%	17	4%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
3. 透析	61	6%	55	13%	0	0%	0	0%	6	6%	0	0%
4. 吸入	6	1%	4	1%	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%
5. 吸引	7	1%	4	1%	0	0%	0	0%	2	2%	1	1%
6. 胃ろう・腸ろう	4	0%	3	1%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
7. 鼻腔経管栄養	3	0%	1	0%	0	0%	0	0%	2	2%	0	0%
8. カテーテル留置	10	1%	8	2%	0	0%	0	0%	1	1%	1	1%
9. 気管切開	3	0%	1	0%	0	0%	0	0%	1	1%	1	1%
10. 中心静脈栄養(IVH)	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
11. 人工呼吸器(レスピレーター)	2	0%	1	0%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
12. その他	50	5%	26	6%	0	0%	9	6%	11	10%	4	3%
13. 受けていない	454	47%	186	44%	87	56%	70	47%	34	32%	77	53%
無回答	147	15%	62	15%	20	13%	18	12%	20	19%	27	18%
回答者数	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

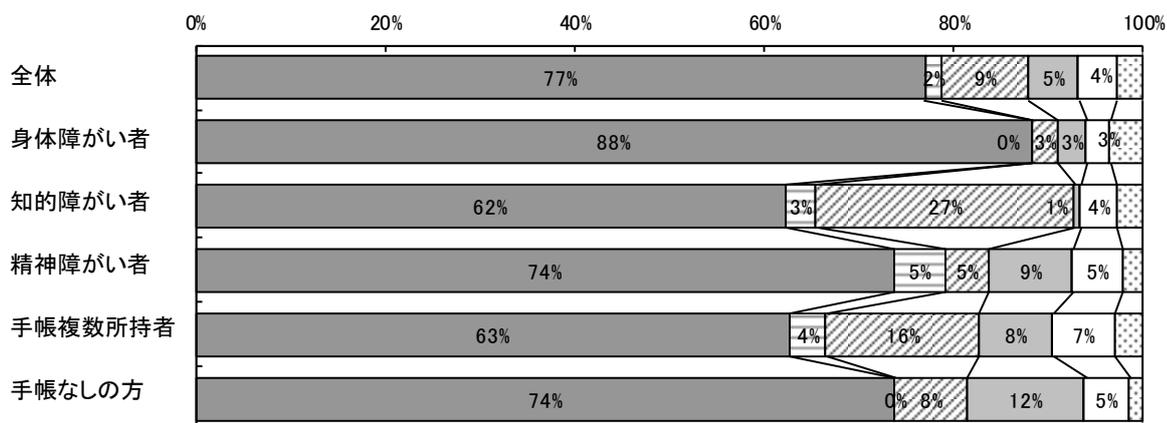


受けている医療的ケアは、「服薬管理」が26%で最も多く、次いで「透析」が6%です。

第3節 住まいや暮らしの状況やニーズ

問17 あなたは現在どこで暮らしていますか。(〇は1つだけ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 自宅	752	77%	372	88%	96	62%	110	74%	66	63%	108	74%
2. グループホーム	17	2%	0	0%	5	3%	8	5%	4	4%	0	0%
3. 入所中 (障害者支援施設、高齢者介護施設など)	89	9%	12	3%	42	27%	7	5%	17	16%	11	8%
4. 入院中	52	5%	12	3%	1	1%	13	9%	8	8%	18	12%
5. その他	39	4%	11	3%	6	4%	8	5%	7	7%	7	5%
無回答	26	3%	14	3%	4	3%	3	2%	3	3%	2	1%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

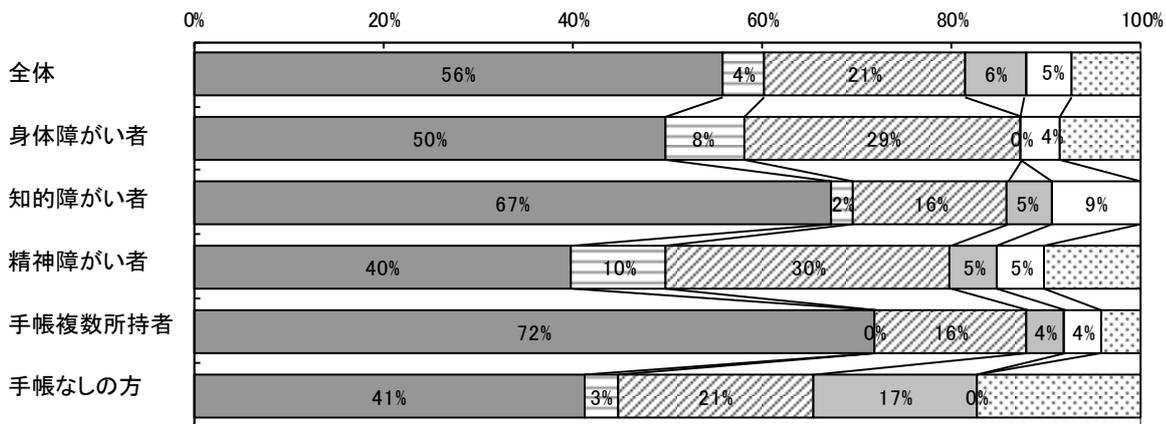


□1. 自宅 □2. グループホーム □3. 入所中 □4. 入院中 □5. その他 □無回答

現在暮らしている場所は、「自宅」が8割弱で、「入所」が約1割、「グループホーム」が2%となっています。知的障がい者では、「入所」が3割近くにのびります。

問 18 あなたは将来、どのように地域で生活したいと思いますか。(○は1つだけ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 今のまま生活したい	79	56%	12	50%	29	67%	8	40%	18	72%	12	41%
2. グループホームなどを利用したい	6	4%	2	8%	1	2%	2	10%	0	0%	1	3%
3. 家族と一緒に生活したい	30	21%	7	29%	7	16%	6	30%	4	16%	6	21%
4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい	9	6%	0	0%	2	5%	1	5%	1	4%	5	17%
5. その他	7	5%	1	4%	4	9%	1	5%	1	4%	0	0%
無回答	10	7%	2	8%	0	0%	2	10%	1	4%	5	17%
合計	141	100%	24	100%	43	100%	20	100%	25	100%	29	100%

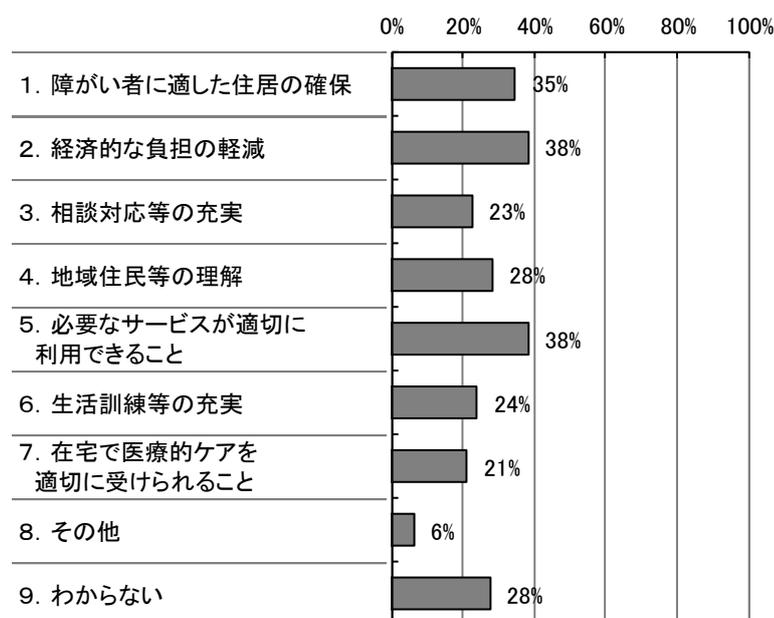


□1. 今のまま生活したい □2. グループホームなどを利用したい □3. 家族と一緒に生活したい □4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい □5. その他 □無回答

将来、暮らしたい場所については、「今のまま生活したい」が多くなっていますが、特に精神障がい者で「家族と一緒に生活したい」という回答が3割あるのが目立ちます。

問 19 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 障がい者に適した住居の確保	49	35%	9	38%	18	42%	9	45%	10	40%	3	10%
2. 経済的な負担の軽減	54	38%	15	63%	15	35%	10	50%	9	36%	5	17%
3. 相談対応等の充実	32	23%	9	38%	5	12%	8	40%	6	24%	4	14%
4. 地域住民等の理解	40	28%	5	21%	17	40%	10	50%	8	32%	0	0%
5. 必要なサービスが適切に利用できること	54	38%	13	54%	15	35%	11	55%	11	44%	4	14%
6. 生活訓練等の充実	34	24%	9	38%	7	16%	6	30%	9	36%	3	10%
7. 在宅で医療的ケアを適切に受けられること	30	21%	9	38%	5	12%	8	40%	8	32%	0	0%
8. その他	9	6%	2	8%	2	5%	1	5%	2	8%	2	7%
9. わからない	39	28%	2	8%	12	28%	4	20%	6	24%	15	52%
無回答	10	7%	3	13%	2	5%	2	10%	1	4%	2	7%
回答者数	141	100%	24	100%	43	100%	20	100%	25	100%	29	100%

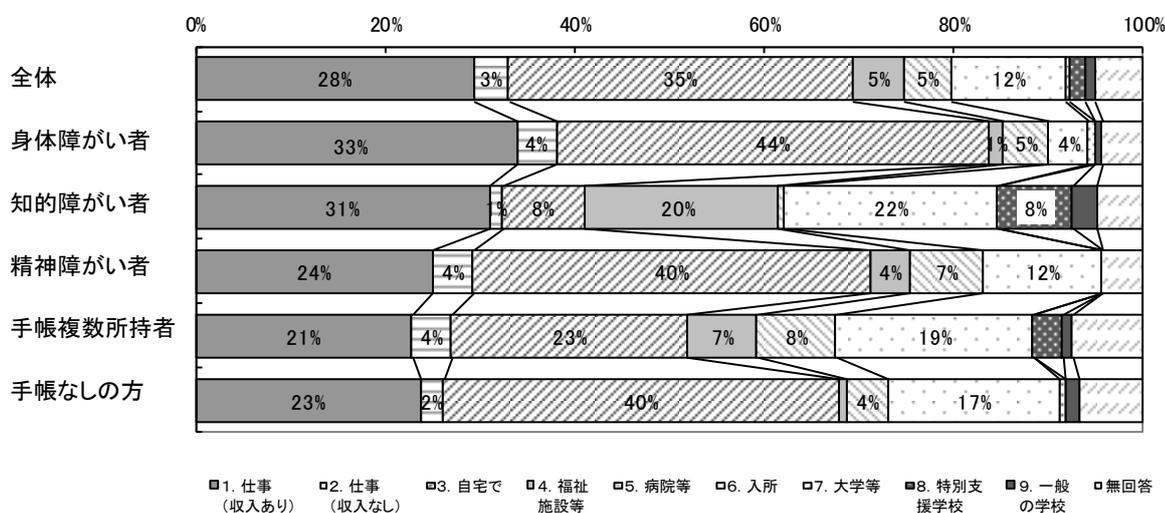


地域で生活するための支援については、「経済的な負担の軽減」と「必要なサービスが適切に利用できること」がともに38%で最も多く、次いで「障がい者に適した住居の確保」が35%です。
精神障がい者では、「地域住民等の理解」も5割と多くなっています。

第4節 日中活動や仕事の状況やニーズ

問20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

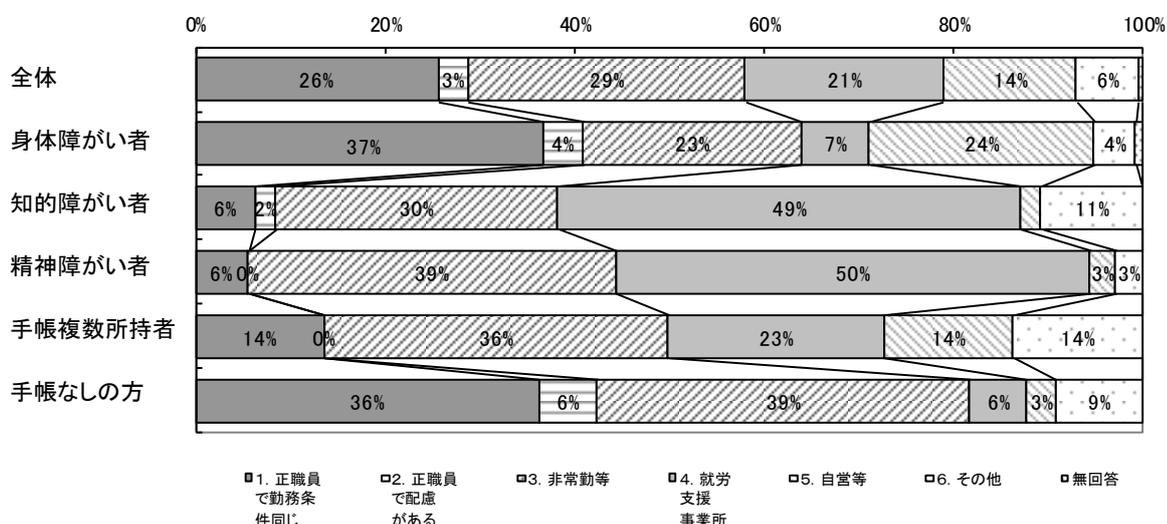
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 仕事をしている(収入あり)	277	28%	139	33%	47	31%	36	24%	22	21%	33	23%
2. 仕事をしている(収入なし)	32	3%	17	4%	2	1%	6	4%	4	4%	3	2%
3. 自宅で過ごしている(専業主婦・主夫を含む)	342	35%	187	44%	13	8%	60	40%	24	23%	58	40%
4. 福祉施設等に通っている	51	5%	6	1%	31	20%	6	4%	7	7%	1	1%
5. 病院等のデイケアやリハビリテーションに通っている	46	5%	20	5%	1	1%	11	7%	8	8%	6	4%
6. 入所している施設や病院等で過ごしている	114	12%	17	4%	34	22%	18	12%	20	19%	25	17%
7. 大学、専門学校などに通っている	4	0%	3	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
8. 特別支援学校(小中高等部)に通っている	15	2%	0	0%	12	8%	0	0%	3	3%	0	0%
9. 一般の高校、小中学校に通っている	10	1%	3	1%	4	3%	0	0%	1	1%	2	1%
無回答	46	5%	17	4%	7	5%	6	4%	7	7%	9	6%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



日中の主な過ごし方については、(働かずに)「自宅で過ごしている」が35%で最も多く、次いで「仕事をしている(収入あり)」が28%となっています。「仕事をしている(収入あり)」は、手帳複数所持者でも21%にのびります。

問 21 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

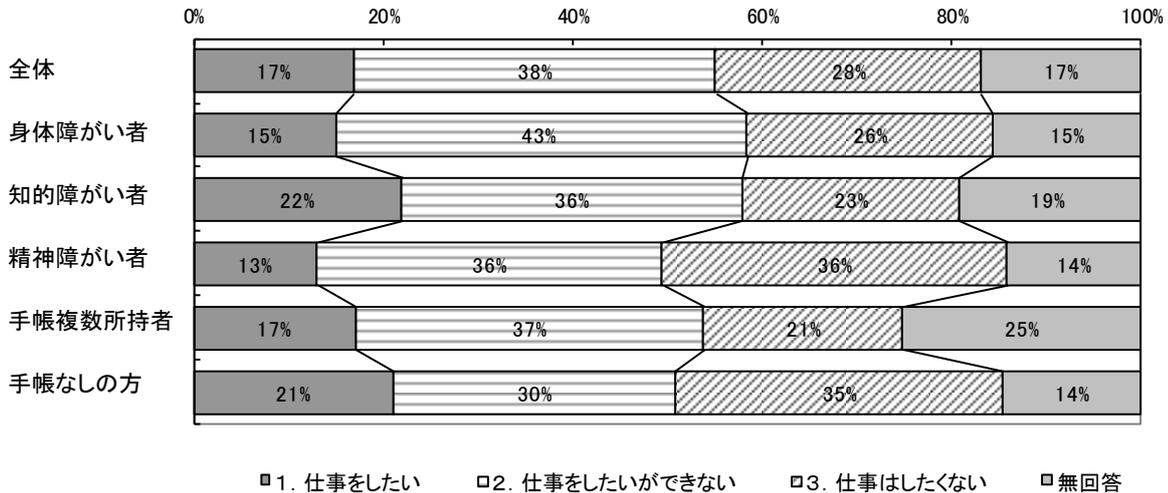
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 正職員で他の職員と勤務条件は同じ	71	26%	51	37%	3	6%	2	6%	3	14%	12	36%
2. 正職員で短時間勤務などの配慮がある	9	3%	6	4%	1	2%	0	0%	0	0%	2	6%
3. パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	81	29%	32	23%	14	30%	14	39%	8	36%	13	39%
4. 障害者就労支援事業所	58	21%	10	7%	23	49%	18	50%	5	23%	2	6%
5. 自営業、農林水産業など	39	14%	33	24%	1	2%	1	3%	3	14%	1	3%
6. その他	18	6%	6	4%	5	11%	1	3%	3	14%	3	9%
無回答	1	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	277	100%	139	100%	47	100%	36	100%	22	100%	33	100%



「仕事をしている（収入あり）」方の勤務形態は、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が29%、「正職員で他の職員と勤務条件は同じ」が26%、「障害者就労支援事業所」が21%などとなっています。知的障がい者と精神障がい者は約半数が「障害者就労支援事業所」であり、「正職員で他の職員と勤務条件は同じ」や「正職員で短時間勤務などの配慮がある」は、ごくわずかです。

問 22 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つだけ)

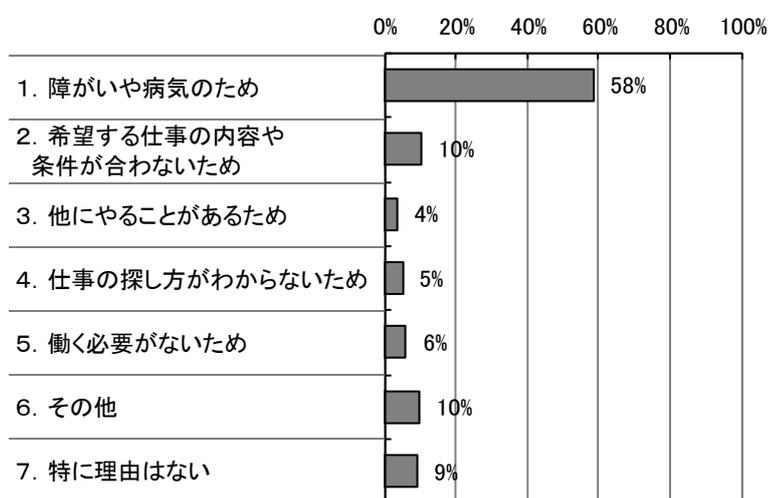
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 仕事をしたい	111	17%	40	15%	22	22%	14	13%	13	17%	22	21%
2. 仕事をしたいができない	249	38%	115	43%	36	36%	39	36%	28	37%	31	30%
3. 仕事はしたくない	183	28%	69	26%	23	23%	39	36%	16	21%	36	35%
無回答	109	17%	41	15%	19	19%	15	14%	19	25%	15	14%
合計	652	100%	265	100%	100	100%	107	100%	76	100%	104	100%



収入のある仕事をしていない方に収入を得る仕事をしたいかたずねたところ、「したい」はいずれの障がいの方も2割前後で、「仕事をしたいができない」の4割前後とあわせ、多くの障がい者が仕事をしたいと回答しています。

問 23 仕事をしていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

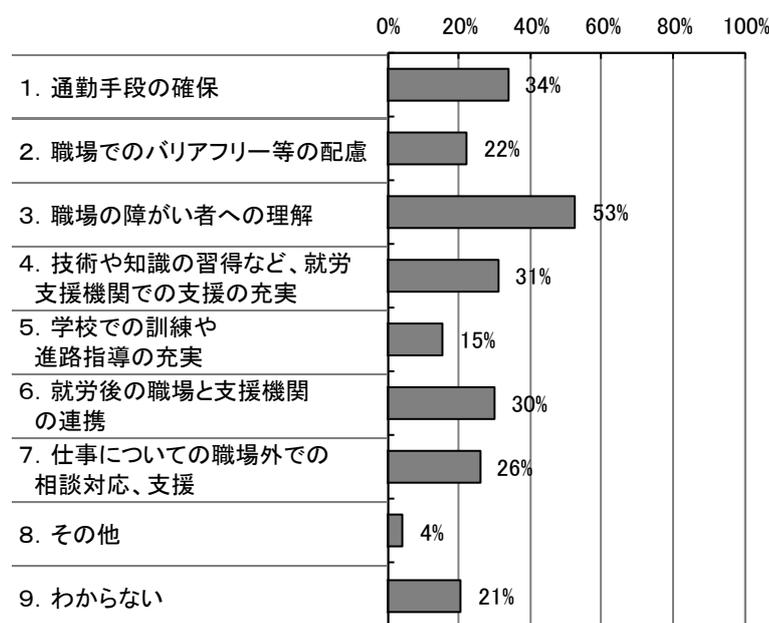
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 障がいや病気のため	381	58%	152	57%	63	63%	77	72%	50	66%	39	38%
2. 希望する仕事の内容や条件が合わないため	68	10%	28	11%	10	10%	11	10%	3	4%	16	15%
3. 他にやることがあるため	24	4%	13	5%	0	0%	5	5%	3	4%	3	3%
4. 仕事の探し方がわからないため	33	5%	12	5%	4	4%	5	5%	4	5%	8	8%
5. 働く必要がないため	40	6%	18	7%	0	0%	8	7%	6	8%	8	8%
6. その他	64	10%	28	11%	4	4%	14	13%	6	8%	12	12%
7. 特に理由はない	60	9%	24	9%	2	2%	10	9%	3	4%	21	20%
無回答	89	14%	32	12%	24	24%	5	5%	15	20%	13	13%
回答者数	652	100%	265	100%	100	100%	107	100%	76	100%	104	100%



収入のある仕事をしていない方に収入を得る仕事をしていない理由をたずねたところ、「障がいや病気のため」が過半を占めますが、「希望する仕事の内容や条件が合わないため」という回答も1割前後あり、仕事内容や条件を障がい者にあわせる努力が企業や行政にも求められているといえます。

問 24 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

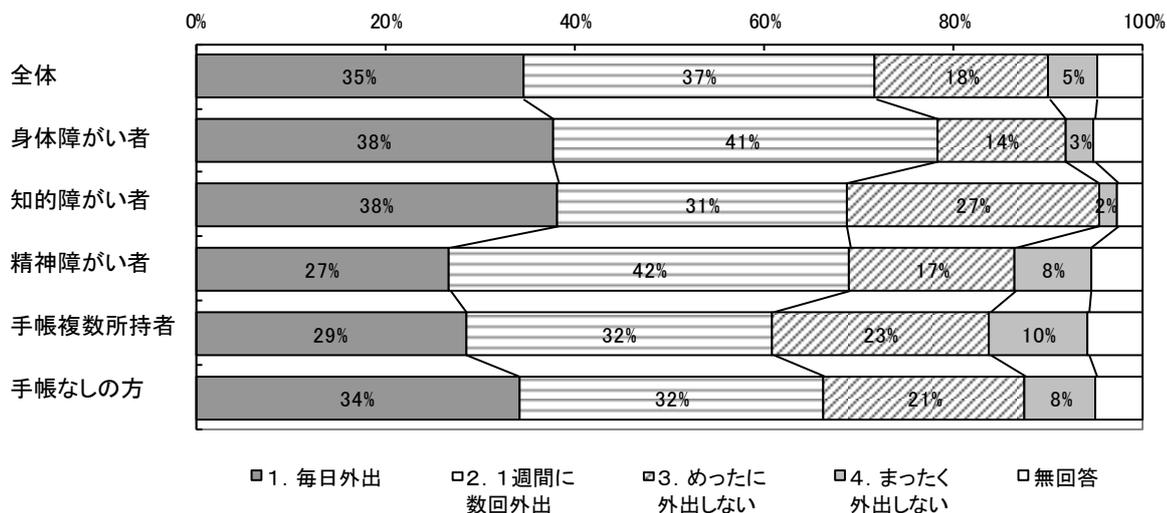
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 通勤手段の確保	329	34%	141	33%	68	44%	51	34%	30	29%	39	27%
2. 職場でのバリアフリー等の配慮	217	22%	121	29%	25	16%	28	19%	20	19%	23	16%
3. 職場の障がい者への理解	513	53%	222	53%	96	62%	96	64%	44	42%	55	38%
4. 技術や知識の習得など、就労支援機関での支援の充実	302	31%	109	26%	61	40%	59	40%	34	32%	39	27%
5. 学校での訓練や進路指導の充実	151	15%	50	12%	36	23%	22	15%	21	20%	22	15%
6. 就労後の職場と支援機関の連携	292	30%	101	24%	75	49%	49	33%	30	29%	37	25%
7. 仕事についての職場外での相談対応、支援	252	26%	85	20%	53	34%	49	33%	28	27%	37	25%
8. その他	43	4%	14	3%	1	1%	12	8%	8	8%	8	5%
9. わからない	202	21%	72	17%	35	23%	25	17%	24	23%	46	32%
無回答	113	12%	56	13%	7	5%	13	9%	15	14%	22	15%
回答者数	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



障がい者の就労支援で重要なことについては、「職場の障がい者への理解」が53%で最も多く、特に知的障がい者、精神障がい者では6割を超えています。次いで、「通勤手段の確保」「技術や知識の習得など、就労支援機関での支援の充実」「就労後の職場と支援機関の連携」なども3割前後の回答があり、こうした取り組みを強化していくことが求められます。

問 25 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

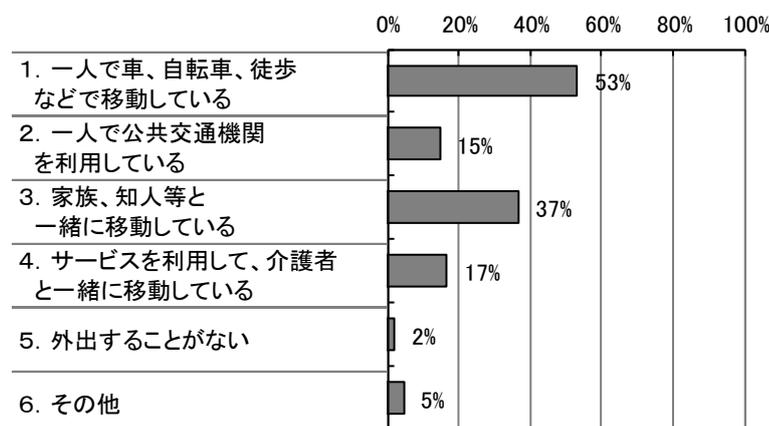
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 毎日外出する	338	35%	159	38%	59	38%	40	27%	30	29%	50	34%
2. 1週間に数回外出する	362	37%	171	41%	47	31%	63	42%	34	32%	47	32%
3. めったに外出しない	179	18%	57	14%	41	27%	26	17%	24	23%	31	21%
4. まったく外出しない	50	5%	13	3%	3	2%	12	8%	11	10%	11	8%
無回答	46	5%	21	5%	4	3%	8	5%	6	6%	7	5%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



1週間の外出頻度については、「まったく外出しない」方が5%、「めったに外出しない」方が18%います。

問 26 外出する時の主な移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人で車、自転車、徒歩などで移動している	519	53%	256	61%	47	31%	93	62%	40	38%	83	57%
2. 一人で公共交通機関(列車、バス等)を利用している	143	15%	46	11%	26	17%	32	21%	18	17%	21	14%
3. 家族、知人等と一緒に移動している	358	37%	140	33%	82	53%	57	38%	33	31%	46	32%
4. 障がい福祉や介護保険などのサービスを利用して、介護者と一緒に移動している	163	17%	48	11%	58	38%	17	11%	26	25%	14	10%
5. 外出することがない	21	2%	7	2%	2	1%	5	3%	4	4%	3	2%
6. その他	45	5%	15	4%	8	5%	5	3%	7	7%	10	7%
無回答	44	5%	17	4%	5	3%	9	6%	5	5%	8	5%
回答者数	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



外出する時の主な移動手段は、「一人で車、自転車、徒歩などで移動している」が53%など表のとおりです。

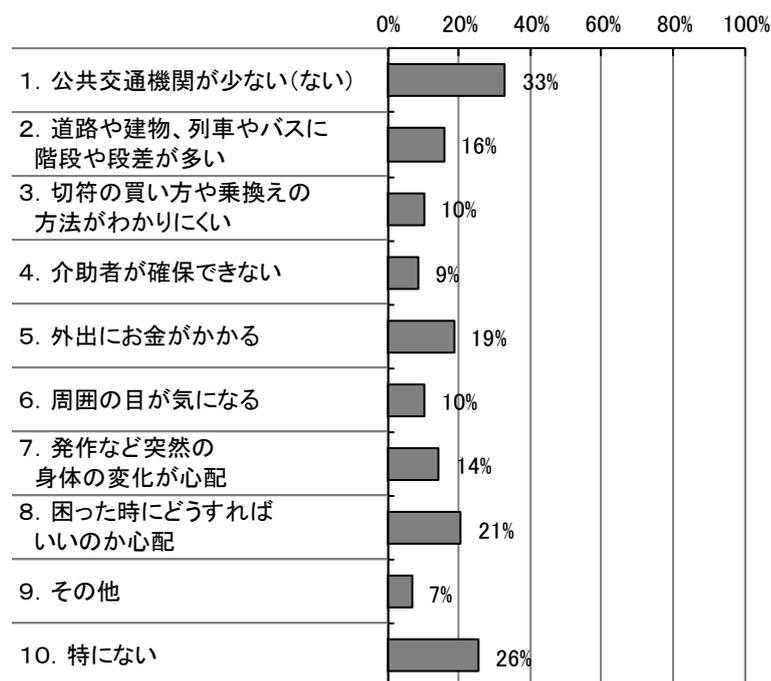
問 27 心身障害者等無料バス優待券を利用していますか。(○は1つだけ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	117	12%	29	7%	26	17%	36	24%	21	20%	5	3%
2. 心身障害者等無料バス優待券の交付を受けているが、利用していない	205	21%	98	23%	34	22%	46	31%	21	20%	6	4%
3. 心身障害者等無料バス優待券のことを知らない	284	29%	123	29%	41	27%	30	20%	24	23%	66	45%
4. その他	182	19%	96	23%	28	18%	15	10%	17	16%	26	18%
無回答	187	19%	75	18%	25	16%	22	15%	22	21%	43	29%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

心身障害者等無料バス優待券を「利用している」方が12%で、「交付を受けているが、利用していない」方が21%います。

問 28 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 公共交通機関が少ない(ない)	322	33%	144	34%	51	33%	66	44%	21	20%	40	27%
2. 道路や建物、列車やバスに階段や段差が多い	154	16%	103	24%	10	6%	14	9%	15	14%	12	8%
3. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	99	10%	22	5%	35	23%	18	12%	15	14%	9	6%
4. 介助者が確保できない	85	9%	28	7%	29	19%	10	7%	13	12%	5	3%
5. 外出にお金がかかる	181	19%	66	16%	22	14%	48	32%	20	19%	25	17%
6. 周囲の目が気になる	101	10%	26	6%	22	14%	31	21%	9	9%	13	9%
7. 発作など突然の身体の変化が心配	141	14%	60	14%	20	13%	28	19%	14	13%	19	13%
8. 困った時にどうすればいいのか心配	202	21%	67	16%	64	42%	33	22%	22	21%	16	11%
9. その他	66	7%	27	6%	9	6%	12	8%	11	10%	7	5%
10. 特にない	249	26%	115	27%	28	18%	26	17%	23	22%	57	39%
無回答	81	8%	34	8%	9	6%	11	7%	12	11%	15	10%
回答者数	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

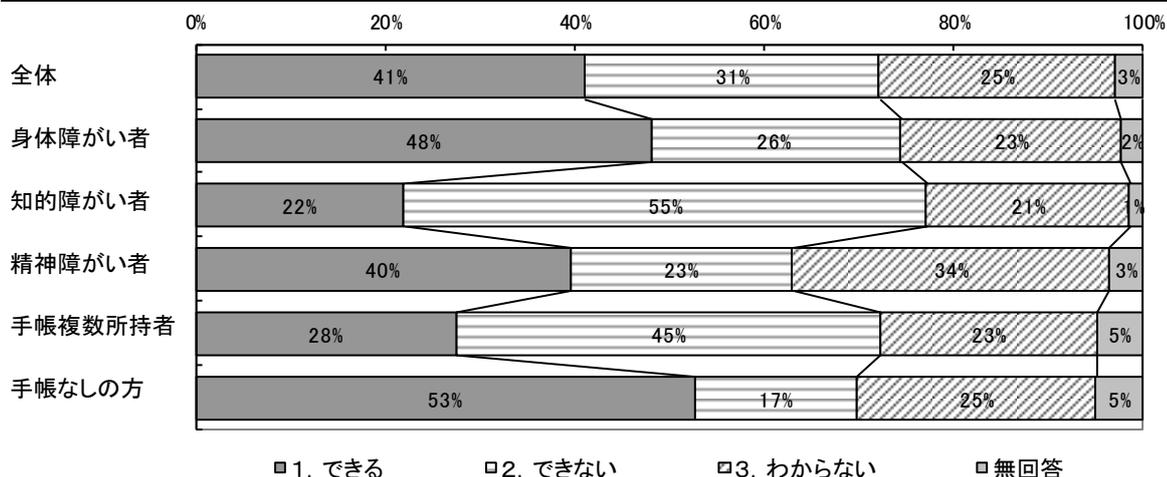


外出する時に困ることは、「公共交通機関が少ない(ない)」が33%で最も多くなっています。「介助者が確保できない」を9%の方が、「周囲の目が気になる」を10%の方が上げており、障害福祉サービスの活用や、市民への意識啓発などの取り組みを強化していくことが必要といえます。

第5節 災害時の課題

問29 あなたは、地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

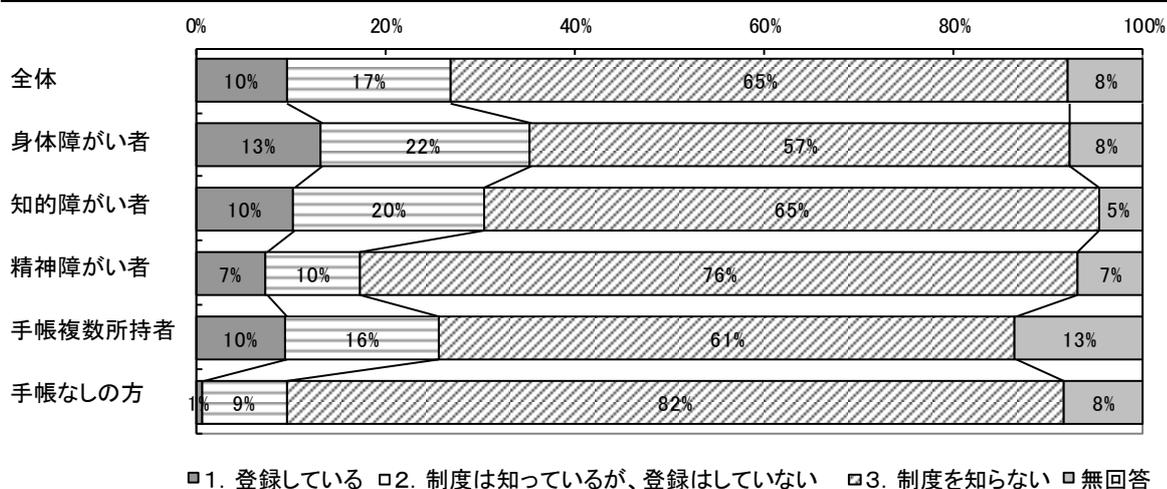
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できる	402	41%	203	48%	34	22%	59	40%	29	28%	77	53%
2. できない	303	31%	111	26%	85	55%	35	23%	47	45%	25	17%
3. わからない	242	25%	98	23%	33	21%	50	34%	24	23%	37	25%
無回答	28	3%	9	2%	2	1%	5	3%	5	5%	7	5%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



災害時に一人で避難が「できない」方は約3割で、知的障がい者では5割以上ののぼります。

問30 あなたは、災害時要援護者避難支援登録制度に登録していますか。(○は1つだけ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 登録している	94	10%	56	13%	16	10%	11	7%	10	10%	1	1%
2. 制度は知っているが、登録はしていない	169	17%	93	22%	31	20%	15	10%	17	16%	13	9%
3. 制度を知らない	637	65%	240	57%	100	65%	113	76%	64	61%	120	82%
無回答	75	8%	32	8%	7	5%	10	7%	14	13%	12	8%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

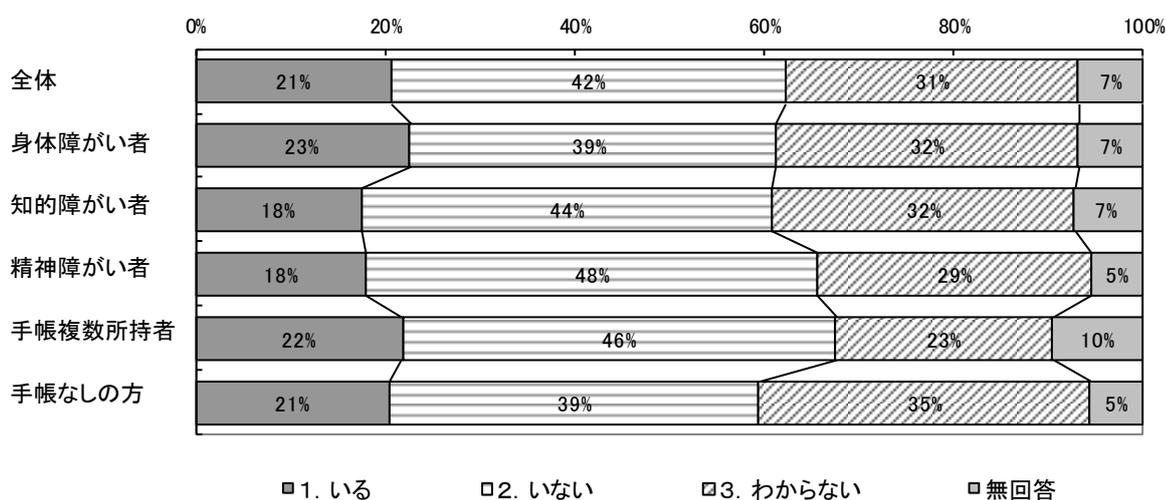


災害時要援護者登録制度は、「登録している」は1割で、「制度を知らない」方が6割以上ののぼります。同制度は、重度の障がい者を対象としており、アンケート回答者の多くは対象外ですが、制度の周知度は高めていくことが求められます。

問31 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。

(○は1つだけ)

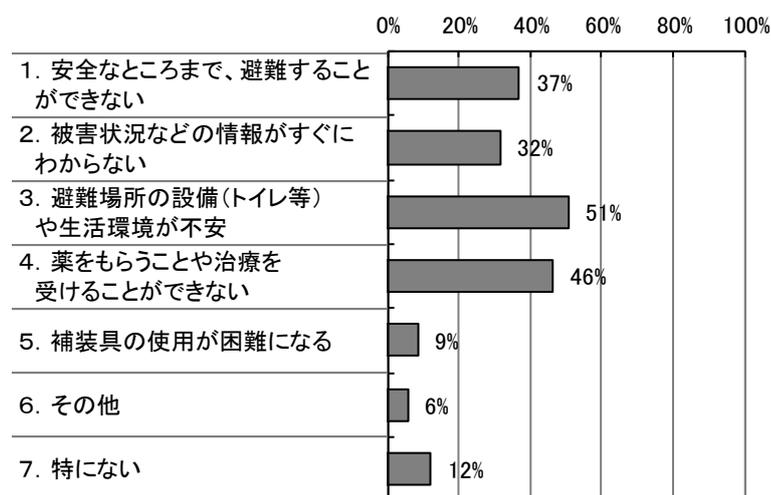
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. いる	202	21%	95	23%	27	18%	27	18%	23	22%	30	21%
2. いない	406	42%	163	39%	67	44%	71	48%	48	46%	57	39%
3. わからない	302	31%	135	32%	49	32%	43	29%	24	23%	51	35%
無回答	65	7%	28	7%	11	7%	8	5%	10	10%	8	5%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



家族が不在の場合や一人暮らしの場合の助けてくれる人の有無については、「いる」は約2割で、圧倒的多数の方は「いない」または「わからない」と回答しています。

問 32 地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 安全なところまで、避難することができない	361	37%	137	33%	90	58%	52	35%	51	49%	31	21%
2. 被害状況などの情報がすぐにわからない	308	32%	101	24%	80	52%	51	34%	37	35%	39	27%
3. 避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	494	51%	221	52%	87	56%	85	57%	43	41%	58	40%
4. 薬をもらうことや治療を受けることができない	452	46%	185	44%	57	37%	100	67%	49	47%	61	42%
5. 補装具の使用が困難になる	83	9%	53	13%	9	6%	5	3%	12	11%	4	3%
6. その他	56	6%	22	5%	9	6%	10	7%	10	10%	5	3%
7. 特にない	119	12%	50	12%	13	8%	9	6%	12	11%	35	24%
無回答	57	6%	24	6%	8	5%	6	4%	8	8%	11	8%
回答者数	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



災害時に困ることは、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が51%で最も多く、次いで「薬をもらうことや治療を受けることができない」が46%、「安全なところまで、避難することができない」が37%、「被害状況などの情報がすぐにわからない」が32%などとなっています。

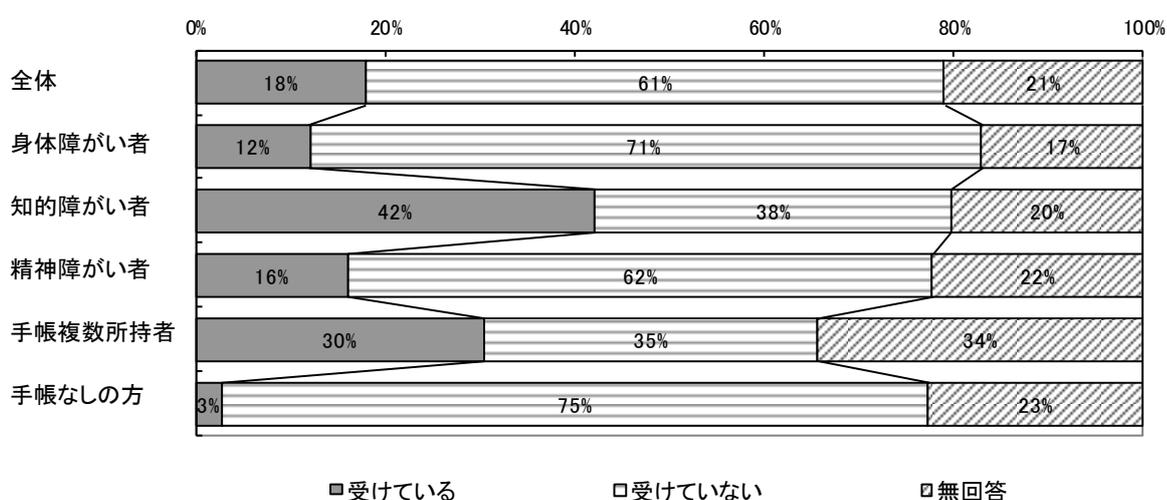
障がい者に配慮した避難所運営や、避難支援、医療との連携強化などが一層求められます。

第6節 障害福祉サービス等の利用状況やニーズ

問33 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。受けている場合、区分は何ですか。

(○は1つだけ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 区分1	19	2%	7	2%	1	1%	3	2%	6	6%	2	1%
2. 区分2	32	3%	13	3%	3	2%	14	9%	2	2%	0	0%
3. 区分3	40	4%	9	2%	14	9%	7	5%	8	8%	2	1%
4. 区分4	24	2%	8	2%	14	9%	0	0%	2	2%	0	0%
5. 区分5	29	3%	8	2%	17	11%	0	0%	4	4%	0	0%
6. 区分6	32	3%	6	1%	16	10%	0	0%	10	10%	0	0%
7. 受けていない	595	61%	299	71%	58	38%	92	62%	37	35%	109	75%
無回答	204	21%	71	17%	31	20%	33	22%	36	34%	33	23%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



障害支援区分の認定を受けている回答者は2割弱で、身体障がい者は1割強、知的障がい者は約4割、精神障がい者は2割弱などとなっています。

問34 介護保険の要介護認定を受け、サービスを利用していますか。(○は1つだけ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	89	12%	51	13%	4	6%	16	14%	16	20%	2	2%
2. 利用していない	583	76%	299	76%	54	84%	89	77%	51	65%	90	80%
無回答	91	12%	43	11%	6	9%	10	9%	12	15%	20	18%
合計	763	100%	393	100%	64	100%	115	100%	79	100%	112	100%

40歳以上の回答者のうち、介護保険サービスを利用している回答者は1割程度となっています。

問 35 あなたは次のサービスを利用していますか。

①ホームヘルプサービス（居宅介護・重度訪問介護など）

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	72	7%	38	9%	5	3%	17	11%	10	10%	2	1%
2. 利用していない	737	76%	313	74%	122	79%	111	74%	72	69%	119	82%
無回答	166	17%	70	17%	27	18%	21	14%	23	22%	25	17%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

②福祉施設などへの通所（生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援など）

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	171	18%	35	8%	64	42%	37	25%	26	25%	9	6%
2. 利用していない	634	65%	310	74%	72	47%	89	60%	50	48%	113	77%
無回答	170	17%	76	18%	18	12%	23	15%	29	28%	24	16%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

③短期入所（ショートステイ）

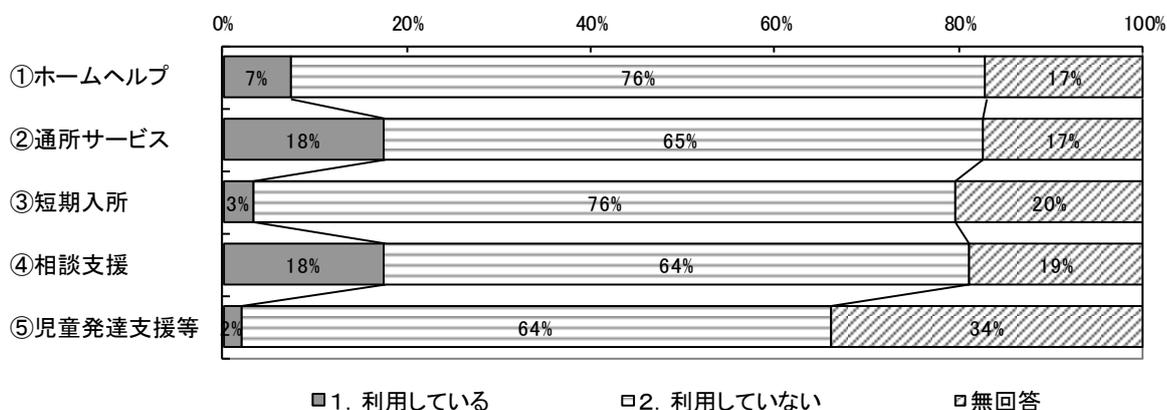
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	33	3%	11	3%	12	8%	2	1%	8	8%	0	0%
2. 利用していない	744	76%	329	78%	114	74%	117	79%	66	63%	118	81%
無回答	198	20%	81	19%	28	18%	30	20%	31	30%	28	19%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

④相談支援

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	171	18%	32	8%	68	44%	43	29%	22	21%	6	4%
2. 利用していない	620	64%	306	73%	63	41%	82	55%	57	54%	112	77%
無回答	184	19%	83	20%	23	15%	24	16%	26	25%	28	19%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

⑤児童発達支援・放課後等デイサービス

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	19	2%	2	0%	11	7%	3	2%	2	2%	1	1%
2. 利用していない	625	64%	262	62%	100	65%	101	68%	59	56%	103	71%
無回答	331	34%	157	37%	43	28%	45	30%	44	42%	42	29%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



主要な福祉サービスの利用状況は、表のとおりです。

問 35 付問 また、今後利用したいと考えますか。

①ホームヘルプサービス（居宅介護・重度訪問介護など）

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用したい	308	32%	160	38%	40	26%	48	32%	28	27%	32	22%
2. 利用しない	433	44%	155	37%	81	53%	75	50%	42	40%	80	55%
無回答	234	24%	106	25%	33	21%	26	17%	35	33%	34	23%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

②福祉施設などへの通所（生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援など）

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用したい	313	32%	115	27%	75	49%	57	38%	33	31%	33	23%
2. 利用しない	418	43%	191	45%	47	31%	63	42%	39	37%	78	53%
無回答	244	25%	115	27%	32	21%	29	19%	33	31%	35	24%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

③短期入所（ショートステイ）

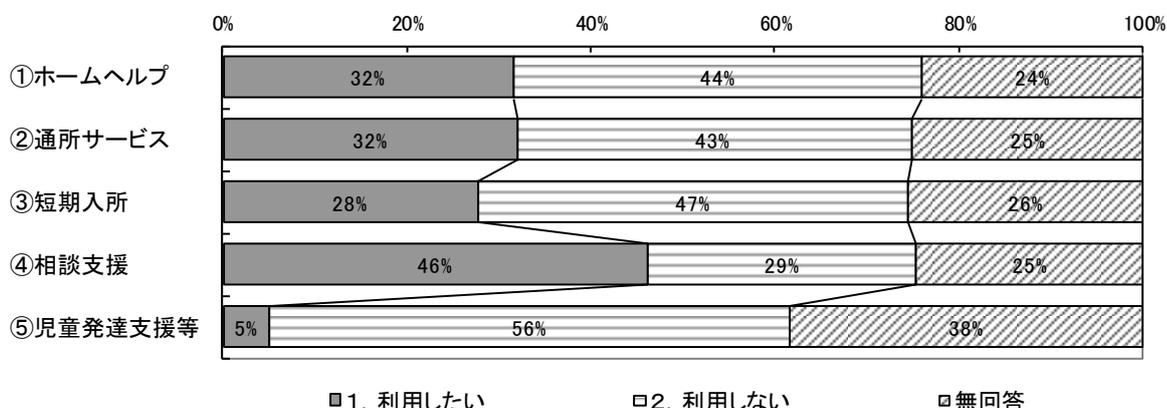
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用したい	270	28%	121	29%	51	33%	40	27%	31	30%	27	18%
2. 利用しない	456	47%	185	44%	69	45%	75	50%	44	42%	83	57%
無回答	249	26%	115	27%	34	22%	34	23%	30	29%	36	25%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

④相談支援

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用したい	450	46%	185	44%	93	60%	80	54%	41	39%	51	35%
2. 利用しない	285	29%	129	31%	32	21%	39	26%	29	28%	56	38%
無回答	240	25%	107	25%	29	19%	30	20%	35	33%	39	27%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

⑤児童発達支援・放課後等デイサービス

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用したい	50	5%	14	3%	15	10%	9	6%	8	8%	4	3%
2. 利用しない	550	56%	226	54%	88	57%	91	61%	55	52%	90	62%
無回答	375	38%	181	43%	51	33%	49	33%	42	40%	52	36%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



主要な福祉サービスの利用意向は、表のとおりです。現在未利用の方にも多くのニーズがみられます。

問 35 18 歳未満のみ抽出

④相談支援の利用状況

	総計		身体障がい者		知的障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	7	30%	0	0%	6	40%	0	0%	1	50%
2. 利用していない	15	65%	3	100%	9	60%	2	67%	1	50%
無回答	1	4%	0	0%	0	0%	1	33%	0	0%
合計	23	100%	3	100%	15	100%	3	100%	2	100%

⑤児童発達支援・放課後等デイサービスの利用状況

	総計		身体障がい者		知的障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	9	39%	0	0%	8	53%	1	33%	0	0%
2. 利用していない	14	61%	3	100%	7	47%	2	67%	2	100%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	23	100%	3	100%	15	100%	3	100%	2	100%

④相談支援の利用意向

	総計		身体障がい者		知的障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用したい	14	61%	1	33%	11	73%	2	67%	0	0%
2. 利用しない	7	30%	2	67%	4	27%	0	0%	1	50%
無回答	2	9%	0	0%	0	0%	1	33%	1	50%
合計	23	100%	3	100%	15	100%	3	100%	2	100%

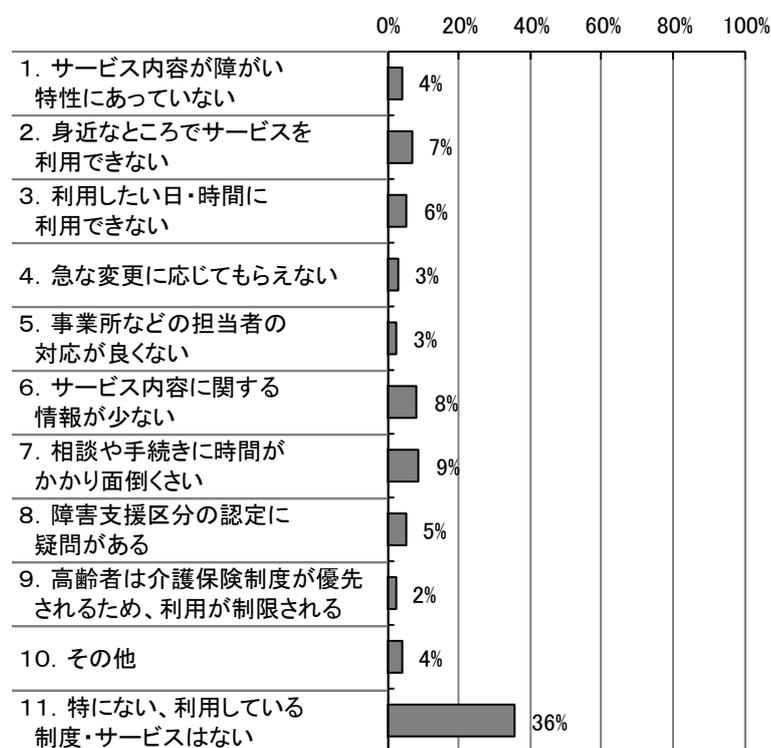
⑤児童発達支援・放課後等デイサービスの利用意向

	総計		身体障がい者		知的障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用したい	12	52%	0	0%	10	67%	2	67%	0	0%
2. 利用しない	11	48%	3	100%	5	33%	1	33%	2	100%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	23	100%	3	100%	15	100%	3	100%	2	100%

④相談支援と⑤児童発達支援・放課後等デイサービスについて、18 歳未満の障がい児の分の回答を抽出した結果は表のとおりです。現在利用していない人も、一定程度、今後利用したいと回答しています。

問36 何らかのサービスを利用している方にお聞きします。サービスを利用して不満に思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. サービス内容が障がい特性にあっていない	39	4%	16	4%	6	4%	9	6%	8	8%	0	0%
2. 身近なところでサービスを利用できない	66	7%	17	4%	22	14%	10	7%	14	13%	3	2%
3. 利用したい日・時間に利用できない	54	6%	13	3%	21	14%	10	7%	7	7%	3	2%
4. 急な変更に応じてもらえない	29	3%	5	1%	12	8%	8	5%	4	4%	0	0%
5. 事業所などの担当者の対応が良くない	25	3%	7	2%	5	3%	4	3%	4	4%	5	3%
6. サービス内容に関する情報が少ない	82	8%	27	6%	19	12%	20	13%	11	10%	5	3%
7. 相談や手続きに時間がかかり面倒くさい	87	9%	23	5%	22	14%	21	14%	13	12%	8	5%
8. 障害支援区分の認定に疑問がある	50	5%	21	5%	10	6%	8	5%	9	9%	2	1%
9. 高齢者は介護保険制度が優先されるため、利用が制限される	22	2%	10	2%	4	3%	5	3%	1	1%	2	1%
10. その他	39	4%	8	2%	10	6%	11	7%	7	7%	3	2%
11. 特になし、利用している制度・サービスはない	347	36%	143	34%	60	39%	56	38%	26	25%	62	42%
無回答	402	41%	215	51%	38	25%	46	31%	40	38%	63	43%
回答者数	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



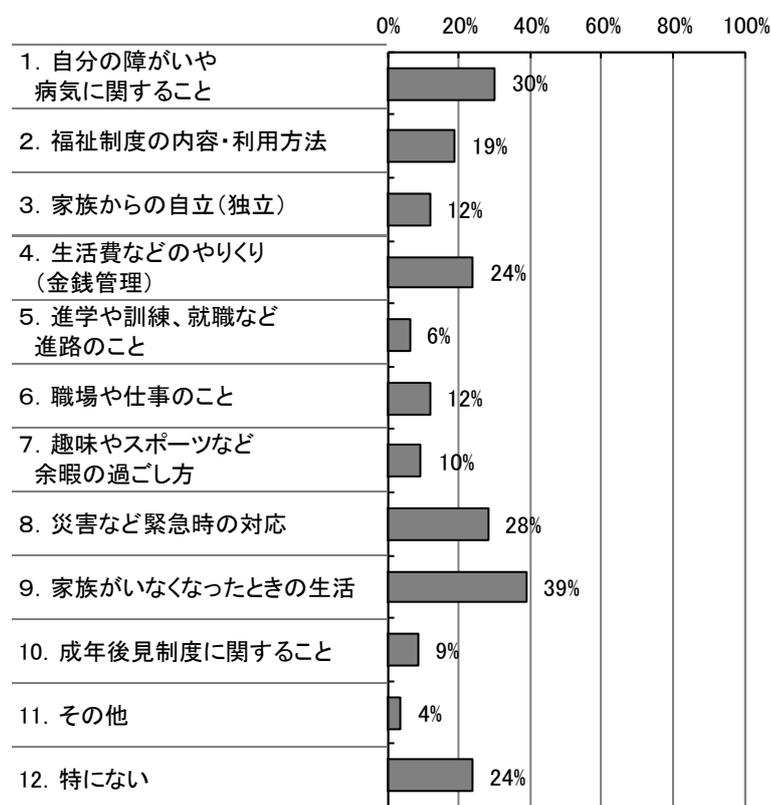
福祉サービスへの不満の内容として、「相談や手続きに時間がかかり面倒くさい」「サービス内容に関する情報が少ない」「身近なところでサービスを利用できない」「利用したい日・時間に利用できない」といった声が上がっており、改善が求められます。

第7節 悩みの内容や相談に関するニーズ

問 37 あなたは、今、悩んでいることや、わからないで困っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 自分の障がいや病気に関すること	294	30%	126	30%	37	24%	59	40%	31	30%	41	28%
2. 福祉制度の内容・利用方法	183	19%	65	15%	40	26%	34	23%	24	23%	20	14%
3. 家族からの自立(独立)	116	12%	18	4%	31	20%	30	20%	16	15%	21	14%
4. 生活費などのやりくり(金銭管理)	235	24%	79	19%	43	28%	54	36%	24	23%	35	24%
5. 進学や訓練、就職など進路のこと	61	6%	6	1%	15	10%	18	12%	11	10%	11	8%
6. 職場や仕事のこと	116	12%	39	9%	20	13%	28	19%	12	11%	17	12%
7. 趣味やスポーツなど余暇の過ごし方	93	10%	25	6%	25	16%	24	16%	12	11%	7	5%
8. 災害など緊急時の対応	275	28%	115	27%	55	36%	48	32%	28	27%	29	20%
9. 家族がいなくなったときの生活	379	39%	118	28%	94	61%	79	53%	43	41%	45	31%
10. 成年後見制度に関すること	85	9%	11	3%	40	26%	14	9%	10	10%	10	7%
11. その他	37	4%	8	2%	4	3%	8	5%	7	7%	10	7%
12. 特にない	233	24%	108	26%	35	23%	25	17%	23	22%	42	29%
無回答	70	7%	38	9%	6	4%	9	6%	4	4%	13	9%
回答者数	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

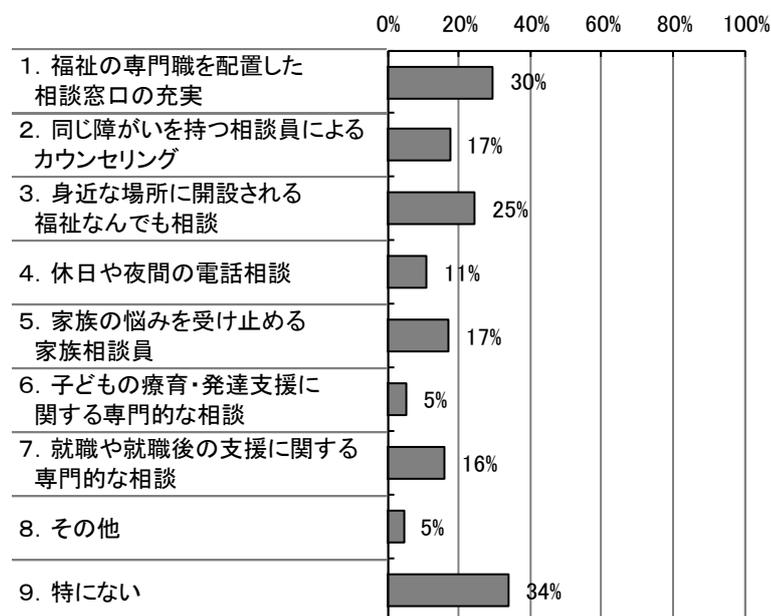


悩んでいることや、わからないで困っていることについては、「家族がいなくなったときの生活」が39%で最も多く、この回答は知的障がい者では6割に、精神障がい者では5割にのびります。

次いで「自分の障がいや病気に関すること」が30%、「災害など緊急時の対応」が28%、「生活費などのやりくり(金銭管理)」が24%などとなっています。

問 38 相談支援体制について、どのようなことの充実を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 福祉の専門職を配置した相談窓口の充実	289	30%	119	28%	49	32%	57	38%	33	31%	31	21%
2. 同じ障がいを持つ相談員によるカウンセリング	170	17%	68	16%	26	17%	37	25%	19	18%	20	14%
3. 身近な場所に開設される福祉なんでも相談	240	25%	99	24%	38	25%	42	28%	31	30%	30	21%
4. 休日や夜間の電話相談	108	11%	30	7%	18	12%	26	17%	15	14%	19	13%
5. 家族の悩みを受け止める家族相談員	167	17%	53	13%	36	23%	34	23%	23	22%	21	14%
6. 子どもの療育・発達支援に関する専門的な相談	52	5%	15	4%	14	9%	9	6%	5	5%	9	6%
7. 就職や就職後の支援に関する専門的な相談	156	16%	44	10%	34	22%	33	22%	18	17%	27	18%
8. その他	44	5%	16	4%	6	4%	13	9%	5	5%	4	3%
9. 特にない	331	34%	151	36%	51	33%	40	27%	27	26%	62	42%
無回答	108	11%	53	13%	11	7%	17	11%	12	11%	15	10%
回答者数	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

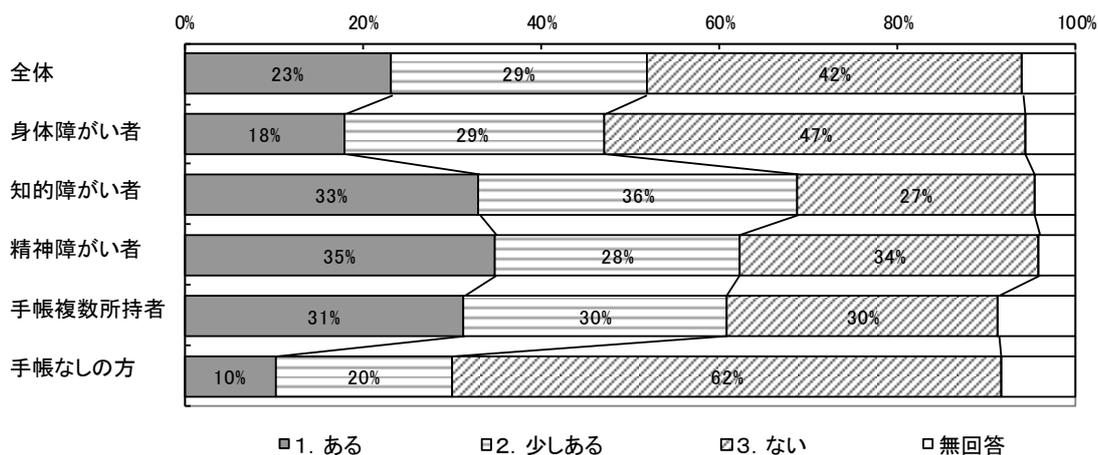


相談支援体制については、「福祉の専門職を配置した相談窓口の充実」が30%で最も多く、次いで「身近な場所に開設される福祉なんでも相談」が25%となっています。

第 8 節 権利擁護に関する状況

問 39 あなたは、障がいがあることで差別を感じたり嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つだけ）

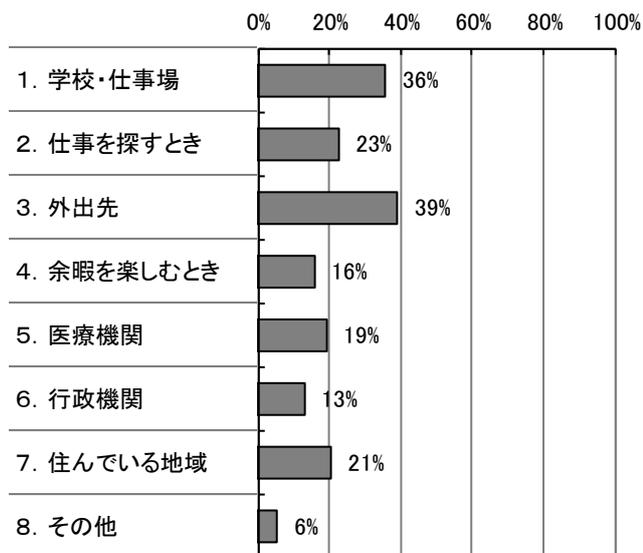
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ある	227	23%	76	18%	51	33%	52	35%	33	31%	15	10%
2. 少しある	279	29%	123	29%	55	36%	41	28%	31	30%	29	20%
3. ない	412	42%	199	47%	41	27%	50	34%	32	30%	90	62%
無回答	57	6%	23	5%	7	5%	6	4%	9	9%	12	8%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%



障がいがあることで差別を感じたり嫌な思いをする（した）ことの有無については、「ある」が23%、「少しある」が29%、「ない」が42%となっています。「ある」は精神障がい者では35%に、知的障がい者では33%にのぼります。

問 40 どのような場所で差別を感じたり嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 学校・仕事場	181	36%	62	31%	53	50%	36	39%	20	31%	10	23%
2. 仕事を探すとき	115	23%	40	20%	14	13%	35	38%	17	27%	9	20%
3. 外出先	198	39%	90	45%	47	44%	29	31%	23	36%	9	20%
4. 余暇を楽しむとき	80	16%	26	13%	27	25%	14	15%	8	13%	5	11%
5. 医療機関	97	19%	38	19%	16	15%	21	23%	12	19%	10	23%
6. 行政機関	66	13%	30	15%	14	13%	13	14%	6	9%	3	7%
7. 住んでいる地域	104	21%	31	16%	20	19%	29	31%	12	19%	12	27%
8. その他	28	6%	7	4%	3	3%	10	11%	4	6%	4	9%
無回答	11	2%	2	1%	3	3%	1	1%	3	5%	2	5%
回答者数	506	100%	199	100%	106	100%	93	100%	64	100%	44	100%

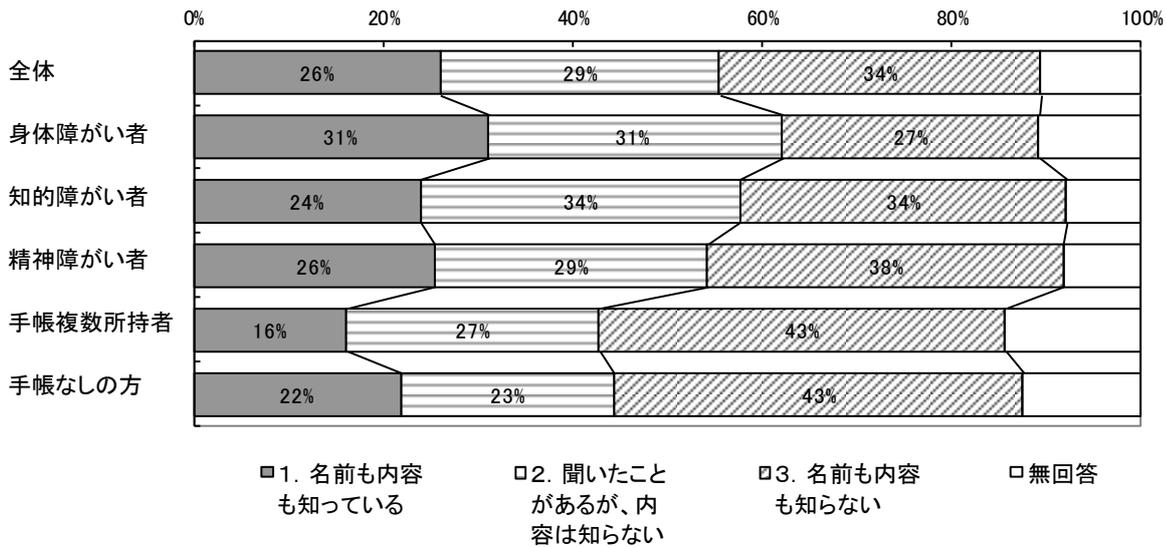


差別を感じたり嫌な思いをした場所については、「外出先」が39%で最も多く、次いで「学校・仕事場」が36%となっています。

「医療機関」や「行政機関」も1～2割の回答があり、改善が求められるほか、精神障がい者に限ると、「仕事を探すとき」が38%と、精神障がい者の回答で2番目に多くなっており、就労支援機関や事業所においても改善が求められます。

問 41 成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 名前も内容も知っている	255	26%	131	31%	37	24%	38	26%	17	16%	32	22%
2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	287	29%	131	31%	52	34%	43	29%	28	27%	33	23%
3. 名前も内容も知らない	331	34%	114	27%	53	34%	56	38%	45	43%	63	43%
無回答	102	10%	45	11%	12	8%	12	8%	15	14%	18	12%
合計	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

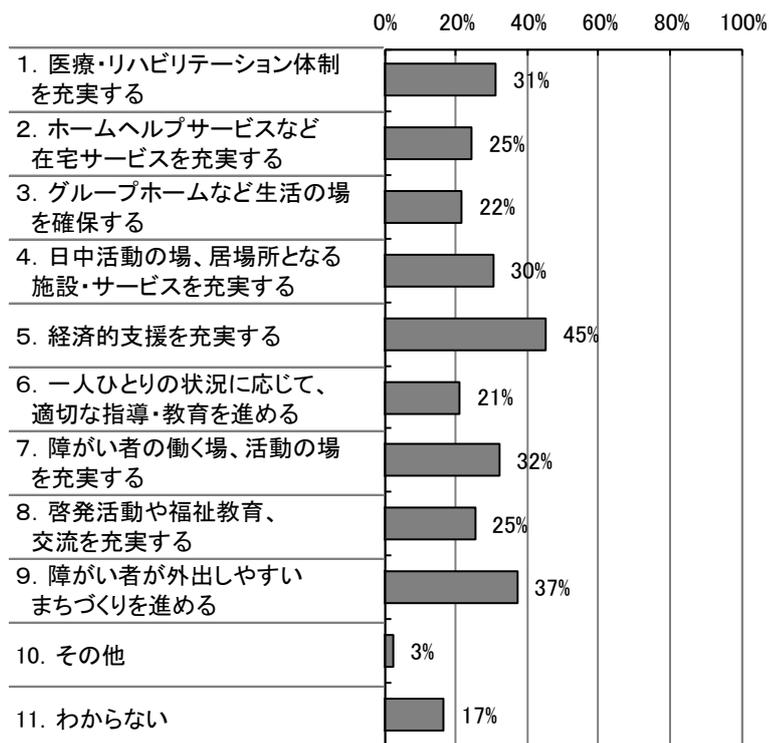


成年後見制度について、「名前も内容も知らない」方が 34%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」方が 29%となっており、一層の周知が求められます。

第9節 障がい者施策全般に関するニーズ

問42 障がい者が自立した生活を送るために、行政はどのようなことを充実させるべきだ
とお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		手帳複数所持者		手帳なしの方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 医療・リハビリテーション体制を充実する	305	31%	156	37%	42	27%	44	30%	26	25%	37	25%
2. ホームヘルプサービスなど在宅サービスを充実する	239	25%	104	25%	33	21%	44	30%	29	28%	29	20%
3. グループホームなど生活の場を確保する	213	22%	62	15%	62	40%	40	27%	25	24%	24	16%
4. 日中活動の場、居場所となる施設・サービスを充実する	297	30%	109	26%	65	42%	51	34%	29	28%	43	29%
5. 経済的支援を充実する	441	45%	186	44%	74	48%	80	54%	42	40%	59	40%
6. 障がいのある子ども一人ひとりの状況に応じて、適切な指導・教育を進める	207	21%	77	18%	51	33%	30	20%	20	19%	29	20%
7. 一般企業などで働くことが難しい障がい者の働く場、活動の場を充実する	314	32%	120	29%	65	42%	61	41%	26	25%	42	29%
8. 障がい者への理解を深めるための啓発活動や福祉教育、交流を充実する	247	25%	90	21%	51	33%	50	34%	22	21%	34	23%
9. 障がい者が外出しやすいまちづくりを進める	362	37%	161	38%	65	42%	56	38%	38	36%	42	29%
10. その他	25	3%	4	1%	5	3%	10	7%	3	3%	3	2%
11. わからない	163	17%	51	12%	24	16%	28	19%	24	23%	36	25%
無回答	84	9%	39	9%	8	5%	11	7%	14	13%	12	8%
回答者数	975	100%	421	100%	154	100%	149	100%	105	100%	146	100%

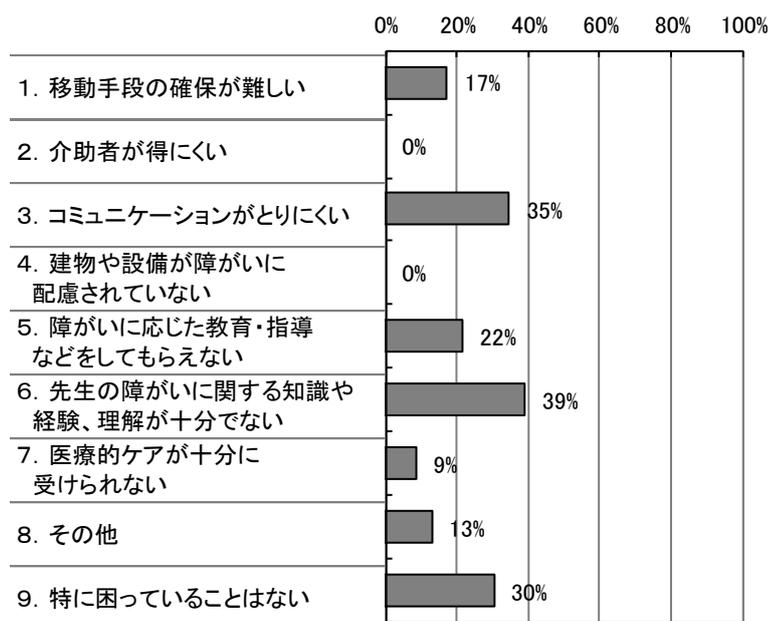


障がい者施策全般に関するニーズについては、「経済的支援を充実する」が45%で最も多く、次いで「障がい者が外出しやすいまちづくりを進める」が37%となっています。

第 10 節 障がい児の支援に関する課題やニーズ

問 43 学校のことで困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい児		知的障がい児		手帳複数所持		手帳未取得児	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 移動手段の確保が難しい	4	17%	0	0%	3	20%	1	33%	0	0%
2. 介助者が得にくい	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3. コミュニケーションがとりにくい	8	35%	0	0%	8	53%	0	0%	0	0%
4. 建物や設備が障がいに配慮されていない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5. 障がいの状況や特性に応じた教育・指導・相談などをしてもらえない	5	22%	1	33%	4	27%	0	0%	0	0%
6. 先生の障がいに関する知識や経験、理解が十分でない	9	39%	1	33%	7	47%	0	0%	1	50%
7. 医療的ケアが十分に受けられない	2	9%	0	0%	2	13%	0	0%	0	0%
8. その他	3	13%	0	0%	3	20%	0	0%	0	0%
9. 特に困っていることはない	7	30%	2	67%	3	20%	1	33%	1	50%
無回答	2	9%	0	0%	1	7%	1	33%	0	0%
回答者数	23	100%	3	100%	15	100%	3	100%	2	100%

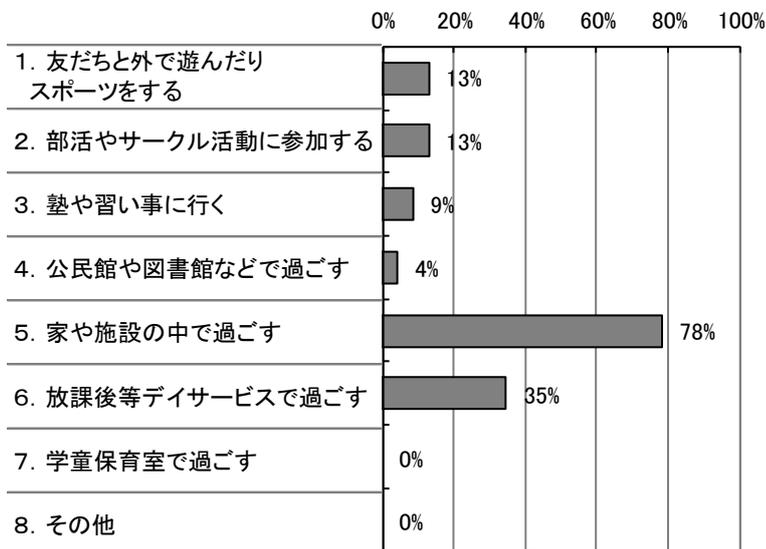


問 43 以降は 18 歳未満の方に学校等のことについてたずねています。

問 43 は「学校のことで困っていること」で、「先生の障がいに関する知識や経験、理解が十分でない」が 39% で最も多く、次いで「コミュニケーションがとりにくい」が 35% となっています。

問 44 放課後や休みの日などは、どのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい児		知的障がい児		手帳複数所持		手帳未取得児	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 友だちと外で遊んだりスポーツをする	3	13%	0	0%	1	7%	0	0%	2	100%
2. 部活やサークル活動に参加する	3	13%	1	33%	2	13%	0	0%	0	0%
3. 塾や習い事に行く	2	9%	0	0%	1	7%	0	0%	1	50%
4. 公民館や図書館などで過ごす	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%	1	50%
5. 家や施設の中で過ごす	18	78%	2	67%	13	87%	2	67%	1	50%
6. 放課後等デイサービスで過ごす	8	35%	0	0%	7	47%	1	33%	0	0%
7. 学童保育室で過ごす	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
8. その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	1	4%	0	0%	1	7%	0	0%	0	0%
回答者数	23	100%	3	100%	15	100%	3	100%	2	100%



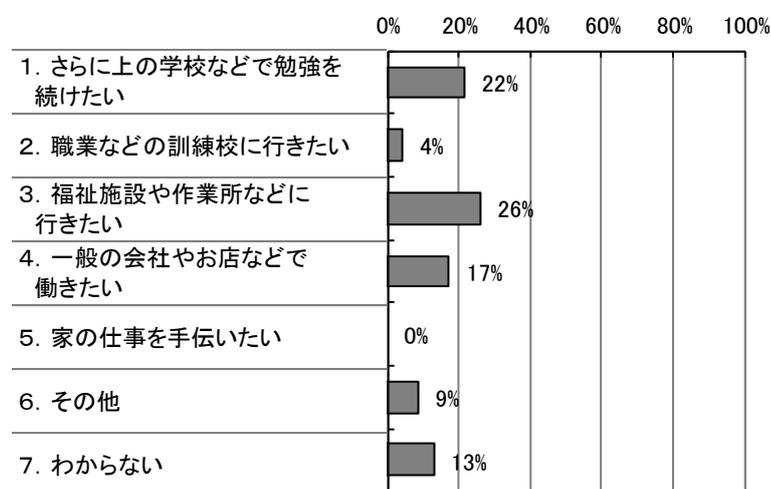
問 44 は放課後や休みの日の過ごし方についてたずねています。

「家や施設の中で過ごす」が最も多くなっています。

「放課後等デイサービスで過ごす」は35%となっています。

問 45 中学・高校などの卒業後の進路はどのようにお考えですか。(○は1つだけ)

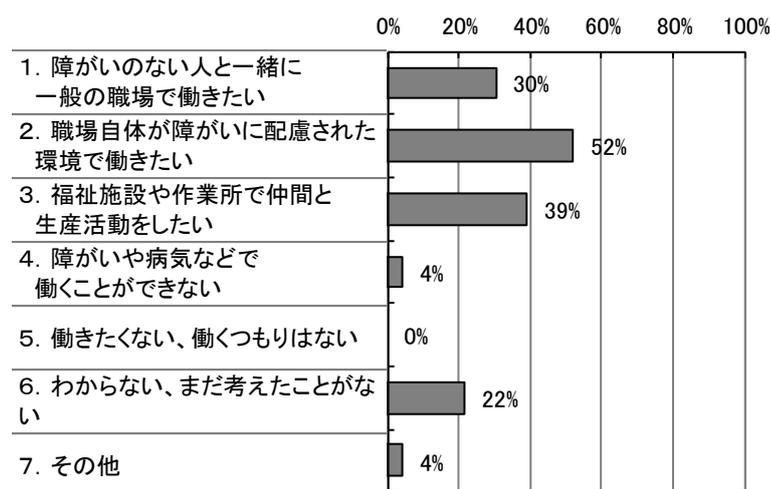
	総計		身体障がい児		知的障がい児		手帳複数所持		手帳未取得児	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. さらに上の学校などで勉強を続けたい	5	22%	2	67%	1	7%	0	0%	2	100%
2. 職業などの訓練校に行きたい	1	4%	0	0%	1	7%	0	0%	0	0%
3. 福祉施設や作業所などに行きたい	6	26%	0	0%	5	33%	1	33%	0	0%
4. 一般の会社やお店などで働きたい	4	17%	1	33%	2	13%	1	33%	0	0%
5. 家の仕事を手伝いたい	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
6. その他	2	9%	0	0%	2	13%	0	0%	0	0%
7. わからない	3	13%	0	0%	2	13%	1	33%	0	0%
無回答	2	9%	0	0%	2	13%	0	0%	0	0%
合計	23	100%	3	100%	15	100%	3	100%	2	100%



問 45 は卒業後の進路希望についてたずねています。「福祉施設や作業所などに行きたい」「さらに上の学校などで勉強を続けたい」などそれぞれの進路希望が回答されています。

問 46 将来、働くことについてどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい児		知的障がい児		手帳複数所持		手帳未取得児	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 障がいのない人と一緒に一般の職場で働きたい	7	30%	3	100%	2	13%	1	33%	1	50%
2. 障がい者が働くことを前提とした訓練があるなど、職場自体が障がいに配慮された環境で働きたい	12	52%	2	67%	8	53%	2	67%	0	0%
3. 一般の職場ではなく福祉施設や作業所で仲間と生産活動をしたい	9	39%	0	0%	7	47%	2	67%	0	0%
4. 障がいや病気などで働くことができない	1	4%	0	0%	1	7%	0	0%	0	0%
5. 働きたくない、働くつもりはない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
6. わからない、まだ考えたことがない	5	22%	0	0%	4	27%	0	0%	1	50%
7. その他	1	4%	0	0%	1	7%	0	0%	0	0%
無回答	1	4%	0	0%	1	7%	0	0%	0	0%
回答者数	23	100%	3	100%	15	100%	3	100%	2	100%

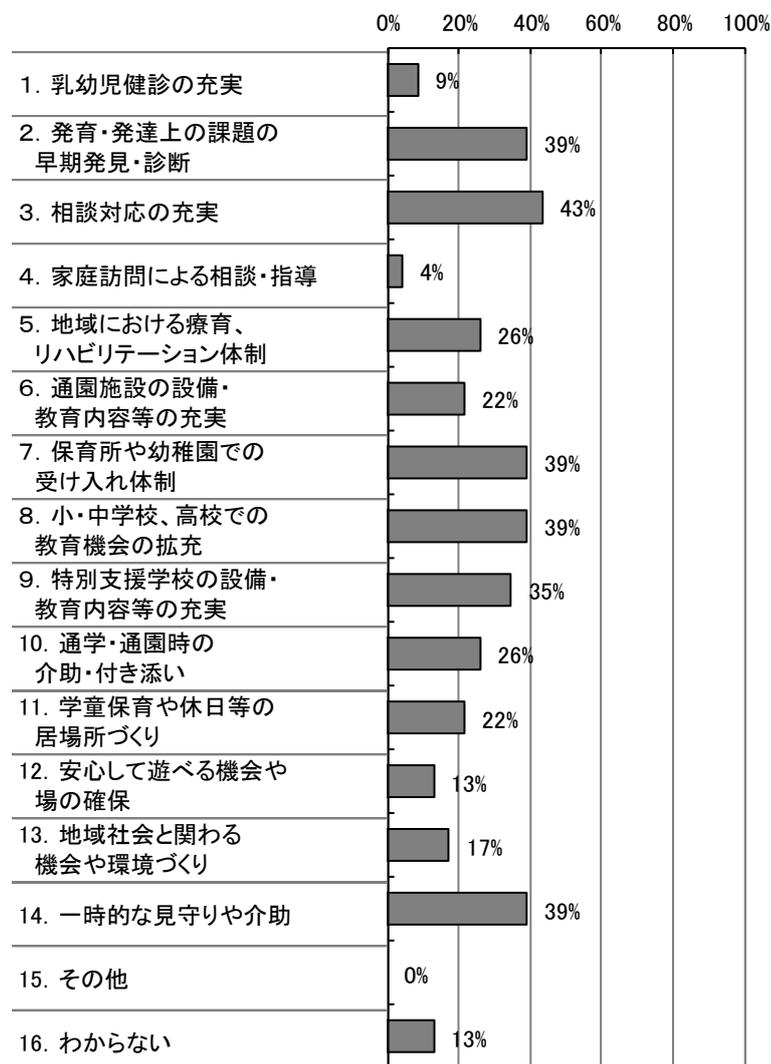


問 46 は将来、働くことについてたずねています。

「障がい者が働くことを前提とした訓練があるなど、職場自体が障がいに配慮された環境で働きたい」という回答が最も多くなっています。

問 47 障がいのある子どものために、特に重要と思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		身体障がい児		知的障がい児		手帳複数所持		手帳未取得児	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 乳幼児健診の充実	2	9%	0	0%	2	13%	0	0%	0	0%
2. 発育・発達上の課題の早期発見・診断	9	39%	1	33%	6	40%	1	33%	1	50%
3. 相談対応の充実	10	43%	1	33%	8	53%	1	33%	0	0%
4. 家庭訪問による相談・指導	1	4%	0	0%	1	7%	0	0%	0	0%
5. 地域における療育、リハビリテーション体制	6	26%	0	0%	4	27%	2	67%	0	0%
6. 通園施設の設備・教育内容等の充実	5	22%	0	0%	4	27%	1	33%	0	0%
7. 保育所や幼稚園での受け入れ体制	9	39%	2	67%	6	40%	1	33%	0	0%
8. 小・中学校、高校での教育機会の拡充	9	39%	1	33%	7	47%	0	0%	1	50%
9. 特別支援学校の設備・教育内容等の充実	8	35%	0	0%	8	53%	0	0%	0	0%
10. 通学・通園時の介助・付き添い	6	26%	1	33%	3	20%	2	67%	0	0%
11. 学童保育や休日等の居場所づくり	5	22%	0	0%	4	27%	1	33%	0	0%
12. 安心して遊べる機会や場の確保	3	13%	0	0%	3	20%	0	0%	0	0%
13. 地域社会と関わる機会や環境づくり	4	17%	0	0%	4	27%	0	0%	0	0%
14. 保護者が介助・支援できないときの一時的な見守りや介助	9	39%	1	33%	5	33%	3	100%	0	0%
15. その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
16. わからない	3	13%	0	0%	2	13%	0	0%	1	50%
無回答	3	13%	0	0%	3	20%	0	0%	0	0%
回答者数	23	100%	3	100%	15	100%	3	100%	2	100%



障がいのある子どものために、特に重要と思うものは、「相談対応の充実」「発育・発達上の課題の早期発見・診断」「保育所や幼稚園での受け入れ体制」「小・中学校、高校での教育機会の拡充」「保護者が介助・支援できないときの一時的な見守りや介助」などのニーズが高くなっています。

第2章 子ども用調査

第1節 属性

問1 この調査にお答えいただく方はどなたですか。(○は1つだけ)

問2 ご本人(お子さま)の年齢をお答えください。

	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 親	93	100%	9	100%	33	100%	25	100%	25	100%	1	100%
2. 親以外の家族	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3. その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	93	100%	9	100%	33	100%	25	100%	25	100%	1	100%

問3 ご本人の性別をお答えください。(○は1つだけ)

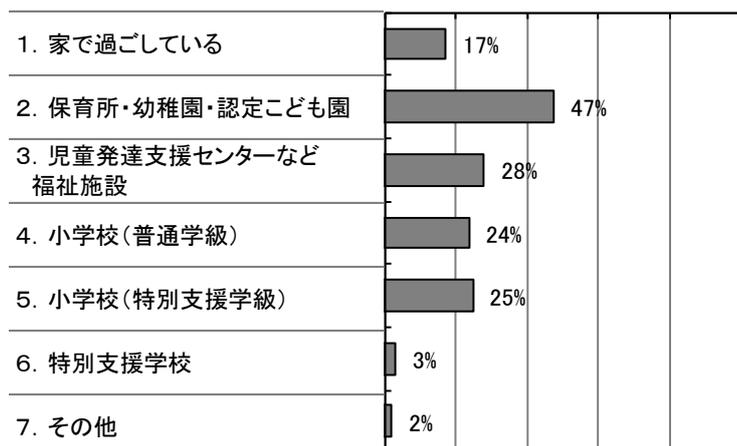
	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 男性	68	73%	7	78%	24	73%	21	84%	16	64%	0	0%
2. 女性	24	26%	2	22%	8	24%	4	16%	9	36%	1	100%
無回答	1	1%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	93	100%	9	100%	33	100%	25	100%	25	100%	1	100%

子ども用調査の回答者は全員が「親」でした。子どもの年齢は、2～3歳が約1割で、4～5歳、6～8歳、9～12歳がそれぞれ3割程度でした。性別は男の子が多い状況です。

問4 ご本人は、平日の日中をどこで過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 家で過ごしている	16	17%	4	44%	5	15%	1	4%	6	24%	0	0%
2. 保育所・幼稚園・認定こども園	44	47%	6	67%	32	97%	6	24%	0	0%	0	0%
3. 児童発達支援センターなど福祉施設	26	28%	4	44%	12	36%	4	16%	6	24%	0	0%
4. 小学校(普通学級)	22	24%	0	0%	0	0%	10	40%	11	44%	1	100%
5. 小学校(特別支援学級)	23	25%	0	0%	0	0%	9	36%	14	56%	0	0%
6. 特別支援学校	3	3%	0	0%	0	0%	1	4%	2	8%	0	0%
7. その他	2	2%	0	0%	0	0%	1	4%	1	4%	0	0%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
回答者数	93	100%	9	100%	33	100%	25	100%	25	100%	1	100%

0% 20% 40% 60% 80% 100%



日中の活動場所は、就学児は普通学級と特別支援学級が半々程度で、特別支援学校は数人です。未就学児は、保育所・幼稚園・認定こども園に通いつつ、3～4割の子どもが児童発達支援センターなど福祉施設にも通園している状況です。

第2節 発育・発達についての意識

問5 ご本人の発育・発達に関することで、気になることはありますか。(○は1つだけ)

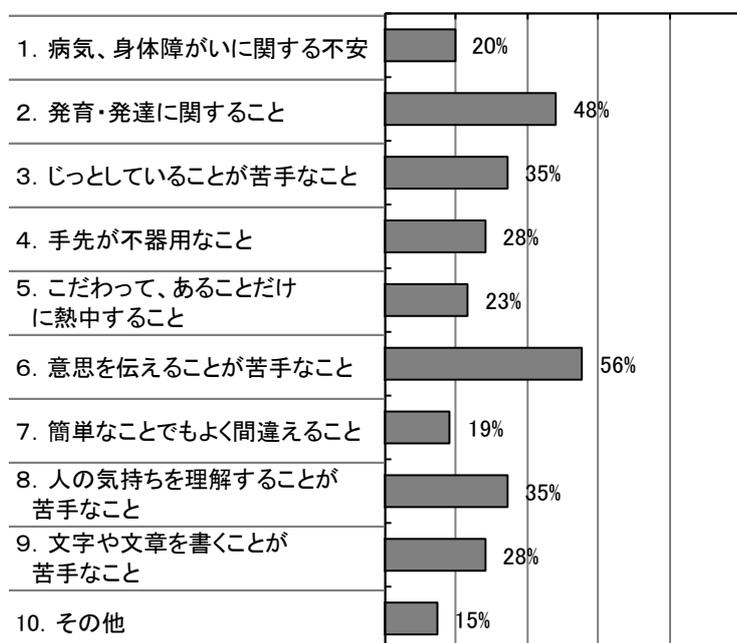
	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ある	81	87%	6	67%	29	88%	23	92%	22	88%	1	100%
2. 特にない	10	11%	2	22%	4	12%	2	8%	2	8%	0	0%
無回答	2	2%	1	11%	0	0%	0	0%	1	4%	0	0%
合計	93	100%	9	100%	33	100%	25	100%	25	100%	1	100%

発育・発達に関することで気になることは、約9割が「ある」と回答しています。

問6 どのようなことが気になりますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 病気、身体障がいに関する不安	16	20%	2	33%	2	7%	2	9%	10	45%	0	0%
2. 発育・発達(少食・偏食、身辺自立、歩行や発語が遅いなど)に関すること	39	48%	6	100%	12	41%	11	48%	10	45%	0	0%
3. じっとしていることが苦手なこと	28	35%	3	50%	14	48%	7	30%	4	18%	0	0%
4. 手先が不器用なこと	23	28%	0	0%	9	31%	9	39%	5	23%	0	0%
5. こだわって、あることだけに熱中すること	19	23%	2	33%	7	24%	3	13%	7	32%	0	0%
6. 意思を伝えることが苦手なこと	45	56%	1	17%	11	38%	17	74%	15	68%	1	100%
7. 簡単なことでもよく間違えること	15	19%	1	17%	3	10%	5	22%	6	27%	0	0%
8. 人の気持ちを理解することが苦手なこと	28	35%	1	17%	7	24%	12	52%	7	32%	1	100%
9. 文字や文章を書くことが苦手なこと	23	28%	2	33%	6	21%	5	22%	9	41%	1	100%
10. その他	12	15%	0	0%	5	17%	2	9%	5	23%	0	0%
無回答	1	1%	0	0%	0	0%	1	4%	0	0%	0	0%
回答者数	81	100%	6	100%	29	100%	23	100%	22	100%	1	100%

0% 20% 40% 60% 80% 100%



気になることの内容は、「意思を伝えることが苦手なこと」が最も多く、次いで「発育・発達(少食・偏食、身辺自立、歩行や発語が遅いなど)に関すること」となっていますが、9つの選択肢で回答が分散しており、気になることは一人ずつ多様に異なることがわかります。

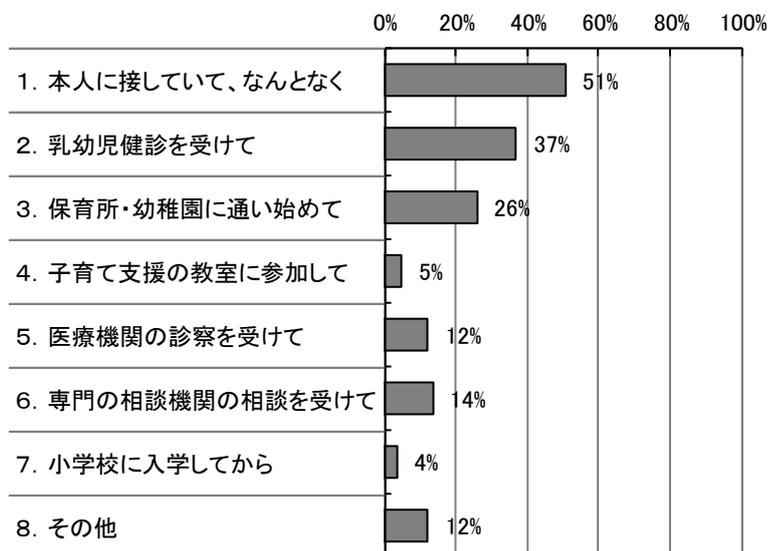
問7 ご本人が何歳の時に初めて気になりましたか。

	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0～1歳	24	30%	4	67%	4	14%	5	22%	11	50%	0	0%
2歳	25	31%	1	17%	14	48%	7	30%	3	14%	0	0%
3歳	22	27%	1	17%	10	34%	9	39%	2	9%	0	0%
4歳	4	5%	0	0%	1	3%	1	4%	2	9%	0	0%
5歳以上	6	7%	0	0%	0	0%	1	4%	4	18%	1	100%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	81	100%	6	100%	29	100%	23	100%	22	100%	1	100%

発育・発達に関することで気になることを初めて感じた年齢は、「2歳」と「0～1歳」、「3歳」がそれぞれ3割程度で、大半のケースで、乳児期に初めて気になったということがわかります。

問8 気づいたきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

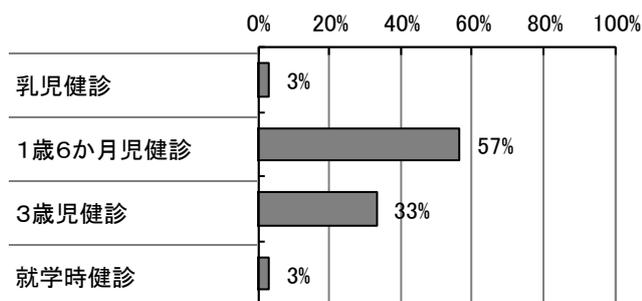
	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 本人に接していて、なんとなく	41	51%	5	83%	13	45%	14	61%	9	41%	0	0%
2. 乳幼児健診を受けて	30	37%	4	67%	15	52%	6	26%	5	23%	0	0%
3. 保育所・幼稚園に通い始めて	21	26%	1	17%	7	24%	8	35%	4	18%	1	100%
4. 子育て支援の教室に参加して	4	5%	0	0%	1	3%	2	9%	1	5%	0	0%
5. 医療機関の診察を受けて	10	12%	1	17%	0	0%	1	4%	8	36%	0	0%
6. 専門の相談機関の相談を受けて	11	14%	0	0%	5	17%	4	17%	2	9%	0	0%
7. 小学校に入学してから	3	4%	0	0%	0	0%	1	4%	2	9%	0	0%
8. その他	10	12%	0	0%	3	10%	4	17%	3	14%	0	0%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
回答者数	81	100%	6	100%	29	100%	23	100%	22	100%	1	100%



気づいたきっかけは、「本人に接していて、なんとなく」が51%と最も多く、次いで「乳幼児健診を受けて」が37%となっています。

問8 付問 いずれの健診ですか。

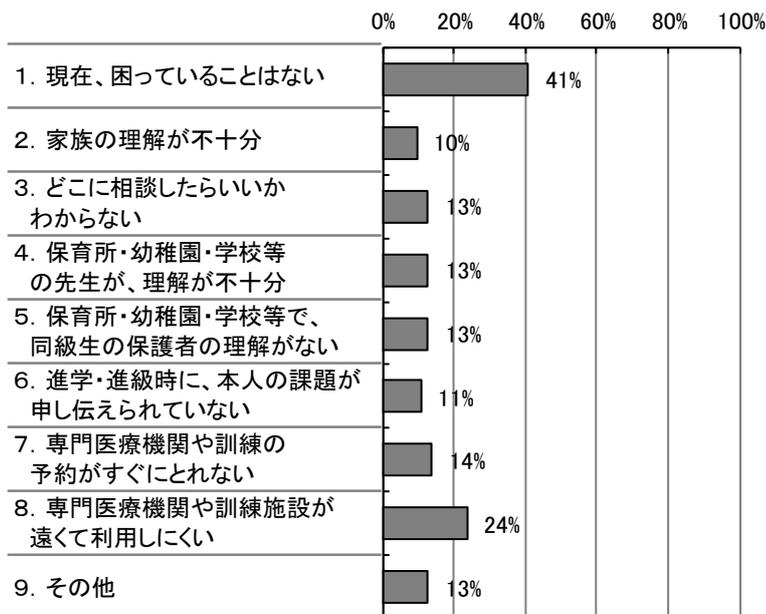
	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
乳児健診	1	3%	1	25%	0	0%	0	0%	0	0%
1歳6か月児健診	17	57%	3	75%	9	60%	2	33%	3	60%
3歳児健診	10	33%	0	0%	5	33%	3	50%	2	40%
就学時健診	1	3%	0	0%	1	7%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	1	3%	0	0%	0	0%	1	17%	0	0%
合計	30	100%	4	100%	15	100%	6	100%	5	100%



気づいたきっかけとなった乳幼児健診は、1歳6か月児健診が多くなっています。

問9 ご本人の発育・発達の相談に関すること、専門医療機関・訓練施設に関すること、現在、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 現在、困っていることはない	38	41%	4	44%	14	42%	15	60%	4	16%	1	100%
2. 家族の理解が不十分	9	10%	1	11%	1	3%	4	16%	3	12%	0	0%
3. どこに相談したらいいかわからない	12	13%	2	22%	3	9%	2	8%	5	20%	0	0%
4. 保育所・幼稚園・学校等の先生が、本人の言動について理解が不十分	12	13%	0	0%	6	18%	2	8%	4	16%	0	0%
5. 保育所・幼稚園・学校等で、同級生の保護者の理解がない	12	13%	1	11%	2	6%	3	12%	6	24%	0	0%
6. 進学・進級時に、本人の発育・発達上の課題が申し伝えられていない	10	11%	0	0%	3	9%	0	0%	7	28%	0	0%
7. 専門医療機関や訓練の予約がすぐにとれない	13	14%	0	0%	6	18%	3	12%	4	16%	0	0%
8. 専門医療機関や訓練施設が遠くて利用しにくい	22	24%	1	11%	7	21%	3	12%	11	44%	0	0%
9. その他	12	13%	1	11%	5	15%	2	8%	4	16%	0	0%
無回答	6	6%	1	11%	2	6%	0	0%	3	12%	0	0%
回答者数	93	100%	9	100%	33	100%	25	100%	25	100%	1	100%



専門医療機関・訓練施設に関することで、「専門医療機関や訓練施設が遠くて利用しにくい」が24%で最も多く、「専門医療機関や訓練の予約がすぐにとれない」などその他の項目についても1割前後の回答が上がっており、様々なことで困っている現状がわかります。

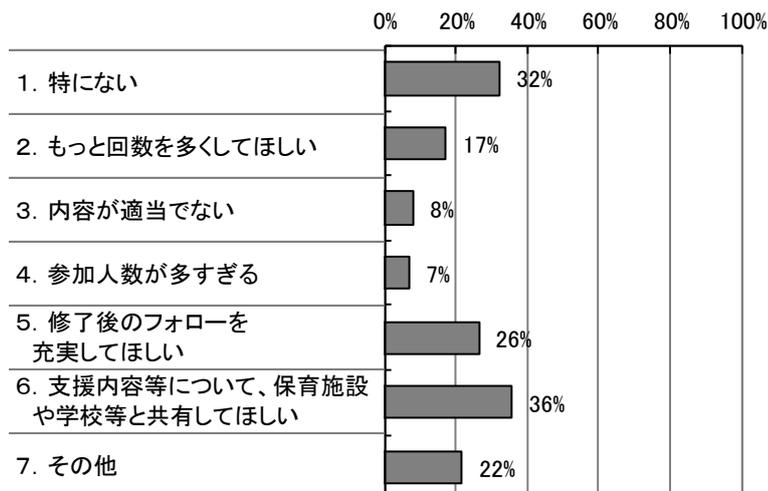
第3節 通所サービスの利用の現状やニーズ

問10 ご本人は、継続的な通所サービスとして、児童発達支援または放課後等デイサービスを利用されたことはありますか。(○は1つだけ)

	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	87	94%	9	100%	33	100%	24	96%	20	80%	1	100%
2. いいえ	6	6%	0	0%	0	0%	1	4%	5	20%	0	0%
3. 知らない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	93	100%	9	100%	33	100%	25	100%	25	100%	1	100%

問11 利用した感想や、ご要望があれば、教えてください。(あてはまるものすべてに○)

	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 特にない	28	32%	4	44%	9	27%	10	42%	4	20%	1	100%
2. もっと回数を多くしてほしい	15	17%	0	0%	7	21%	4	17%	4	20%	0	0%
3. 内容が適当でない(難しいまたは簡単すぎる)	7	8%	1	11%	2	6%	2	8%	2	10%	0	0%
4. 参加人数が多すぎる	6	7%	0	0%	4	12%	0	0%	2	10%	0	0%
5. 修了後のフォローを充実してほしい	23	26%	2	22%	6	18%	6	25%	9	45%	0	0%
6. 支援内容等について、通所・通学中の保育施設や学校等の教育機関と共有してほしい	31	36%	3	33%	13	39%	5	21%	10	50%	0	0%
7. その他	19	22%	2	22%	7	21%	5	21%	5	25%	0	0%
無回答	2	2%	0	0%	0	0%	1	4%	1	5%	0	0%
回答者数	87	100%	9	100%	33	100%	24	100%	20	100%	1	100%

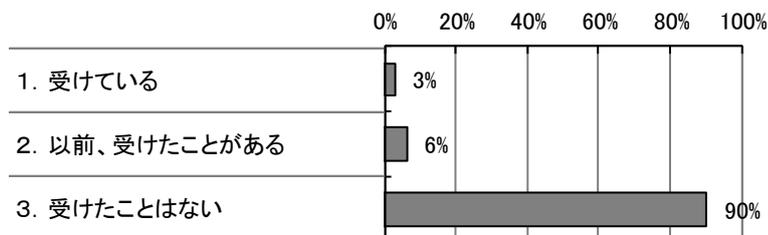


このアンケートは、児童発達支援または放課後等デイサービスの利用者（過去に利用したケースも含む）と、障害者手帳所持者を対象としており、回答者の大半は、児童発達支援または放課後等デイサービスを利用しています。その感想や要望については、「支援内容等について、通所・通学中の保育施設や学校等の教育機関と共有してほしい」という回答が36%、「修了後のフォローを充実してほしい」という回答が26%あり、改善が求められます。

第4節 医療的ケアの現状

問12 ご本人は、経管栄養、吸引、吸入、人工呼吸、導尿などの「医療的なケア」を受けていますか。（○は1つだけ）

	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 受けている	3	3%	0	0%	1	3%	1	4%	1	4%	0	0%
2. 以前、受けたことがある	6	6%	1	11%	2	6%	1	4%	2	8%	0	0%
3. 受けたことはない	84	90%	8	89%	30	91%	23	92%	22	88%	1	100%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	93	100%	9	100%	33	100%	25	100%	25	100%	1	100%

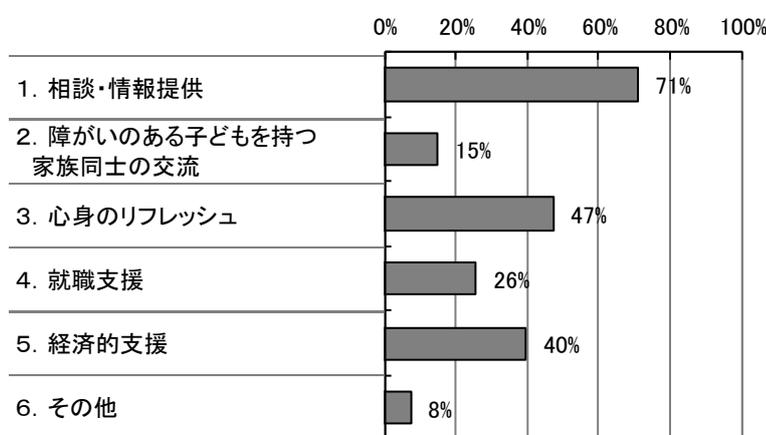


アンケートの回答者のうち、経管栄養、吸引、吸入、人工呼吸、導尿などの「医療的なケア」を受けている回答者は3%（3人）、「以前、受けたことがある」は6%（6人）となっています。

第5節 支援施策に関するニーズ

問 13 ご本人を主にサポートしている保護者の方が支援してほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

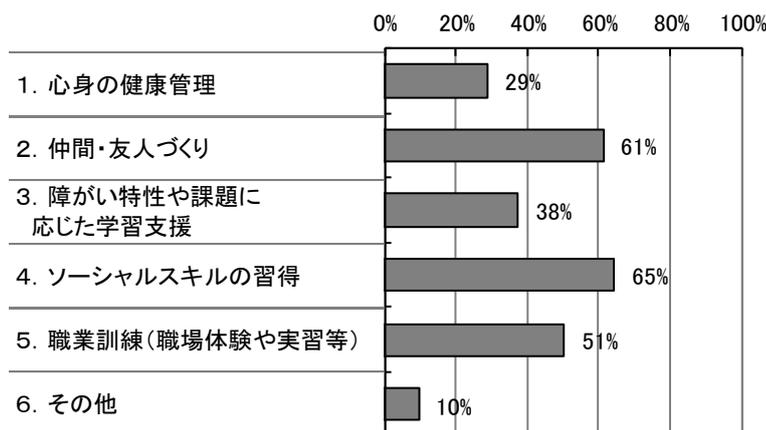
	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 相談・情報提供	66	71%	8	89%	24	73%	18	72%	15	60%	1	100%
2. 障がいのある子どもを持つ家族同士の交流	14	15%	4	44%	2	6%	4	16%	4	16%	0	0%
3. 心身のリフレッシュ	44	47%	5	56%	16	48%	7	28%	15	60%	1	100%
4. 就職支援	24	26%	3	33%	2	6%	7	28%	12	48%	0	0%
5. 経済的支援	37	40%	3	33%	15	45%	6	24%	12	48%	1	100%
6. その他	7	8%	0	0%	2	6%	1	4%	4	16%	0	0%
無回答	4	4%	0	0%	2	6%	1	4%	1	4%	0	0%
回答者数	93	100%	9	100%	33	100%	25	100%	25	100%	1	100%



保護者の方が支援してほしいことは、「相談・情報提供」が71%で最も多く、次いで「心身のリフレッシュ」が47%となっています。

問 14 ご本人が学校を卒業した後、円滑な日常生活や社会生活を送るために必要と思う支援は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

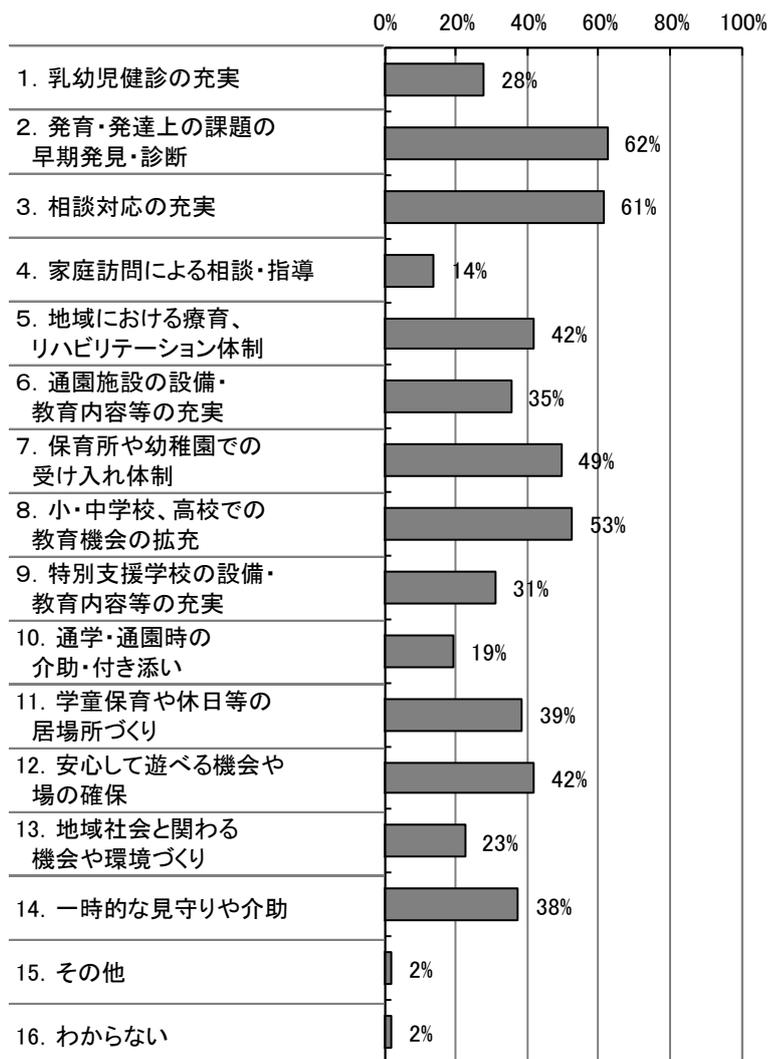
	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 心身の健康管理	27	29%	5	56%	8	24%	6	24%	8	32%	0	0%
2. 仲間・友人づくり	57	61%	7	78%	20	61%	14	56%	15	60%	1	100%
3. 障がい特性や課題に応じた学習支援	35	38%	4	44%	11	33%	12	48%	8	32%	0	0%
4. ソーシャルスキルの習得	60	65%	4	44%	21	64%	19	76%	15	60%	1	100%
5. 職業訓練(職場体験や実習等)	47	51%	4	44%	13	39%	14	56%	16	64%	0	0%
6. その他	9	10%	0	0%	2	6%	1	4%	6	24%	0	0%
無回答	4	4%	1	11%	1	3%	1	4%	1	4%	0	0%
回答者数	93	100%	9	100%	33	100%	25	100%	25	100%	1	100%



卒業後の支援に関するニーズは、「ソーシャルスキルの習得」が65%で最も多く、次いで「仲間・友人づくり」が61%となっています。

問 15 発育・発達上の支援が必要な子どものための施策で、特に重要と思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		2～3歳		4～5歳		6～8歳		9～12歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 乳幼児健診の充実	26	28%	3	33%	12	36%	8	32%	3	12%	0	0%
2. 発育・発達上の課題の早期発見・診断	58	62%	4	44%	21	64%	21	84%	11	44%	1	100%
3. 相談対応の充実	57	61%	7	78%	20	61%	14	56%	15	60%	1	100%
4. 家庭訪問による相談・指導	13	14%	2	22%	7	21%	1	4%	3	12%	0	0%
5. 地域における療育、リハビリテーション体制	39	42%	5	56%	10	30%	12	48%	12	48%	0	0%
6. 通園施設の設備・教育内容等の充実	33	35%	3	33%	16	48%	7	28%	7	28%	0	0%
7. 保育所や幼稚園での発達支援の充実	46	49%	5	56%	20	61%	13	52%	7	28%	1	100%
8. 支援が必要な子どもの小・中学校、高校での教育機会の拡充	49	53%	4	44%	14	42%	16	64%	14	56%	1	100%
9. 特別支援学校の設備・教育内容等の充実	29	31%	3	33%	10	30%	5	20%	10	40%	1	100%
10. 通学・通園時の介助・付き添い	18	19%	2	22%	8	24%	2	8%	6	24%	0	0%
11. 学童保育や休日等の居場所づくり	36	39%	4	44%	13	39%	9	36%	9	36%	1	100%
12. 安心して遊べる機会や場の確保	39	42%	6	67%	13	39%	6	24%	13	52%	1	100%
13. 地域社会と関わる機会や環境づくり	21	23%	4	44%	4	12%	9	36%	3	12%	1	100%
14. 保護者が介助・支援できないときの一時的な見守りや介助	35	38%	4	44%	13	39%	9	36%	9	36%	0	0%
15. その他	2	2%	0	0%	0	0%	1	4%	1	4%	0	0%
16. わからない	2	2%	0	0%	1	3%	0	0%	1	4%	0	0%
無回答	1	1%	1	11%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
回答者数	93	100%	9	100%	33	100%	25	100%	25	100%	1	100%



発育・発達上の支援が必要な子どものための施策で、特に重要と思うものは、「発育・発達上の課題の早期発見・診断」と「相談対応の充実」の2項目がともに6割強と最も多くなっていますが、多くの項目にニーズが分散しており、それぞれ強化していくことが求められます。

また、この設問は、障がい者用調査票の問 47 と同一の選択肢で中学生から 18 歳未満の障がい児にもたずねており、子ども用調査票での小学生以下の子どもの保護者の回答の方が、全体的に重要と思う回答の割合が高い傾向がみられます。

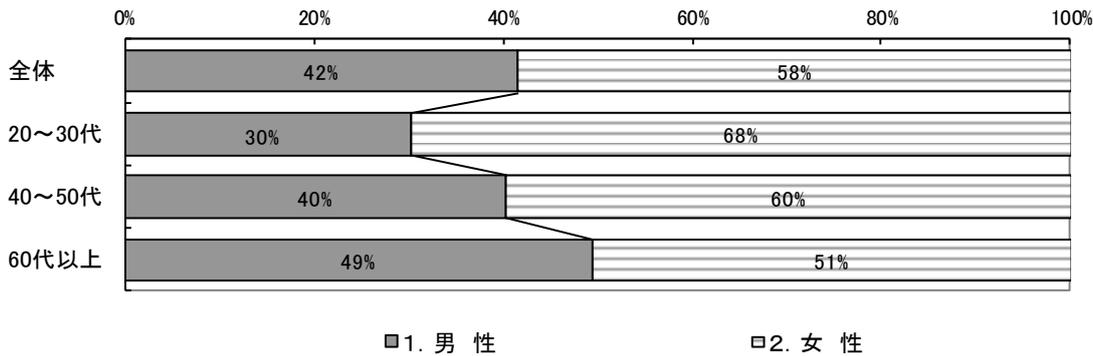
第3章 市民用調査

第1節 属性

問1 あなたの性別は。(どちらかに○)

問2 あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。(1つに○)

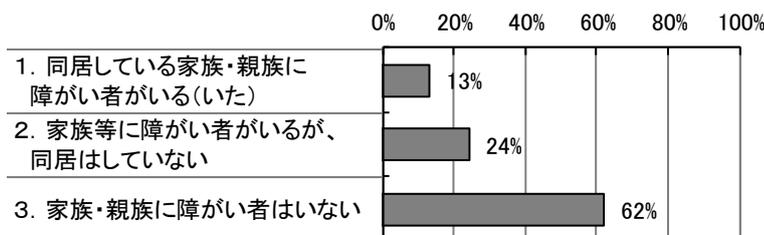
	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 男性	108	42%	17	30%	42	40%	49	49%
2. 女性	151	58%	39	68%	62	60%	50	51%
無回答	1	0%	1	2%	0	0%	0	0%
合計	260	100%	57	100%	104	100%	99	100%



市民用調査の回答者の性別・年齢は表のとおりです。女性の回答が多くなっています。

問3 家族などに障がいのある方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 同居している家族・親族に障がいのある方がいる(いた)	34	13%	2	4%	4	19%	12	12%
2. 家族・親族に障がいのある方がいるが、同居はしていない	63	24%	18	32%	32	27%	16	16%
3. 家族・親族に障がいのある方はいない	161	62%	37	65%	65	51%	69	70%
無回答	6	2%	0	0%	0	3%	3	3%
回答者数	260	100%	57	100%	104	100%	99	100%

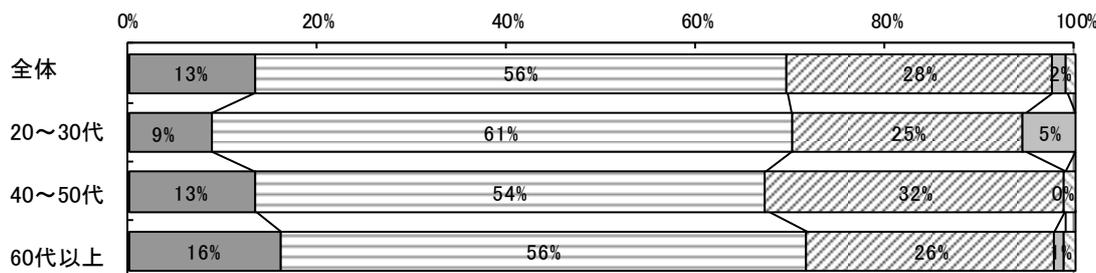


家族などの障がい者の有無は、「いない」が約6割です。

第2節 障がい者とのかかわりの現状や意識

問4 あなたは障がいのある方について関心がありますか。(1つに○)

	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 非常に興味がある	35	13%	5	9%	14	13%	16	16%
2. ある程度関心がある	146	56%	35	61%	56	54%	55	56%
3. あまり関心がない	73	28%	14	25%	33	32%	26	26%
4. まったく関心がない	4	2%	3	5%	0	0%	1	1%
無回答	2	1%	0	0%	1	1%	1	1%
合計	260	100%	57	100%	104	100%	99	100%

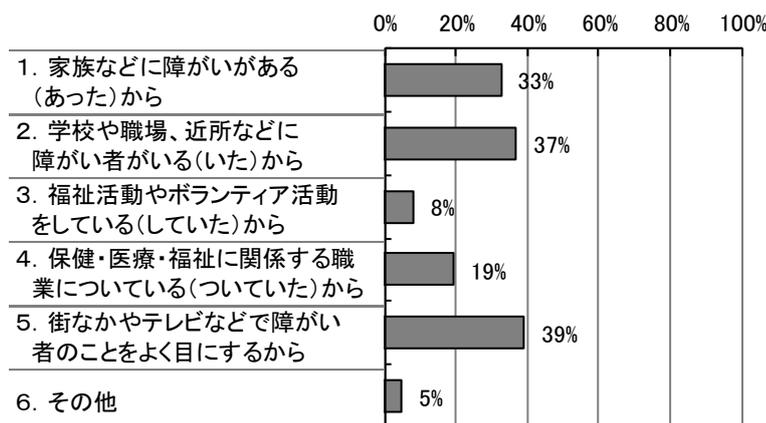


□1. 非常に興味がある □2. ある程度関心がある □3. あまり関心がない □4. まったく関心がない □無回答

障がい者についての関心は、「非常に興味がある」と「ある程度関心がある」をあわせると約7割です。

問5 問4で「1. 非常に興味がある」「2. ある程度関心がある」と答えた方にお聞きします。どのような理由から、関心をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

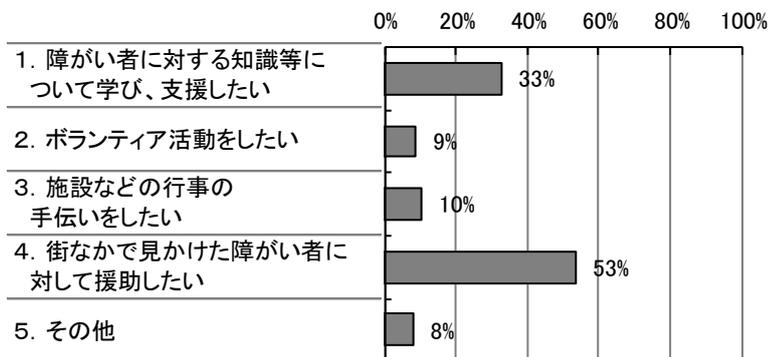
	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 家族などに障がいがある(あった)から	59	33%	10	25%	29	41%	20	28%
2. 学校や職場、近所などに障がいのある方がいる(いた)から	67	37%	16	40%	29	41%	22	31%
3. 福祉活動やボランティア活動をしている(していた)から	15	8%	2	5%	9	13%	4	6%
4. 保健・医療・福祉に関係する職業についている(ついていた)から	35	19%	10	25%	17	24%	8	11%
5. 街なかやテレビなどで障がいのある方のことをよく目にするから	71	39%	15	38%	24	34%	32	45%
6. その他	9	5%	2	5%	2	3%	5	7%
無回答	2	1%	0	0%	1	1%	1	1%
回答者数	181	100%	40	100%	70	100%	71	100%



関心がある理由は、「街なかやテレビなどで障がいのある方のことをよく目にするから」「学校や職場、近所などに障がいのある方がいる(いた)から」「家族などに障がいがある(あった)から」がそれぞれ3～4割となっています。

問6 あなたは、障がいのある方に対してどんな支援や活動をしてみたいですか。(あてはまるものすべてに○)

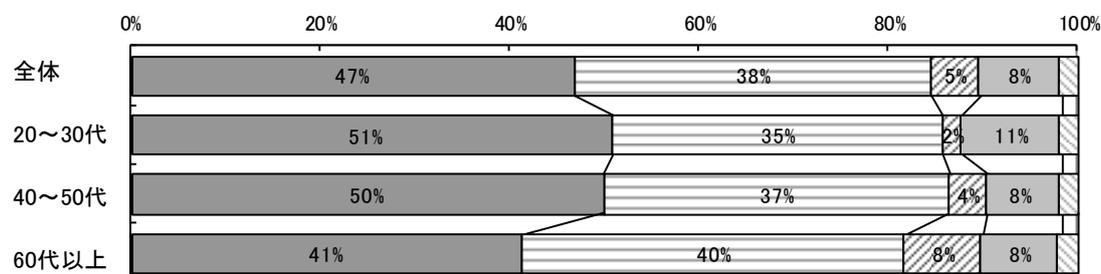
	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 障がいのある方に対する知識・援助の仕方について学び、支援したい	85	33%	24	42%	37	36%	24	24%
2. 障がいのある方に対してボランティア活動をしたい	23	9%	4	7%	10	10%	9	9%
3. 施設などの行事の手伝いをしたい	27	10%	4	7%	9	9%	14	14%
4. 街なかで見かけた障がいのある方に対して援助したい	139	53%	29	51%	51	49%	59	60%
5. その他	21	8%	5	9%	8	8%	8	8%
無回答	30	12%	4	7%	15	14%	11	11%
回答者数	260	100%	57	100%	104	100%	99	100%



行いたい支援や活動については、「街なかで見かけた障がいのある方に対して援助したい」が約5割と最も多く、次いで「障がいのある方に対する知識・援助の仕方について学び、支援したい」が約3割となっています。

問7 あなたは社会には障がいのある方に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。(1つに○)

	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. あると思う	122	47%	29	51%	52	50%	41	41%
3. ないと思う	98	38%	20	35%	38	37%	40	40%
2. 少しはあると思う	13	5%	1	2%	4	4%	8	8%
4. わからない	22	8%	6	11%	8	8%	8	8%
無回答	5	2%	1	2%	2	2%	2	2%
合計	260	100%	57	100%	104	100%	99	100%

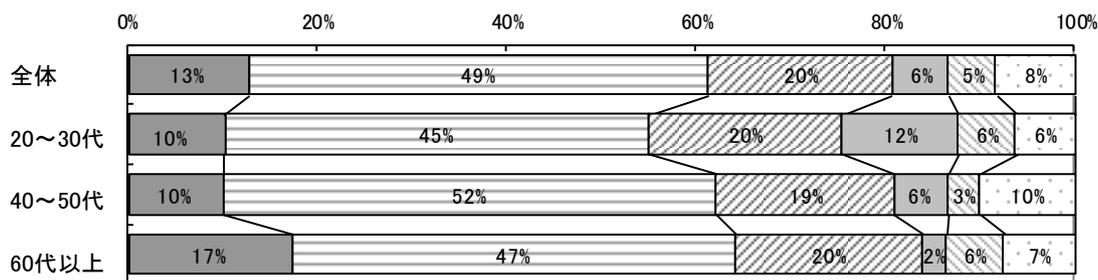


□ 1. あると思う □ 3. ないと思う □ 2. 少しはあると思う □ 4. わからない □ 無回答

障がい者への差別や偏見については、「あると思う」が約5割を占め、若い層ほどやや割合が高い傾向がみられます。

問8 問7で「1. あると思う」「2. 少しはあると思う」と答えた方にお聞きします。10年前と比べて障がいのある方に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。(1つに○)

	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. かなり改善されている	28	13%	5	10%	9	10%	14	17%
2. 少しずつ改善されている	107	49%	22	45%	47	52%	38	47%
3. あまり改善されていない	43	20%	10	20%	17	19%	16	20%
4. 改善されていない	13	6%	6	12%	5	6%	2	2%
5. どちらともいえない	11	5%	3	6%	3	3%	5	6%
6. わからない	18	8%	3	6%	9	10%	6	7%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	220	100%	49	100%	90	100%	81	100%

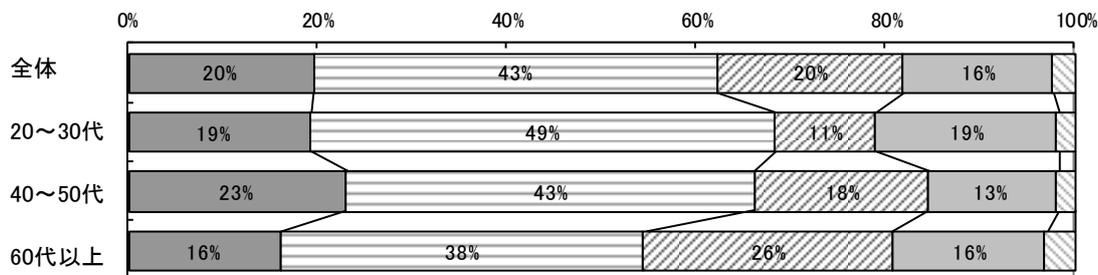


□1. かなり改善 □2. 少しずつ改善 □3. あまり改善 □4. 改善され □5. どちらとも □6. わからない
 されていない されていない いえない

差別や偏見の改善は、「かなり改善されている」と「少しずつ改善されている」をあわせると約6割を占め、改善されていると考える回答者が多いことがわかります。

問9 あなたは普段の生活の中で障がいのある方への対応や理解が十分にあると感じますか。(1つに○)

	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 全然足りないと思う	51	20%	11	19%	24	23%	16	16%
2. 少し足りないと思う	111	43%	28	49%	45	43%	38	38%
3. あると思う	51	20%	6	11%	19	18%	26	26%
4. わからない	41	16%	11	19%	14	13%	16	16%
無回答	6	2%	1	2%	2	2%	3	3%
合計	260	100%	57	100%	104	100%	99	100%

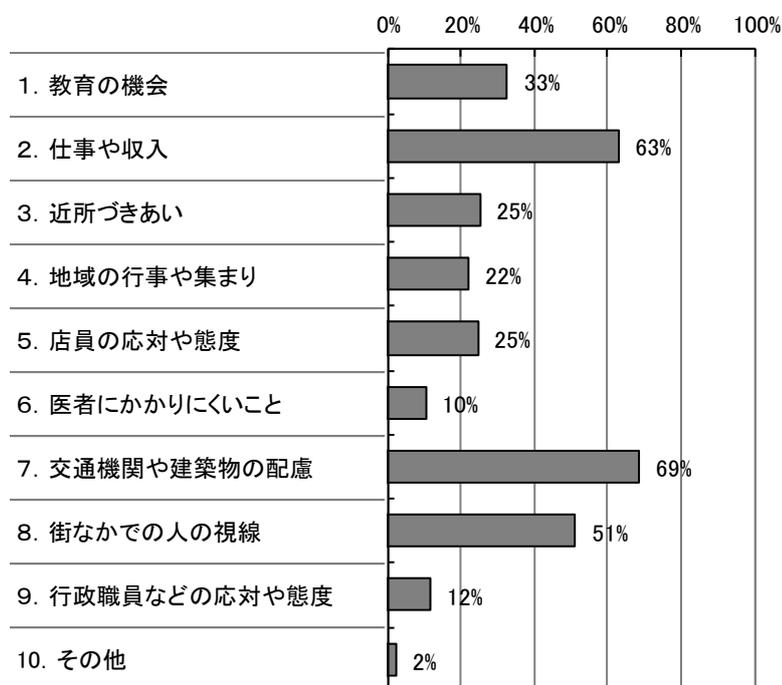


□1. 全然足りないと思う □2. 少し足りないと思う □3. あると思う □4. わからない □無回答

普段の生活の中での配慮は、「あると思う」はわずか2割で、多くの市民が「足りない」と感じています。

問 10 問9で「1. 全然足りないと思う」「2. 少し足りないと思う」と答えた方にお聞きします。それはどんな場合ですか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 教育の機会	53	33%	13	33%	25	36%	15	28%
2. 仕事や収入	102	63%	25	64%	45	65%	32	59%
3. 近所づきあい	41	25%	11	28%	16	23%	14	26%
4. 地域の行事や集まり	36	22%	9	23%	17	25%	10	19%
5. 店員の対応や態度	40	25%	11	28%	19	28%	10	19%
6. 医者にかかりにくいこと	17	10%	3	8%	9	13%	5	9%
7. 交通機関や建築物の配慮	111	69%	29	74%	52	75%	30	56%
8. 街なかでの人の視線	83	51%	23	59%	37	54%	23	43%
9. 行政職員などの対応や態度	19	12%	7	18%	7	10%	5	9%
10. その他	4	2%	1	3%	2	3%	1	2%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
回答者数	162	100%	39	100%	69	100%	54	100%

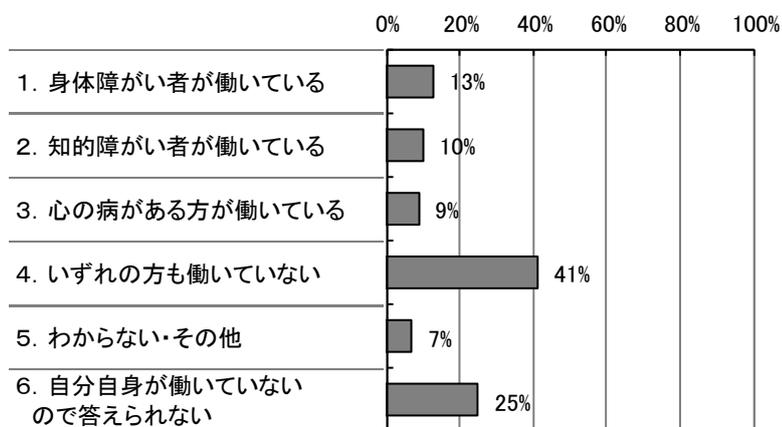


普段の生活の中での配慮が足りないと感じる場面は、「交通機関や建築物の配慮」と「仕事や収入」がともに6～7割で最も多く、次いで「街なかでの人の視線」が約5割となっています。

第3節 障がい者の就業についての意識

問 11 あなたの現在の職場では、障がいのある方が働いていますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 身体に障がいのある方が働いている	33	13%	7	12%	14	13%	12	12%
2. 知的障がいのある方が働いている	26	10%	6	11%	10	10%	10	10%
3. 心の病がある方が働いている	23	9%	8	14%	13	13%	2	2%
4. いずれの方も働いていない	107	41%	27	47%	50	48%	30	30%
5. わからない・その他	18	7%	4	7%	5	5%	9	9%
6. 自分自身が働いていないので答えられない	65	25%	9	16%	15	14%	41	41%
無回答	7	3%	1	2%	5	5%	1	1%
回答者数	260	100%	57	100%	104	100%	99	100%

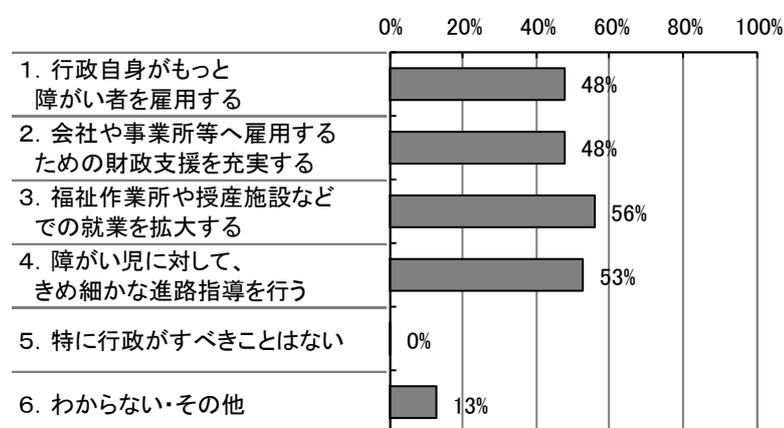


現在の職場で、「身体障がい者が働いている」という回答は13%、「知的障がい者が働いている」は10%、「心の病がある方が働いている」は9%となっています。

問12 障がいのある方がもっと働けるようにするためには、どうすればよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 行政自身がかもっと障がいのある方を雇用する	124	48%	26	46%	50	48%	48	48%
2. 会社や事業所等へ雇用するための財政支援を充実する	124	48%	25	44%	49	47%	50	51%
3. 福祉作業所や授産施設などでの就業を拡大する	145	56%	33	58%	54	52%	58	59%
4. 就学中の障がいのある児童・生徒に対して、きめ細かな進路指導を行う	137	53%	28	49%	51	49%	58	59%
5. 特に行政がすべきことはない	1	0%	0	0%	0	0%	1	1%
6. わからない・その他	33	13%	9	16%	15	14%	9	9%
無回答	4	2%	1	2%	3	3%	0	0%
回答者数	260	100%	57	100%	104	100%	99	100%

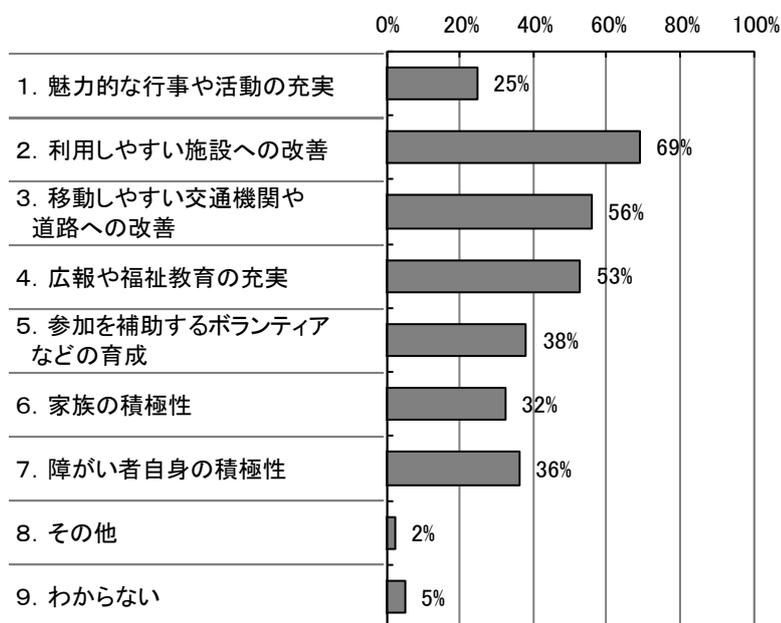


障がい者の就労支援については、「福祉作業所や授産施設などでの就業を拡大する」「就学中の障がいのある児童・生徒に対して、きめ細かな進路指導を行う」「行政自身がかもっと障がいのある方を雇用する」「会社や事業所等へ雇用するための財政支援を充実する」の各項目ともそれぞれ5～6割が支持しています。

第4節 福祉のまちづくりについての意識

問13 障がいのある方が地域や社会に積極的に参加していくためには、どのようなことが大切だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

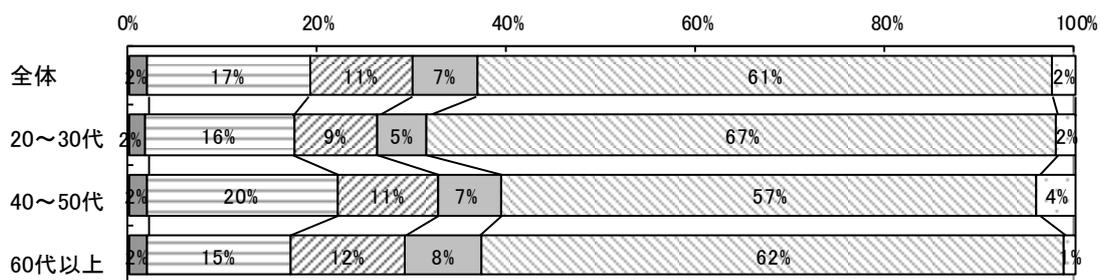
	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 魅力的な行事や活動の充実	64	25%	16	28%	29	28%	19	19%
2. 利用しやすい施設への改善	179	69%	43	75%	61	59%	75	76%
3. 移動しやすい交通機関や道路への改善	145	56%	33	58%	59	57%	53	54%
4. 地域の人たちが障がいのある方を受け入れるよう、広報や福祉教育の充実	137	53%	31	54%	57	55%	49	49%
5. 参加を補助するボランティアなどの育成	99	38%	23	40%	36	35%	40	40%
6. 家族の積極性	84	32%	21	37%	34	33%	29	29%
7. 障がいのある方自身の積極性	94	36%	23	40%	32	31%	39	39%
8. その他	6	2%	2	4%	3	3%	1	1%
9. わからない	13	5%	1	2%	7	7%	5	5%
無回答	2	1%	0	0%	2	2%	0	0%
回答者数	260	100%	57	100%	104	100%	99	100%



障がい者の社会参加促進施策については、「利用しやすい施設への改善」が約7割で最も多く、次いで「移動しやすい交通機関や道路への改善」、「地域の人たちが障がいのある方を受け入れるよう、広報や福祉教育の充実」などが多くなっています。

問 14 あなたは、鳴門市における教育や福祉など、障がいのある方への施策に満足していますか。 (1つに○)

	総計		20～30代		40～50代		60代以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 満足している	5	2%	1	2%	2	2%	2	2%
2. ある程度満足している	45	17%	9	16%	21	20%	15	15%
3. やや不満である	28	11%	5	9%	11	11%	12	12%
4. 不満である	18	7%	3	5%	7	7%	8	8%
5. わからない	158	61%	38	67%	59	57%	61	62%
無回答	6	2%	1	2%	4	4%	1	1%
合計	260	100%	57	100%	104	100%	99	100%



□1. 満足 □2. ある程度満足 □3. やや不満 □4. 不満 □5. わからない □無回答

市の障がい者施策の満足度は、多くの方が「わからない」と回答していますが、「満足している」と「ある程度満足している」の合計と「やや不満である」と「不満である」の合計を比較すると、割合は拮抗しています。

第4章 個別の支援が求められる方の現状とニーズ

以下では、障がい者用調査、子ども用調査において、身体障がい、知的障がいといった区分以外に、「医療的ケアが必要な障がい児・者」など、個別の支援が求められる方を抽出して現状やニーズに関して集計します。

第1節 医療的ケアが必要な障がい児・者

子ども用 問9 ご本人の発育・発達の相談に関すること、専門医療機関・訓練施設に関することで、現在、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		問12 医療的ケアの有無					
			1. 受けている		2. 以前、受けたことがある		3. 受けたことはない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 現在、困っていることはない	38	41%	2	67%	1	17%	35	42%
2. 家族の理解が不十分	9	10%	0	0%	0	0%	9	11%
3. どこに相談したらいいかわからない	12	13%	1	33%	2	33%	9	11%
4. 保育所・幼稚園・学校等の先生が、本人の言動について理解が不十分	12	13%	0	0%	2	33%	10	12%
5. 保育所・幼稚園・学校等で、同級生の保護者の理解がない	12	13%	0	0%	1	17%	11	13%
6. 進学・進級時に、本人の発育・発達上の課題が申し伝えられていない	10	11%	1	33%	1	17%	8	10%
7. 専門医療機関や訓練の予約がすぐにとれない	13	14%	1	33%	1	17%	11	13%
8. 専門医療機関や訓練施設が遠くて利用しにくい	22	24%	1	33%	3	50%	18	21%
9. その他	12	13%	0	0%	0	0%	12	14%
無回答	6	6%	0	0%	0	0%	6	7%
回答者数	93	100%	3	100%	6	100%	84	100%

医療的ケアを「(現在)受けている」または「以前、受けたことがある」9人の子ども(以下、「医療的ケア児」という。)について、「専門医療機関・訓練施設に関することで、現在、困っていること」をたずねたところ、「専門医療機関や訓練施設が遠くて利用しにくい」が4人から、「どこに相談したらいいかわからない」が3人からあがりました。

子ども用 問 10 ご本人は、継続的な通所サービスとして、児童発達支援または放課後等デイサービスを利用されたことはありますか。(○は1つだけ)

	総計		問 12 医療的ケアの有無					
			1. 受けている		2. 以前、受けたことがある		3. 受けたことはない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	87	94%	2	67%	6	100%	79	94%
2. いいえ	6	6%	1	33%	0	0%	5	6%
3. 知らない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	93	100%	3	100%	6	100%	84	100%

医療的ケア児の児童発達支援または放課後等デイサービスの利用状況は表のとおりです。1人を除いて8人が利用しています。

子ども用 問 11 利用した感想や、ご要望があれば、教えてください。(あてはまるものすべてに○)

	総計		問 12 医療的ケアの有無					
			1. 受けている		2. 以前、受けたことがある		3. 受けたことはない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 特にない	28	32%	0	0%	2	33%	26	33%
2. もっと回数を多くしてほしい	15	17%	1	50%	1	17%	13	16%
3. 内容が適当でない(難しいまたは簡単すぎる)	7	8%	0	0%	1	17%	6	8%
4. 参加人数が多すぎる	6	7%	0	0%	1	17%	5	6%
5. 修了後のフォローを充実してほしい	23	26%	0	0%	2	33%	21	27%
6. 支援内容等について、通所・通学中の保育施設や学校等の教育機関と共有してほしい	31	36%	1	50%	4	67%	26	33%
7. その他	19	22%	0	0%	0	0%	19	24%
無回答	2	2%	0	0%	0	0%	2	3%
回答者数	87	100%	2	100%	6	100%	79	100%

医療的ケア児の児童発達支援または放課後等デイサービスの利用した感想や要望は、「支援内容等について、通所・通学中の保育施設や学校等の教育機関と共有してほしい」が5人と最も多くなっています。

子ども用 問 13 ご本人を主にサポートしている保護者の方が支援してほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		問 12 医療的ケアの有無					
			1. 受けている		2. 以前、受けたことがある		3. 受けたことはない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 相談・情報提供	66	71%	2	67%	5	83%	59	70%
2. 障がいのある子どもを持つ家族同士の交流	14	15%	0	0%	1	17%	13	15%
3. 心身のリフレッシュ	44	47%	1	33%	3	50%	40	48%
4. 就職支援	24	26%	0	0%	1	17%	23	27%
5. 経済的支援	37	40%	0	0%	4	67%	33	39%
6. その他	7	8%	0	0%	0	0%	7	8%
無回答	4	4%	1	33%	0	0%	3	4%
回答者数	93	100%	3	100%	6	100%	84	100%

医療的ケア児の保護者の方が支援してほしいことは、「相談・情報提供」が7人と最も多く、次いで「心身のリフレッシュ」と「経済的支援」がともに4人ずつとなっています。

障がい者用 問 20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

	総計 (医療的ケア児・者のみ)		18歳未満		18歳以上		年齢無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 仕事をしている (収入あり)	20	19%	0	0%	20	19%	0	0%
2. 仕事をしている (収入なし)	6	6%	0	0%	6	6%	0	0%
3. 自宅で過ごしている (専業主婦・主夫を含む)	58	54%	0	0%	58	55%	0	0%
4. 福祉施設等に通っている	3	3%	0	0%	3	3%	0	0%
5. 病院等のデイケアやリハビリテーションに通っている	2	2%	0	0%	2	2%	0	0%
6. 入所している施設や病院等で過ごしている	8	7%	0	0%	8	8%	0	0%
7. 大学、専門学校などに通っている	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
8. 特別支援学校 (小中高等部) に通っている	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
9. 一般の高校、小中学校に通っている	1	1%	1	100%	0	0%	0	0%
無回答	4	4%	0	0%	3	3%	1	100%
合計	107	100%	1	100%	105	100%	1	100%

障がい者用調査において、医療的ケアに関する設問 (問 16) で医療的ケアを現在受けていると回答した 107 人 (以下、「医療的ケア児・者」という。) について、日中の主な過ごし方をたずねたところ、「自宅で過ごしている」が 54% で最も多く、次いで「仕事をしている (収入あり)」が 19% です。18 歳未満の「医療的ケア児」は 1 人で、「一般の高校、小中学校に通っている」との回答です。

障がい者用 問 37 あなたは、今、悩んでいることや、わからないで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計 (医療的ケア児・者のみ)		18歳未満		18歳以上		年齢無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 自分の障がいや病気に関する こと	33	31%	0	0%	33	31%	0	0%
2. 福祉制度の内容・利用方法	13	12%	1	100%	12	11%	0	0%
3. 家族からの自立 (独立)	4	4%	0	0%	4	4%	0	0%
4. 生活費などのやりくり (金銭 管理)	27	25%	0	0%	27	26%	0	0%
5. 進学や訓練、就職など進路の こと	2	2%	1	100%	1	1%	0	0%
6. 職場や仕事のこと	5	5%	0	0%	5	5%	0	0%
7. 趣味やスポーツなど余暇の過 ごし方	2	2%	0	0%	2	2%	0	0%
8. 災害など緊急時の対応	28	26%	1	100%	27	26%	0	0%
9. 家族がいなくなったときの生 活	31	29%	1	100%	30	29%	0	0%
10. 成年後見制度に関すること	4	4%	0	0%	4	4%	0	0%
11. その他	5	5%	0	0%	5	5%	0	0%
12. 特にない	27	25%	0	0%	26	25%	1	100%
無回答	12	11%	0	0%	12	11%	0	0%
回答者数	107	100%	1	100%	105	100%	1	100%

医療的ケア児・者が悩んでいることや困っていることについては、「自分の障がいや病気に関すること」と「家族がいなくなったときの生活」が3割前後で最も多くなっています。18歳未満の「医療的ケア児」では、「福祉制度の内容・利用方法」「進学や訓練、就職など進路のこと」「災害など緊急時の対応」「家族がいなくなったときの生活」の4項目があがっています。

第2節 入所・入院中の精神障がい者

障がい者用 問2 あなたの年齢をお答えください。

	総計		入所・入院中の精神障がい者	
	人数	割合	人数	割合
10代	34	3%	0	0%
20代	69	7%	0	0%
30代	93	10%	2	13%
40代	156	16%	3	20%
50代	182	19%	6	40%
60代以上	425	44%	4	27%
無回答	16	2%	0	0%
合計	975	100%	15	100%

障がい者用 問17 あなたは現在どこで暮らしていますか。

(○は1つだけ)

	総計		入所・入院中の精神障がい者	
	人数	割合	人数	割合
1. 自宅	752	77%	0	0%
2. グループホーム	17	2%	0	0%
3. 入所中(障害者支援施設、高齢者介護施設など)	89	9%	7	47%
4. 入院中	52	5%	8	53%
5. その他	39	4%	0	0%
無回答	26	3%	0	0%
合計	975	100%	15	100%

障がい者用 問18 あなたは将来、どのように地域で生活したいと思いますか。(○は1つだけ)

	総計		入所・入院中の精神障がい者	
	人数	割合	人数	割合
1. 今のまま生活したい	79	56%	7	47%
2. グループホームなどを利用したい	6	4%	2	13%
3. 家族と一緒に生活したい	30	21%	6	40%
4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい	9	6%	0	0%
5. その他	7	5%	0	0%
無回答	10	7%	0	0%
合計	141	100%	15	100%

精神障がい者の入所・入院からの在宅移行を進めることが政策課題です。

このため、障がい者用調査の問17で入所・入院中と回答した65歳未満の精神障害者保健福祉手帳所持者15人を抽出して生活課題やニーズを把握します。

問2によると、年齢は30代が2人、40代が3人、50代が6人、60～64歳が4人です。

問18によると、将来、暮らしたい場所は、「今のまま生活したい」が7人で、「グループホームなどを利用したい」は2人、「家族と一緒に生活したい」は6人となっています。

障がい者用 問 19 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

	総計		入所・入院中の精神障がい者	
	人数	割合	人数	割合
1. 障がい者に適した住居の確保	49	35%	7	47%
2. 経済的な負担の軽減	54	38%	9	60%
3. 相談対応等の充実	32	23%	7	47%
4. 地域住民等の理解	40	28%	9	60%
5. 必要なサービスが適切に利用できること	54	38%	10	67%
6. 生活訓練等の充実	34	24%	9	60%
7. 在宅で医療的ケアを適切に受けられること	30	21%	6	40%
8. その他	9	6%	0	0%
9. わからない	39	28%	2	13%
無回答	10	7%	0	0%
回答者数	141	100%	15	100%

問 19 によると、地域で生活するための支援は、「必要なサービスが適切に利用できること」「経済的な負担の軽減」「地域住民等の理解」「生活訓練等の充実」の4項目が6～7割で多くなっています。他の障がい区分の入所・入院者（高齢者介護施設の入所者も含む）と比べ、すべての項目でニーズが高くなっています。

第3節 難病（特定疾患）認定者

障がい者用 問2 あなたの年齢をお答えください。

	総計		難病認定者	
	人数	割合	人数	割合
10代	34	3%	3	3%
20代	69	7%	5	6%
30代	93	10%	3	3%
40代	156	16%	11	13%
50代	182	19%	17	20%
60代以上	425	44%	46	53%
無回答	16	2%	1	1%
合計	975	100%	86	100%

難病（特定疾患）認定者は、固有の生活課題やニーズがあると考えられるため、障がい者用調査の問13で難病（特定疾患）認定を受けていると回答した86人を抽出して、各設問の傾向を把握します。

問2によると、年齢は60代以上が半数以上を占め、40代から増加傾向がみられます。10～30代も11人から回答がありました。

障がい者用 問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。

① 食事・トイレ・入浴などの生活動作

	総計		難病認定者	
	人数	割合	人数	割合
1. 一人でできる	681	70%	60	70%
2. 一部介助が必要	189	19%	18	21%
3. 全部介助が必要	60	6%	3	3%
無回答	45	5%	5	6%
合計	975	100%	86	100%

② 外出

	総計		難病認定者	
	人数	割合	人数	割合
1. 一人でできる	574	59%	49	57%
2. 一部介助が必要	203	21%	17	20%
3. 全部介助が必要	141	14%	13	15%
無回答	57	6%	7	8%
合計	975	100%	86	100%

問6によると、「食事・トイレ・入浴などの生活動作」や「外出」で介助が必要な方の割合は、障がい者用調査の回答者全体での割合とほぼ同程度でした。

障がい者用 問 20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

	総計		難病認定者	
	人数	割合	人数	割合
1. 仕事をしている (収入あり)	277	28%	20	23%
2. 仕事をしている (収入なし)	32	3%	3	3%
3. 自宅で過ごしている (専業主婦・主夫を含む)	342	35%	41	48%
4. 福祉施設等に通っている	51	5%	3	3%
5. 病院等のデイケアやリハビリテーションに通っている	46	5%	5	6%
6. 入所している施設や病院等で過ごしている	114	12%	2	2%
7. 大学、専門学校などに通っている	4	0%	0	0%
8. 特別支援学校 (小中高等部) に通っている	15	2%	2	2%
9. 一般の高校、小中学校に通っている	10	1%	1	1%
無回答	46	5%	4	5%
合計	975	100%	86	100%

問 20 によると、日中の主な過ごし方は、「自宅で過ごしている」が 48% で最も多く、次いで「仕事をしている (収入あり)」が 23% などとなっています。

障がい者用 問 37 あなたは、今、悩んでいることや、わからないで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		難病認定者	
	人数	割合	人数	割合
1. 自分の障がいや病気に関すること	294	30%	36	42%
2. 福祉制度の内容・利用方法	183	19%	16	19%
3. 家族からの自立 (独立)	116	12%	6	7%
4. 生活費などのやりくり (金銭管理)	235	24%	19	22%
5. 進学や訓練、就職など進路のこと	61	6%	2	2%
6. 職場や仕事のこと	116	12%	11	13%
7. 趣味やスポーツなど余暇の過ごし方	93	10%	7	8%
8. 災害など緊急時の対応	275	28%	24	28%
9. 家族がいなくなったときの生活	379	39%	21	24%
10. 成年後見制度に関すること	85	9%	5	6%
11. その他	37	4%	3	3%
12. 特にない	233	24%	17	20%
無回答	70	7%	6	7%
回答者数	975	100%	86	100%

問 37 によると、悩んでいることや困っていることは、「自分の障がいや病気に関すること」が 42% で最も多く、次いで「災害など緊急時の対応」が 28% などとなっています。

障がい者用 問 43 学校のことで困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

	総計		難病認定者	
	人数	割合	人数	割合
1. 移動手段の確保が難しい	4	17%	0	0%
2. 介助者が得にくい	0	0%	0	0%
3. コミュニケーションがとりにくい	8	35%	0	0%
4. 建物や設備が障がいに配慮されていない	0	0%	0	0%
5. 障がいの状況や特性に応じた教育・指導・相談などをしてもらえない	5	22%	0	0%
6. 先生の障がいに関する知識や経験、理解が十分でない	9	39%	0	0%
7. 医療的ケアが十分に受けられない	2	9%	0	0%
8. その他	3	13%	0	0%
9. 特に困っていることはない	7	30%	2	100%
無回答	2	9%	0	0%
回答者数	23	100%	2	100%

問 43 によると、難病（特定疾病）認定者の 18 歳未満の回答者 2 人に「学校のことで困っていること」をたずねたところ、2 人とも、「特に困っていることはない」と回答しています。

障がい者用 問 45 中学・高校などの卒業後の進路はどのようにお考えですか。(○は1つだけ)

	総計		難病認定者	
	人数	割合	人数	割合
1. さらに上の学校などで勉強を続けたい	5	22%	1	50%
2. 職業などの訓練校に行きたい	1	4%	0	0%
3. 福祉施設や作業所などに行きたい	6	26%	0	0%
4. 一般の会社やお店などで働きたい	4	17%	0	0%
5. 家の仕事を手伝いたい	0	0%	0	0%
6. その他	2	9%	0	0%
7. わからない	3	13%	1	50%
無回答	2	9%	0	0%
合計	23	100%	2	100%

問 45 によると、難病（特定疾病）認定者の 18 歳未満の回答者 2 人の卒業後の進路の希望は、「さらに上の学校などで勉強を続けたい」が 1 人、「わからない」が 1 人となっています。

第3編 自由意見

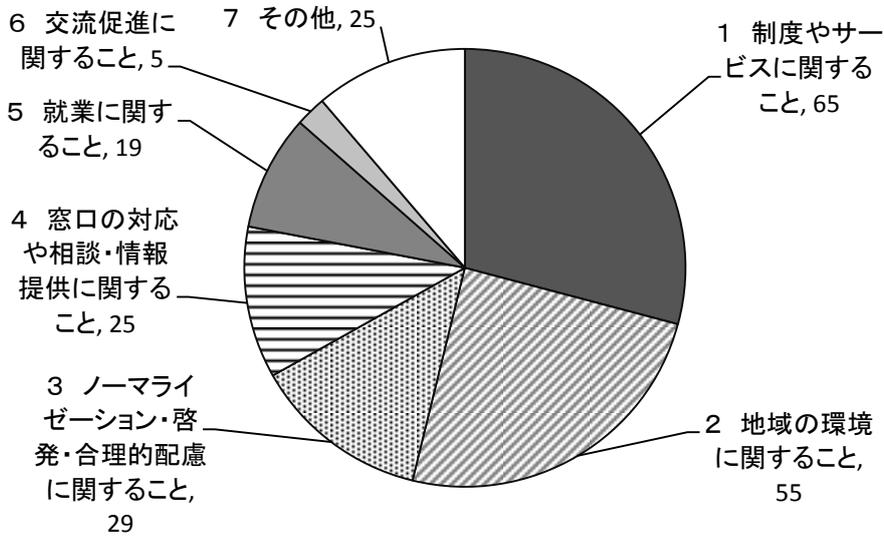
自由意見を意見の主旨に基づき分類した結果は、以下のとおりです。

分類項目ごとの回答件数と主な意見

区分	分類項目	件数	主な意見
障がい者用調査	1 制度やサービスに関すること	65	<ul style="list-style-type: none"> ・親亡き後に自立して生活ができるグループホーム等を多く作ってほしい。 ・経済的支援を充実してほしい。 ・鳴門に特別支援学校を作ってほしい。 ・障害福祉サービスを充実してほしい。 ・移動に関する支援を充実してほしい。
	2 地域の環境に関すること	55	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーの一層の推進を。 ・災害時のことが心配。
	3 ノーマライゼーション・啓発・合理的配慮に関すること	29	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを受けてつらい思いをした。 ・もっと啓発を行う必要がある。
	4 窓口の対応や相談・情報提供に関すること	25	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な相談を一層充実してほしい。
	5 就業に関すること	19	<ul style="list-style-type: none"> ・就業機会の拡大を図ってほしい。 ・福祉的就労の賃金アップを図ってほしい。
	6 交流促進に関すること	5	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の機会を増やしてほしい。
	7 その他	25	<ul style="list-style-type: none"> ・知識がないのでよくわからない。
	件数合計	223	
子ども用調査	1 支援制度や施策に関すること	18	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの施設、機関でのきめ細かな対応を。
	2 相談や情報提供に関すること	11	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な相談を一層充実してほしい。
	3 事務手続きやサービス提供時の連携等に関すること	6	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援等と保育所、幼稚園、小・中学校との一層の連携を。
	4 教育に関すること	6	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での合理的配慮の一層の推進を。
	5 不安などの気持ちを述べた意見	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの将来が不安。
	件数合計	45	
市民用調査	1 啓発・交流に関すること	22	<ul style="list-style-type: none"> ・一層の啓発・交流を進めてほしい。
	2 制度やサービスに関すること	12	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援の充実やニーズに応じたサービスの充実を。
	3 まちづくりに関すること	8	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に配慮したまちづくりの一層の推進を。
	4 就業に関すること	7	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の就業に関する支援の強化を。
	5 その他	7	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の意見をもっと聞く必要がある。
	件数合計	56	

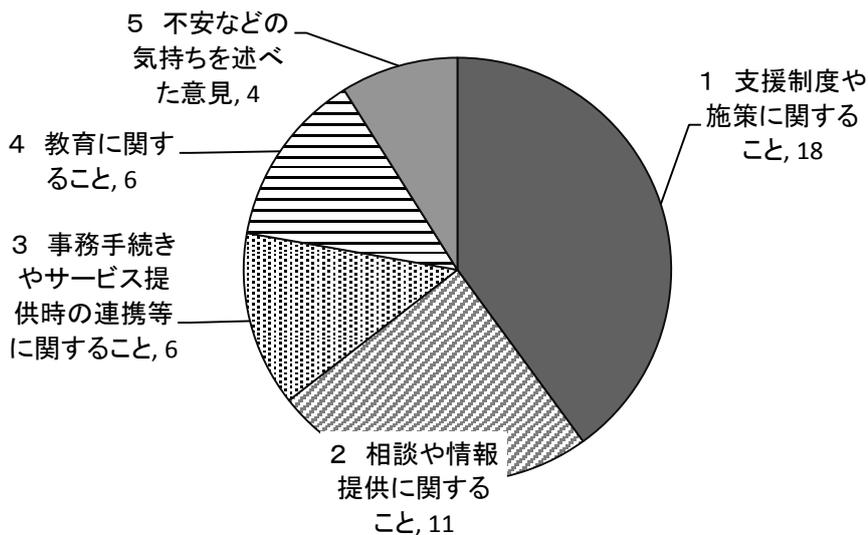
自由意見の件数

〔障がい者用調査〕 223 件



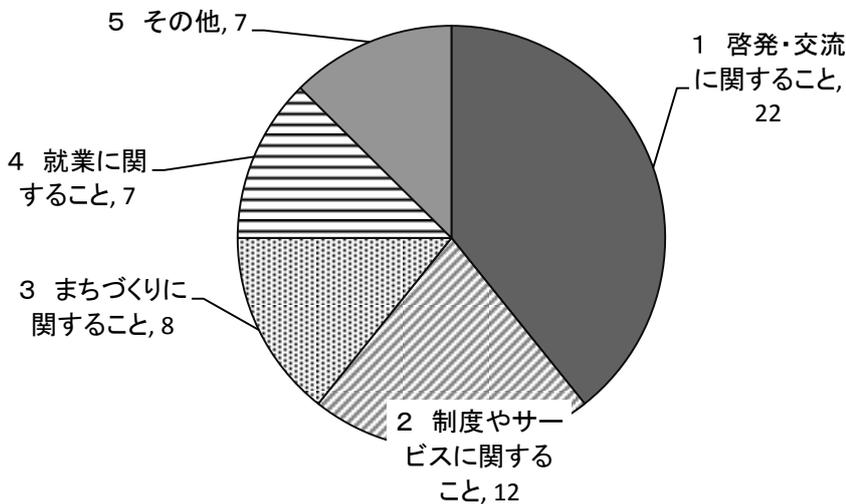
障がい者用調査では、「制度やサービスに関すること」や「地域の環境に関すること」に多くの意見が寄せられました。

〔子ども用調査〕 45 件



子ども用調査では、「支援制度や施策に関すること」や「相談や情報提供に関すること」に多くの意見が寄せられました。

〔市民用調査〕 56 件



市民用調査では、「啓発・交流に関すること」や「制度やサービスに関すること」に多くの意見が寄せられました。

第4編 調査票

第1章 障がい者用調査

福祉に関するアンケート調査 ご協力のお願い

日頃より鳴門市の福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
鳴門市では、平成30年度を初年度とする新しい障害者計画・障害福祉計画を策定するためアンケート調査により皆様のご意見やご要望をお聞きすることになりました。
この調査は、平成28年10月現在、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、精神自立支援医療受給者証をお持ちの方の中から、2,070人を選ばせていただきました。

無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使うことは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成28年12月

鳴門市長 泉 理彦

＜ご記入にあたってのお願い＞

- 宛名のご本人が直接ご回答いただくことが難しい場合には、家族や介護者の方などが、ご本人の意向を尊重して記入してください。
- 各質問には、平成28年12月1日現在の状況でお答えください。
- 質問への回答方法は、それぞれ質問文に記載していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- 記入が終わりましたら、12月26日(月)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご返送ください。お名前を記入していただく必要はありません。
- このアンケート調査へのご質問などは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

鳴門市役所 社会福祉課

電話：088-684-1145 ファックス：088-684-1337

電子メール：shakaifukushi@city.naruto.lg.jp

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 本人 (この調査票が郵送された宛名の方) | 3. 家族以外の介助者 |
| 2. 本人の家族 | |

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」と呼びますので、ご本人 (この調査票の対象者：障がいのある方) の状況などについて、お答えください。

あなた (宛名の方) の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢をお答えください。(平成28年12月1日現在)

満 歳

問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 あなたがお住まいの地区 (町) はどこですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 撫養町 | 3. 鳴門町 | 5. 北灘町 | 7. 大麻町 |
| 2. 里浦町 | 4. 瀬戸町 | 6. 大津町 | 8. 市外 |

問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 父母・祖父母・兄弟 | 4. その他 () |
| 2. 配偶者 (夫または妻) | 5. 一人で暮らしている |
| 3. 子ども | |

※グループホーム、福祉施設等を利用されている方は「5.」としてください。

問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から④のそれぞれにお答えください。(①から④それぞれ番号に○は1つだけ)

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事・トイレ・入浴 などの生活動作	1	2	3
② 外出	1	2	3
③ お金の管理	1	2	3
④ 薬の管理	1	2	3

すべて「1」の方は問9へ

【問6で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方にお聞きします。】

問7 あなたを介助してくれる方は主にどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 父母・祖父母・兄弟 | 4. ホームヘルパーや施設の職員 |
| 2. 配偶者 (夫または妻) | 5. その他の人 (ボランティア等) |
| 3. 子ども | 問9へ |

【問7で1. ～3. と答えた方にお聞きします。】

問8 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別などをお答えください。

①年齢（平成28年12月1日現在）

まん 満		さい 歳
---------	--	---------

②性別（○は1つだけ）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

③介助をしている方が、困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 買い物など、外出ができない	6. 経済的に負担がかかる
2. 仕事を続けられない	7. 自分の病気などに、助けがない
3. 腰痛になるなど、体が疲れる	8. 相談にのってくれる人がいない
4. 精神的に疲れる	9. 将来、自分が介助できなくなる
5. 自分の時間が持てない	10. その他（ ）

あなたの障がいなどの状況について

問9 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。（○は1つだけ）

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

問10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主な障がいをお答えください。（○は1つだけ）

1. 視覚障がい	4. 肢体不自由
2. 聴覚・平衡機能障がい	5. 内部障がい（1. ～4. 以外）
3. 音声・言語・そしゃく機能障がい	

問11 あなたは療育手帳をお持ちですか。（○は1つだけ）

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

問12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。（○は1つだけ）

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

問13 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

※難病（特定疾患）とは、関節リウマチなどの治療法が確立していない特殊な疾病をいいます。

1. 受けている	2. 受けていない
----------	-----------

問14 あなたは、専門相談機関や医療機関で発達障がいと指摘や診断をされたことがありますか。（○は1つだけ）

※発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなどをいいます。

1. ある	2. ない
-------	-------

問15 あなたは医療機関で高次脳機能障がいと診断されたことがありますか。(○は1つだけ)
 ※高次脳機能障がいとは、一般に、脳に損傷を受け生じる記憶障がい、注意障がい、社会的行動障がいなどで、「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問16 以下のうち、あなたが現在受けているケアをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 服薬管理 | 8. カテーテル留置 |
| 2. ストマ (人工肛門・人工膀胱) | 9. 気管切開 |
| 3. 透析 | 10. 中心静脈栄養 (IVH) |
| 4. 吸入 | 11. 人工呼吸器 (レスピレーター) |
| 5. 吸引 | 12. その他 () |
| 6. 胃ろう・腸ろう | 13. 受けていない |
| 7. 鼻腔経管栄養 | |

住まいや暮らしについて

問17 あなたは現在どこで暮らしていますか。(○は1つだけ)

- | |
|----------------------------|
| 1. 自宅 |
| 2. グループホーム |
| 3. 入所中 (障害者支援施設、高齢者介護施設など) |
| 4. 入院中 |
| 5. その他 () |

【問18及び問19は、問17で「3. 入所中」または「4. 入院中」と答えた方にお聞きします。】

問18 あなたは将来、どのように地域で生活したいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 今のまま生活したい | 4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい |
| 2. グループホームなどを利用したい | 5. その他 () |
| 3. 家族と一緒に生活したい | |

問19 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 障がい者に適した住居の確保 | 5. 必要なサービスが適切に利用できること |
| 2. 経済的な負担の軽減 | 6. 生活訓練等の充実 |
| 3. 相談対応等の充実 | 7. 在宅で医療的ケアを適切に受けられること |
| 4. 地域住民等の理解 | 8. その他 () |
| | 9. わからない |

問20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしている(収入あり)
2. 仕事をしている(収入なし)
3. 自宅で過ごしている(専業主婦・主夫を含む)
4. 福祉施設等に通っている
5. 病院等のデイケアやリハビリテーションに通っている
6. 入所している施設や病院等で過ごしている
7. 大学、専門学校などに通っている
8. 特別支援学校(小中高等部)に通っている
9. 一般の高校、小中学校に通っている
10. 幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている
11. その他()

問22・23へ

【問20で、「1. 仕事をしている(収入あり)」と答えた方にお聞きします。】

問21 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

1. 正職員で他の職員と勤務条件は同じ
2. 正職員で短時間勤務などの配慮がある
3. パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
4. 障害者就労支援事業所
5. 自営業、農林水産業など
6. その他()

【問20で、「2.」～「11.」と答えた方で18歳以上の方にお聞きします。】

問22 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いませんか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしたい
2. 仕事をしたいができない
3. 仕事はしたくない

【問20で、「2.」～「11.」と答えた方で18歳以上の方にお聞きします。】

問23 仕事をしていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 障がいや病気のため
2. 希望する仕事の内容や条件が合わないため
3. 他にやることがあるため
4. 仕事の探し方がわからないため
5. 働く必要がないため
6. その他()
7. 特に理由はない

【すべての方にお聞きします。】

問24 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが重要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 通勤手段の確保 | 5. 学校での訓練や進路指導の充実 |
| 2. 職場でのバリアフリー等の配慮 | 6. 就労後の職場と支援機関の連携 |
| 3. 職場の障がい者への理解 | 7. 仕事についての職場外での相談対応、支援 |
| 4. 技術や知識の習得など、就労支援 | 8. その他 () |
| 9. わからない | |

問25 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 毎日外出する | 3. めったに外出しない |
| 2. 1週間に数回外出する | 4. まったく外出しない |

問26 外出する時の主な移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 一人で車、自転車、徒歩などで移動している |
| 2. 一人で公共交通機関(列車、バス等)を利用している |
| 3. 家族、知人等と一緒に移動している |
| 4. 障がい福祉や介護保険などのサービスを利用して、介護者と一緒に移動している |
| 5. 外出することがない |
| 6. その他 () |

問27 心身障害者等無料バス優待券を利用していますか。(○は1つだけ)

※心身障害者等無料バス優待券とは、70歳未満で身体障害者手帳1～4級または療育手帳もしくは精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方を対象にした、鳴門市地域バス、徳島バス路線の鳴門市内の区間(高速バスは除く)が無料となる優待券です。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 利用している |
| 2. 心身障害者等無料バス優待券の交付を受けているが、利用していない |
| 3. 心身障害者等無料バス優待券のことを知らない |
| 4. その他 () |

問28 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 公共交通機関が少ない(ない) |
| 2. 道路や建物、列車やバスに階段や段差が多い |
| 3. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい |
| 4. 介助者が確保できない |
| 5. 外出にお金がかかる |
| 6. 周囲の目が気になる |
| 7. 発作など突然の身体の変化が心配 |
| 8. 困った時にどうすればいいのかが心配 |
| 9. その他 () |
| 10. 特にない |

さいがいじ ひなんなど
災害時の避難等について

とい 問29 あなたは、地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

1. できる 2. できない 3. わからない

とい 問30 あなたは、災害時要援護者 避難支援登録制度に登録していますか。(○は1つだけ)

※災害時要援護者 避難支援登録制度は、民生委員や自主防災会の方々が日頃から災害時に避難支援が必要な方を見守るために、その方の情報を共有する制度です。

1. 登録している
2. 制度は知っているが、登録はしていない
→登録していないのはなぜですか。
(理由:)
3. 制度を知らない

とい 問31 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

1. いる 2. いない 3. わからない

とい 問32 地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 安全なところまで、避難することができない
2. 被害状況などの情報がすぐにわからない
3. 避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安
4. 薬をもらうことや治療を受けることができない
5. 補装具の使用が困難になる
6. その他()
7. 特にない

しょうがいふくし など りよう
障害福祉サービス等の利用について

とい 問33 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。受けている場合、区分は何ですか。(○は1つだけ)

1. 区分1 3. 区分3 5. 区分5 7. 受けていない
2. 区分2 4. 区分4 6. 区分6

とい 問34 介護保険の要介護認定を受け、サービスを利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している 2. 利用していない

問35 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①)
 から⑤のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)

	現在		今後	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
①ホームヘルプサービス (居宅介護・重度訪問介護など) ※自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービス。外出時の移動の支援などを行う場合もあります。介護保険のサービスも含まれます。	1	2	1	2
②福祉施設などへの通所 (生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援など) ※施設で介護や創作的活動、訓練、福祉的就労などを行うサービス。介護保険のサービスも含まれます。	1	2	1	2
③短期入所(ショートステイ) ※介護する方が病気の場合などに、施設に短期間入所するサービス。介護保険のサービスも含まれます。	1	2	1	2
④相談支援 ※福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービス。	1	2	1	2
⑤児童発達支援・放課後等デイサービス ※発達に不安のある子どもの療育・発達支援を行うサービス。	1	2	1	2

問36 何らかのサービスを利用している方にお聞きします。サービスを利用して不満に思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービス内容が障がい特性にあっていない
2. 身近なところでサービスを利用できない
3. 利用したい日・時間に利用できない
4. 急な変更に応じてもらえない
5. 事業所などの担当者の対応が良くない
6. サービス内容に関する情報が少ない
7. 相談や手続きに時間がかかり面倒くさい
8. 障害支援区分の認定に疑問がある
9. 高齢者は介護保険制度が優先されるため、利用が制限される
10. その他 ()
11. 特にない、利用している制度・サービスはない

悩みや相談について

問37 あなたは、今、悩んでいることや、わからないで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 自分の障がいや病気に関すること | 7. 趣味やスポーツなど余暇の過ごし方 |
| 2. 福祉制度の内容・利用方法 | 8. 災害など緊急時の対応 |
| 3. 家族からの自立(独立) | 9. 家族がいなくなったときの生活 |
| 4. 生活費などのやりくり(金銭管理) | 10. 成年後見制度に関すること |
| 5. 進学や訓練、就職など進路のこと | 11. その他 () |
| 6. 職場や仕事のこと | 12. 特にない |

問38 相談支援体制について、どのようなことの充実を望みますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 福祉の専門職を配置した相談窓口の充実
2. 同じ障がいを持つ相談員によるカウンセリング
3. 身近な場所に開設される福祉なんでも相談
4. 休日や夜間の電話相談
5. 家族の悩みを受け止める家族相談員
6. 子どもの療育・発達支援に関する専門的な相談
7. 就職や就職後の支援に関する専門的な相談
8. その他 ()
9. 特にない

権利擁護について

問39 あなたは、障がいがあることで差別を感じたり嫌な思いをする(した)ことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ない |
|-------|---------|-------|

【問39で、「1. ある」または「2. 少しある」と回答された方にお聞きします。】

問40 どのような場所で差別を感じたり嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 学校・仕事場 | 5. 医療機関 |
| 2. 仕事を探するとき | 6. 行政機関 |
| 3. 外出先 | 7. 住んでいる地域 |
| 4. 余暇を楽しむとき | 8. その他() |

問41 成年後見制度についてご存じですか。(〇は1つだけ)

※成年後見制度とは、知的障がいや精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が経済的な不利益や生活上の不自由さを解消するため、後見人などが支援する制度。

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. 名前も内容も知っている | 3. 名前も内容も知らない |
| 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない | |

障がい者施策全般について

問42 障がい者が自立した生活を送るために、行政はどのようなことを充実させるべきだとお考えですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 医療・リハビリテーション体制を充実する |
| 2. ホームヘルプサービスなど在宅サービスを充実する |
| 3. グループホームなど生活の場を確保する |
| 4. 日中活動の場、居場所となる施設・サービスを充実する |
| 5. 経済的支援を充実する |
| 6. 障がいのある子ども一人ひとりの状況に応じて、適切な指導・教育を進める |
| 7. 一般企業などで働くことが難しい障がい者の働く場、活動の場を充実する |
| 8. 障がい者への理解を深めるための啓発活動や福祉教育、交流を充実する |
| 9. 障がい者が外出しやすいまちづくりを進める |
| 10. その他() |
| 11. わからない |

18歳以上の方は、最後の自由記入欄に進んでください。

さいみまん かた 18歳未満の方は、以下の問いにも答えてください。

問43 学校のことで困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 移動手段の確保が難しい | 6. 先生の障がいに関する知識や経験、理解が十分でない |
| 2. 介助者が得にくい | 7. 医療的ケアが十分に受けられない |
| 3. コミュニケーションがとりにくい | 8. その他 |
| 4. 建物や設備が障がいに配慮されていない | 9. 特に困っていることはない |
| 5. 障がいの状況や特性に応じた教育・指導・相談などをしてもらえない | () |

問44 放課後や休みの日などは、どのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 友だちと外で遊んだりスポーツをする | 6. 放課後等デイサービスで過ごす |
| 2. 部活やサークル活動に参加する | 7. 学童保育室で過ごす |
| 3. 塾や習い事に行く | 8. その他 |
| 4. 公民館や図書館などで過ごす | () |
| 5. 家や施設の中で過ごす | |

問45 中学・高校などの卒業後の進路はどのようにお考えですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. さらに上の学校などで勉強を続けたい | 5. 家の仕事を手伝いたい |
| 2. 職業などの訓練校に行きたい | 6. その他 |
| 3. 福祉施設や作業所などに行きたい | () |
| 4. 一般の会社やお店などで働きたい | 7. わからない |

問46 将来、働くことについてどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 障がいのない人と一緒に一般の職場で働きたい |
| 2. 障がい者が働くことを前提とした訓練があるなど、職場自体が障がいに配慮された環境で働きたい |
| 3. 一般の職場ではなく福祉施設や作業所で仲間と生産活動をしたい |
| 4. 障がいや病気などで働くことができない |
| 5. 働きたくない、働くつもりはない |
| 6. わからない、まだ考えたことがない |
| 7. その他 () |

問47 障がいのある子どものために、特に重要と思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|------------------------------------|
| 1. 乳幼児健診の充実 | 9. 特別支援学校の設備・教育内容等の充実 |
| 2. 発育・発達上の課題の早期発見・診断 | 10. 通学・通園時の介助・付き添い |
| 3. 相談対応の充実 | 11. 学童保育や休日等の居場所づくり |
| 4. 家庭訪問による相談・指導 | 12. 安心して遊べる機会や場の確保 |
| 5. 地域における療育、リハビリテーション体制 | 13. 地域社会と関わる機会や環境づくり |
| 6. 通園施設の設備・教育内容等の充実 | 14. 保護者が介助・支援できないときの
一時的な見守りや介助 |
| 7. 保育所や幼稚園での受け入れ体制 | 15. その他 () |
| 8. 小・中学校、高校での教育機会の
拡充 | 16. わからない |

問48 最後に、まちづくりや行政の取り組みについて、ご意見がありましたら、自由にご記入ください。

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。

子どもの発育・発達に関するアンケート調査

ご協力のお願い

日頃より鳴門市の福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

鳴門市では、発育・発達に不安のある子どもたちへの発達支援や療育訓練、特別な支援が必要な子どもたちへの教育に取り組んでいます。そうした取り組みをより充実させていくため、このたび、アンケート調査を実施することにいたしました。

この調査は、平成28年10月現在、児童発達支援等受給者証または障害者手帳を持っている児童の保護者の皆様等を対象に、ご意見やご要望をお聞きするものです。

無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使うことは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成28年12月

鳴門市長 泉 理彦

<ご記入にあたってのお願い>

- ・調査票には、封筒の宛名のお子さまを主にサポートしている方が記入してください。
- ・各質問には、平成28年12月1日現在の状況でお答えください。
- ・回答は、あてはまる番号に○をつけたり、記入欄に直接お書きいただくものがあります。
- ・記入が終わりましたら、**12月26日(月)までに**同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご返送ください。
- ・このアンケート調査についてのご質問などは、下記へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

鳴門市役所 社会福祉課

電話：088-684-1145 FAX：088-684-1337

電子メール：shakaifukushi@city.naruto.lg.jp

問1 この調査にお答えいただく方はどなたですか。(○は1つだけ)

1. 親	2. 親以外の家族	3. その他 ()
------	-----------	------------

※以降の質問で「ご本人」とは、宛名のお子さまのことです。

問2 ご本人(お子さま)の年齢をお答えください。

満 歳

問3 ご本人の性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問4 ご本人は、平日の日中をどこで過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家で過ごしている	5. 小学校(特別支援学級)
2. 保育所・幼稚園・認定こども園	6. 特別支援学校
3. 児童発達支援センターなど福祉施設	7. その他 ()
4. 小学校(普通学級)	

問5 ご本人の発育・発達に関することで、気になることはありますか。(○は1つだけ)

1. ある	2. 特にない
-------	---------

【問6～8は、問5で「1. ある」と答えた方にお聞きします。】

▶問6 どのようなことが気になりますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病気、身体障がいに関する不安	6. 意思を伝えることが苦手なこと
2. 発育・発達(少食・偏食、身辺自立、歩行や発語が遅いなど)に関すること	7. 簡単なことでもよく間違えること
3. じっとしていることが苦手なこと	8. 人の気持ちを理解することが苦手なこと
4. 手先が不器用なこと	9. 文字や文章を書くことが苦手なこと
5. こだわって、あることだけに熱中すること	10. その他 ()

▶問7 ご本人が何歳の時に初めて気になりましたか。

満 歳頃

▶問8 気づいたきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 本人に接していて、なんとなく	4. 子育て支援の教室に参加して
2. 乳幼児健診を受けて	5. 医療機関の診察を受けて
▶ いずれの健診で 【乳児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診・就学時健診・その他()】	6. 専門の相談機関の相談を受けて
3. 保育所・幼稚園に通い始めて	7. 小学校に入学してから
	8. その他 ()

【全員の方にお聞きします。】

問9 ご本人の発育・発達の相談に関すること、専門医療機関・訓練施設に関すること、現在、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 現在、困っていることはない | 6. 進学・進級時に、本人の発育・発達上の課題が申し伝えられていない |
| 2. 家族の理解が不十分 | 7. 専門医療機関や訓練の予約がすぐにとれない |
| 3. どこに相談したらいいかわからない | 8. 専門医療機関や訓練施設が遠くて利用しにくい |
| 4. 保育所・幼稚園・学校等の先生が、本人の言動について理解が不十分 | 9. その他 () |
| 5. 保育所・幼稚園・学校等で、同級生の保護者の理解がない | |

問10 ご本人は、継続的な通所サービスとして、児童発達支援または放課後等デイサービスを利用されたことはありますか。(○は1つだけ)

※児童発達支援や放課後等デイサービスは、発達に不安のある子どもを預かり、専門のスタッフが療育や発達支援のサービスを行うものです。

- | | | |
|-------|--------|---------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. 知らない |
|-------|--------|---------|

【問10で「1. はい」と答えた方にお聞きします。】

▶問11 利用した感想や、ご要望があれば、教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. 特にない | 5. 修了後のフォローを充実してほしい |
| 2. もっと回数を多くしてほしい | 6. 支援内容等について、通所・通学中の保育施設や学校等の教育機関と共有してほしい |
| 3. 内容が適当でない
(難しいまたは簡単すぎる) | 7. その他 () |
| 4. 参加人数が多すぎる | |

【全員の方にお聞きします。】

問12 ご本人は、経管栄養、吸引、吸入、人工呼吸、導尿などの「医療的なケア」を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------------|-------------|
| 1. 受けている | 2. 以前、受けたことがある | 3. 受けたことはない |
|----------|----------------|-------------|

問13 ご本人を主にサポートしている保護者の方が支援してほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 相談・情報提供 | 4. 就職支援 |
| 2. 障がいのある子どもを持つ家族同士の交流 | 5. 経済的支援 |
| 3. 心身のリフレッシュ | 6. その他 () |

問14 ご本人が学校を卒業した後、円滑な日常生活や社会生活を送るために必要と思う支援は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 心身の健康管理 | 4. ソーシャルスキルの習得 |
| 2. 仲間・友人づくり | ※日常生活で円滑な人間関係を保つスキル |
| 3. 障がい特性や課題に応じた学習支援 | 5. 職業訓練(職場体験や実習等) |
| | 6. その他 |
| | () |

問15 発育・発達上の支援が必要な子どものための施策で、特に重要と思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 乳幼児健診の充実 | 9. 特別支援学校の設備・教育内容等の充実 |
| 2. 発育・発達上の課題の早期発見・診断 | 10. 通学・通園時の介助・付き添い |
| 3. 相談対応の充実 | 11. 学童保育や休日等の居場所づくり |
| 4. 家庭訪問による相談・指導 | 12. 安心して遊べる機会や場の確保 |
| 5. 地域における療育、リハビリテーション体制 | 13. 地域社会と関わる機会や環境づくり |
| 6. 通園施設の設備・教育内容等の充実 | 14. 保護者が介助・支援できないときの一時的な見守りや介助 |
| 7. 保育所や幼稚園での発達支援の充実 | 15. その他() |
| 8. 支援が必要な子どもの小・中学校、高校での教育機会の拡充 | 16. わからない |

問16 最後に、発育・発達に関する支援などについて、ご意見、ご要望などを自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

障がい者福祉に関するアンケート調査

ご協力のお願い

日頃より鳴門市の福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、鳴門市では、障がいのある人もない人もともに支え合う福祉社会づくりをめざす「障害者計画」の改定に向けて取り組んでいます。

このアンケートは、市民の皆様が日常、どのように障がいのある人と関わりを持ち、市として取り組むべき課題をどのようにお考えなのかをお聞きし、同計画の改定にあたっての基礎資料とさせていただくために実施するものです。

無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使うことは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成28年12月

鳴門市長 泉 理彦

<ご記入にあたってのお願い>

- ・調査票には、封筒の宛名のご本人が記入してください。
- ・各質問には、平成28年12月1日現在の状況でお答えください。
- ・回答は、あてはまる番号に○をつけたり、記入欄に直接お書きいただくものがあります。
- ・記入が終わりましたら、12月26日（月）までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご返送ください。お名前を記入していただく必要はありません。
- ・このアンケート調査についてのご質問などは、下記へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

鳴門市役所 社会福祉課

電話：088-684-1145 FAX：088-684-1337

電子メール：shakaifukushi@city.naruto.lg.jp

あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別は。(どちらかに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 4. 50～59歳 |
| 2. 30～39歳 | 5. 60～69歳 |
| 3. 40～49歳 | 6. 70歳以上 |

問3 家族などに障がいのある方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 同居している家族・親族に障がいのある方がいる(いた) |
| 2. 家族・親族に障がいのある方がいるが、同居はしていない |
| 3. 家族・親族に障がいのある方はいない |

障がいのある方とのかかわりについて

問4 あなたは障がいのある方について関心がありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 4. まったく関心がない |

問5 問4で「1. 非常に関心がある」「2. ある程度関心がある」と答えた方にお聞きします。どのような理由から、関心をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 家族などに障がいがある(あった)から |
| 2. 学校や職場、近所などに障がいのある方がいる(いた)から |
| 3. 福祉活動やボランティア活動をしている(していた)から |
| 4. 保健・医療・福祉に関係する職業についている(ついていた)から |
| 5. 街なかやテレビなどで障がいのある方のことをよく目にするから |
| 6. その他(具体的に:) |

問6 あなたは、障がいのある方に対してどんな支援や活動をしてみたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 障がいのある方に対する知識・援助の仕方について学び、支援したい |
| 2. 障がいのある方に対してボランティア活動をしたい |
| 3. 施設などの行事の手伝いをしたい |
| 4. 街なかで見かけた障がいのある方に対して援助したい |
| 5. その他(具体的に:) |

問7 あなたは社会には障がいのある方に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------|
| 1. あると思う | 3. ないと思う |
| 2. 少しはあると思う | 4. わからない |

問8 問7で「1. あると思う」「2. 少しはあると思う」と答えた方にお聞きします。10年前と比べて障がいのある方に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. かなり改善されている | 4. 改善されていない |
| 2. 少しずつ改善されている | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり改善されていない | 6. わからない |

問9 あなたは普段の生活の中で障がいのある方への対応や理解が十分にあると感じますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 全然足りないと思う | 3. あると思う |
| 2. 少し足りないと思う | 4. わからない |

問10 問9で「1. 全然足りないと思う」「2. 少し足りないと思う」と答えた方にお聞きします。それはどんな場合ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 教育の機会 | 6. 医者にかかりにくいこと |
| 2. 仕事や収入 | 7. 交通機関や建築物の配慮 |
| 3. 近所づきあい | 8. 街なかでの人の視線 |
| 4. 地域の行事や集まり | 9. 行政職員などの対応や態度 |
| 5. 店員の対応や態度 | 10. その他() |

障がいのある方が働くことについて

問11 あなたの現在の職場では、障がいのある方が働いていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 身体に障がいのある方が働いている |
| 2. 知的障がいのある方が働いている |
| 3. 心の病がある方が働いている |
| 4. いずれの方も働いていない |
| 5. わからない・その他(具体的に:) |
| 6. 自分自身が働いていないので答えられない |

問12 障がいのある方がもっと働けるようにするためには、どうすればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 行政自身がかもっと障がいのある方を雇用する
2. 会社や事業所等へ雇用するための財政支援を充実する
3. 福祉作業所や授産施設などでの就業を拡大する
4. 就学中の障がいのある児童・生徒に対して、きめ細かな進路指導を行う
5. 特に行政がすべきことはない
6. わからない・その他(具体的に：)

福祉のまちづくりについて

問13 障がいのある方が地域や社会に積極的に参加していくためには、どのようなことが大切だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 魅力的な行事や活動の充実
2. 利用しやすい施設への改善
3. 移動しやすい交通機関や道路への改善
4. 地域の人たちが障がいのある方を受け入れるよう、広報や福祉教育の充実
5. 参加を補助するボランティアなどの育成
6. 家族の積極性
7. 障がいのある方自身の積極性
8. その他 ()
9. わからない

問14 あなたは、鳴門市における教育や福祉など、障がいのある方への施策に満足していますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 満足している | 4. 不満である |
| 2. ある程度満足している | 5. わからない |
| 3. やや不満である | |

問15 障がいのある方への施策に関するご意見やご要望がありましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

鳴門市
福祉に関するアンケート調査
集計結果報告書

平成29年3月
鳴門市 健康福祉部 社会福祉課
〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170
電話 088-684-1145 FAX 088-684-1337
Eメール shakaifukushi@city.naruto.i-tokushima.jp